

『モノグラフ・中学生の世界』 vol.60

調査レポート

都市の中学生・山村の中学生

～ 地域差や学校差を考える ～

〔 執筆分担 〕

深谷 昌志 (尚美学園短期大学教授)	はじめに・まとめに代えて
深谷 野亜 (明治学院大学非常勤講師)	第1章 1・4
井上 健 (戸板女子短期大学助教授)	第1章 2・3
亀沢 信一 (東京都稲城市立稲城第五中学校教諭)	第2章 1
田上 純子 (東京都港区立港南中学校養護教諭)	第2章 2
根舛セツ子 (東京都狛江市立狛江第四中学校養護教諭)	第2章 3
森永 徳一 (東京都足立区立伊興中学校教頭)	第2章 4
伊藤 澄生 (東京都練馬区立石神井東中学校教諭)	第2章 5
三枝 恵子 (埼玉県立松山高等学校教諭)	第2章 6
永井 聖二 (群馬県立女子大学教授)	第3章

要

朝食

朝食を「ほとんど食べない」割合が唯一高かった《下町中》の場合、イライラするなどストレスに関連する項目の数値が高い（p.10 表1 - 2、p.11 表1 - 3）

家族構成

祖父母の同居率や3人以上のきょうだいなど、最も高い中学校から低い中学校を引くと40%以上の大きな差がみられる（p.12 表1 - 4）

生き方

生き方について、《奥羽中》は伝統的な性別役割分業を支持せず、《ニュータウン中》は学歴や仕事に打ち込み、出世することを否定する傾向がある（p.15 表1 - 7）

生き方×性

生き方については性別により差が顕著にみられるが、《いずも中》は比較的、男女による差がみられない（p.16 表1 - 8）

約

学校の楽しさ

最も学校が楽しいのが《ニュータウン中》の55.1%、低いのが《島中》の42.0%である（p.18 表1 - 10）

授業のときの気持ち

授業に興味をもっているのは《するが中》で、《いずも中》に興味をもてない生徒が多い（p.19 表1 - 11）

将来像

未来に夢をもっているのは《ニュータウン中》で、《いずも中》は全体として見通しが暗い（p.21 表1 - 13）

いじめ

「少し」を含めると、4割の生徒がいじめの存在を認めている。特に《下町中》は47.1%に達する（p.24 表1 - 16）

持ち物

学校へよく持っていくものに学校差が大きく、腕時計を例にすると、41.6%《ニュータウン中》から1.6%《するが中》まで、大きな開きがみられる（p.25 表1 - 17）

していること

ルーズソックスは47.1%《いずも中》から1.1%《するが中》まで、大きな開きがみられる（p.28 表1 - 19）

地域に対する愛着度

地域に対する愛着度には差があり、愛着がある方が、毎日楽しいと回答している（p.31 表1 - 23）。地域に対する愛着は、地域にどのくらい住んでいるかによって決まるものではない（p.32 表1 - 24）

近所の人との関係

地域に対する愛着と近所の人との関係には関連があり、特に自分が地域の人を知っているかより、地域の人がどれくらい自分のことを考えてくれているかによって影響を受ける（p.32 表1 - 25）

持ち物と地域差

手帳や腕時計を学校へよく持っていく割合は、学校によって差が大きい（p.82 図3 - 1、p.84 図3 - 3）

将来像と地域

「幸せな家庭をつくりたい」などの意識は、49.2%《ニュータウン中》から、42.1%《奥羽中》と、差はきわめて小さい（p.87 図3 - 7）

[まとめ]

行動や持ち物に地域差が大きく認められる。したがって、ピアスをし、ポケベルを持ち、腕時計をしている生徒が多い地域もあれば、そうした中学生の少ない地域もある。

持ち物に地域差がみられるのと対照的に、「幸せな家庭をつくれる」などの未来像に地域差は認められない。外見から受ける行動の地域差と比べ、意識の画一化が進んでいる。

情報化社会になると、どの地域の生徒も、同じような意識をもつようになるのであろうか。

〔調査概要〕

対象 秋田・東京・静岡・島根・九州の
中学1～3年生の男女

時期 1998年2月～3月

方法 学校通しによる質問紙調査

サンプル構成 (人)

	1年	2年	3年	合計
男子	364	345	362	1,071
女子	351	344	320	1,015
合計	715	689	682	2,086



(((((((はじめに)))))))))

地域差や学校差を考えたい

東京中心の不安

今回の調査は、モノグラフの調査を重ねてきた反省から出発している。調査の実施にあたっては、さまざまな形で生徒から話を聞くようにしている。そうはいっても、研究会の同人は全員東京近郊の先生なので、聞き取りをする生徒たちも東京の周辺に限られている。

もちろん、研究計画の指導や生徒指導関係の講演などで、各地域を訪ね、先生方からその地域の教育事情をお聞きしている。それに地域調査などの機会に、地方の生徒たちに聞き取り調査も行っている。しかし、調査についての情報が東京に集中し、東京の問題意識でテーマを扱っている不安が強い。

高校受験を例にしても、東京や大阪のように私立高校が多く、受験が多様化している所もあれば、伝統を誇る県立高校を頂点に、高校が序列化され、学力に応じておのずと志望校が決まる地域もある。

東北地方でいじめの指導をしているとき、「地域の組織がしっかりとっていて、その序列が学校に持ち込まれ、いじめにも反映される。有力者の子がいじめのリーダー格なので、他の子は何かがいいにくい。こうした場合、ど

う指導したらよいか、教えてほしい」という質問をうけた。確かに、都会ではあまり見かけない事例である。

そういえば不登校について、「うちの地域には、不登校はない」といわれ、その地域では確かに不登校ぎみの生徒が少ないようであった。

そうした事例に接すると、調査データを扱うときに地域差や学校差をもう少し配慮した方がいいのではないかと思う。

地域差や学校差が消えた

アメリカを訪れると、地域差の大きさに気がつく。もともと地方分権が定着しているのに加え、地域によって人種構成が異なるので、それぞれの地域ごとに個性があり、いくつかの地域を見たくらいで「アメリカがわかった」といえないのがアメリカらしさのように思われる。

地域差の大きさは学校についてもあてはまる。訪ねる学校ごとにその学校らしさがあり、オープンスペースを重視した学校もあれば、その近くに伝統的な授業形態を大事にした伝達型の授業を基本とする学校があったりする。

P T Aでも、父母が学校の教育に参加し、

父母の代表が教員と対等の立場で発言し、校内で親を見かけることが多い学校もあれば、親たちが保護者会的な働きをして、学校の運営を背後から支える形の学校もある。

情報化についても、パソコンの活用に心がけている学校が多いのは確かだが、アメリカの学校の中にはパソコンの導入に慎重な学校も目につく。

このように地域差や学校差が大きい場合、「平均的な学校」を見いだせないので、調査にあたってサンプリングが重要になる。

日本でも、かつては地域差が大きかったように思う。都市と山村の開きは大きく、都市の中でも下町と山手では食べ物から着る物までかなりの違いがあった。

しかし情報化社会を迎え、どこでも同じテレビを見られるようになり、商品流通の面でもどこにも同じようなスーパーやコンビニが並び、都市と同じものを山村でも手にできるようになった。東京でなじみのファミリーレストランを九州のはずれで見かけることも少なくなかった。

もともと明治以来、急速な形で中央集権化が図られてきただけに、学校を例にとっても、大阪の中心部と岩手の山村部で、まったく同じような校舎が建てられ、机も教科書も同一であることがむしろ当然とされる。

こうした形で地域差が解消され、学校差が少ないと、どこにも同じような学校があり、同じような中学生がいるような感じになる。しかし、それは表面的な見方で、生徒たちの心のうちはかなりの開きがあるのではないか。

土地勘のある地域の学校を

こうしたことを考えて、中学生の行動や意

識にどの程度地域差や学校差が認められるかととらえる調査を行うことにした。

このようなテーマを大がかりに行うなら、全部の中学校を層化してとらえ、その中から抽出したサンプルに調査を実施するのが理想であろう。しかし、そうした規模の調査は国レベルの予算と権限があって成り立つので、民間レベルの調査にはなじまない。それに、地域や学校に精通していないと得られたデータの解釈に困る。

そこで、今回は研究会の同人の先生に地域や学校の状況がわかり、協力を得られる学校を推薦していただいた。そして、最終的に九州の島にある学校、日本海側の伝統的な小都市近郊の学校、静岡県下の太平洋に面した学校、東京のいかに下町らしい地域の学校、東京のニュータウンにある教育熱心な地域の学校、東北の古くから町にある学校の6校の協力を求めた。

からの学校とも、もちろんのことながら、市町村名や学校名はわかっている。しかし調査結果が微妙なものを含んでいるので、それぞれ《島中》、《いずも中》、《するが中》、《下町中》、《ニュータウン中》、《奥羽中》の仮名をつけることにした。

《するが中》にしても、《下町中》にしても、その地域には何校かの中学がある。したがって、《下町中》の結果の中で特徴的な傾向も、その地域の特性なのか、それとも、中学の属性なのかは明らかでない。しかし、そうした地域差や学校差の厳密な意味での検証は別の機会にゆずり、ここでは中学生の行動や意識が地域や学校によってどの程度異なるのか、それとも共通なのか、そうした問題を考えていきたいと思っている。

第1章 中学生の行動や意識



1. 中学生の日常生活 D D D

この章では、学校別の特徴について、データ面から記述していくことにする。詳しいプロフィールは第2章に載せてあるが、今回調査を行ったのは秋田1校（以下では《奥羽中》）、東京2校（以下では《下町中》《ニュータウン中》）、静岡1校（以下では《するが中》）、島根1校（以下では《いずも中》）、九州の島にある学校1校（以下では《島中》）の計6校である。また、今回使用した学校の名前はどれも仮名であり、できる限り地域の連想がしやすい形でつけたものである。

まずは学校や地域の影響について、日常生活への影響からみていくことにする。表1-1は生活時間についてまとめたものである。寝る時間が遅いのは、《下町中》の11時55分、《ニュータウン中》の11時52分。また、

起きる時間は《下町中》《ニュータウン中》共に7時19分で最も遅く、東京にある2校の中学の生徒が夜遅くまで起き、朝遅くまで寝ている。勉強時間が長いのが《するが中》（83分）《奥羽中》（78分）で、逆に少ないのは《いずも中》の60分であった。塾に行く回数については《島中》が週に1.6回と最も多く、逆に最も少ないのは0.5回の《いずも中》であった。

テレビ視聴時間についてはどの学校も2時間を超えているが、最も長かったのが《下町中》の166分、短かったのは《ニュータウン中》の125分で40分以上の開きがあった。

この表から、生活時間の特性を簡単にまとめると、東京にある《ニュータウン中》と《下町中》は遅寝遅起き、勉強時間は共に70分弱、塾に行く回数は週1.4回とほぼ似通

った生活をしているが、テレビの視聴時間が、《下町中》は最も長く、《ニュータウン中》は最も短いという点に違いがみられる。《島中》は、塾に通っている回数が最も多い一方で、塾での勉強時間も含めて回答してもらっているにもかかわらず、勉強時間は67分に

すぎない。したがって、《島中》は塾に通っているが、それ以外の勉強時間は少ないということがわかる。また《いずも中》は、勉強時間も塾に行く回数も、最も少ないという結果になった。

表 1 - 1 生活時間 × 学校

	寝る時間	勉強時間	テレビ視聴時間	塾に行く回数	起きる時間
奥羽中	11:40	78	140	1.0	6:58
下町中	11:55	69	166	1.4	7:19
ニュータウン中	11:52	67	125	1.4	7:19
するが中	11:30	83	144	1.3	6:39
いずも中	11:43	60	155	0.5	7:01
島 中	11:36	67	140	1.6	7:04
全 体	11:41	73	142	1.2	6:59

それぞれ「6時頃」は6:00、「6時半頃」は6:30等、そのまま計算

「ほとんどしない」を0、「30分未満」を15、「30分～1時間未満」を45、「1～2時間未満」を90、「2～3時間未満」を150、「3～4時間未満」を210、「4時間以上」を270として計算

「ほとんど見ない」を0、「30分未満」を15、「30分～1時間未満」を45、「1～2時間未満」を90、「2～3時間未満」を150、「3時間以上」を210として計算

次に表1 - 2で朝の様子についてみることにする。以下の表では、*の形で二乗検定の結果を載せてある。朝、目覚めるとき「家の人に起こしてもらおう」割合については、最も高いのが《下町中》の49.6%、最も低いのが《ニュータウン中》の33.8%である。朝の目覚め方について「なかなか起きられない」割合は、《ニュータウン中》が最も高く24.9%、低かったのは《島中》の14.2%。

表の右端の登校前朝食をとるかどうかについては、左の数値が「毎日必ず食べる」、右の数値が「ほとんど食べない」と回答した割合である。《ニュータウン中》の場合、83.9%が「毎日必ず食べる」のに対し、《島中》《下町中》では7割にすぎない。特に《下町中》の場合、朝食は「ほとんど食べない」とする割合が唯一13.5%と、1割を超えている点が特徴的である。

表1 - 2 朝の様子 × 学校

(%)

	朝の目覚め方 **	目覚め方 *	登校前朝食をとるか**
奥羽中	40.0	19.1	77.8 / 3.9
下町中	49.6	20.8	69.8 / 13.5
ニュータウン中	33.8	24.9	83.9 / 4.2
するが中	45.4	14.7	79.1 / 3.4
いずも中	42.6	16.5	80.9 / 3.7
島中	47.5	14.2	70.0 / 7.3
全体	42.7	18.2	77.6 / 5.3

「家の人に起こしてもらおう」割合（使用尺度は4段階）

* P < 0.01 ** p < 0.001

「なかなか起きられない」割合（使用尺度は4段階）

「毎日必ず食べる」割合 / 「ほとんど食べない」割合（使用尺度は4段階）

近年さまざまな研究で、朝食の摂取と体調の関係が検討されている。表1 - 3は体調と学校との関連についてまとめたものである。「とてもそう」と「わりとそう」と回答した数値を表に載せているが、ここであげた8項目のうち6項目において、《するが中》の数値が低いことがわかる。逆に数値の高さに着目してみると、「頭がボーっとしている」「イ

ライラする」「思いきりあばれたい」のストレスと関連する3項目で《下町中》の数値が高い点が目につく。したがって、早寝早起きで目覚めの状態がよい《するが中》は、全体的に体調がよく、逆に遅寝遅起きで朝食をとらない割合が高い《下町中》は、ストレスも高い状態にあるといえる。

表1 - 3 体調 × 学校

(%)

	奥羽中	下町中	ニュータウン中	するが中	いずも中	島中	全体
思いきりあばれたい*	56.7	58.7	49.6	48.3	55.9	55.9	53.2
疲れやすい*	54.3	54.0	49.0	49.6	53.3	54.2	52.0
イライラする*	49.4	54.9	47.6	46.1	52.2	51.7	49.4
肩がこる**	52.2	47.2	46.6	39.3	38.2	40.5	44.2
身体がだるい*	44.1	42.2	37.1	41.5	41.4	50.3	42.7
立ちくらみやめまい*	39.6	39.9	41.3	33.5	32.3	40.4	37.7
頭がボーっとしている*	40.9	47.0	41.4	34.8	34.7	39.6	39.3
食欲がない*	12.2	18.5	14.7	15.3	14.6	18.1	15.0

* p < 0.01 ** p < 0.001
「とても」 + 「わりと」 その割合

次に家族構成をみることにする（表1 - 4）。祖父母との同居については《いずも中》が64.5%で最も高く、逆に最も低いのは《ニュータウン中》で9.9%と、50%以上の大きな差がついている点が目につく。きょうだいの数について、「自分を含め3人以上」と回答した数値をみると、最も高い《島中》が72.2%であるのに対し、最も低い《奥羽中》は28.9%とやはり40%以上の差がついている。こうした数値に影響を受けることであるが、家族の構成人数については《いずも中》が5.72人と最も多く、《ニュータウン

中》が4.48人で最も少なくなっている。このような家族構成は一戸建ての保有率といった環境と、祖父母の同居や子どもについての考え方などに対する地域差に関連しているといえよう。また、「父母の仕事の姿を何度も見ている」割合は《島中》が76.2%で最も高く、逆に最も低いのは《ニュータウン中》の41.0%である。

家族構成の特徴をいくつかまとめると、東京にある《ニュータウン中》は、祖父母との同居やきょうだいの数が少なく、したがって家族構成員の数が少ない。家族構成員の数が

表1 - 4 家族構成 × 学校

(%)

	祖父母と同居している	きょうだい数（自分も含めて）			家族の数	父母の仕事姿を何度も見ている
		1人	2人	3人以上		
奥羽中	41.5	8.3	62.8	28.9	4.81人	63.1
下町中	29.8	7.0	61.8	31.2	4.85人	52.1
ニュータウン中	9.9	6.5	55.4	38.1	4.48人	41.0
するが中	54.1	4.3	41.4	54.3	5.50人	48.7
いずも中	64.5	2.1	44.4	53.5	5.72人	45.9
島 中	15.8	4.6	23.2	72.2	5.17人	76.2
全 体	36.6	5.7	48.3	46.0	5.08人	54.8

p < 0.001

5人を超えた《島中》《するが中》《いずも中》の3校のうち、3人以上子どもがいる(72.2%)のために人数が多いのが《島中》、祖父母の同居の割合が高いのが《いずも中》であった。

次に両親との関係のみてみる(表1-5)。全体の傾向をみると、「勉強に関するお金は出してくれる(78.9%)」「幸せそうだ(70.2%)」「親は自分の意見を尊重してくれる(53.1%)」など、肯定的な意見が上位を占めている。これを学校別に、全体値との差(学校別数値-全体値)が5%以上開いた項目か

ら傾向をみると、《下町中》の場合、「幸せそうだ(対全体値:-7.9%)」「勉強しろとうるさい(-9.4%)」の数値が低い。《ニュータウン中》の場合、「勉強にお金を出してくれる(9.4%)」「幸せそうだ(7.0%)」「自分の意見を尊重してくれる(9.3%)」と、全体値よりも親について肯定的な評価をする傾向がみられる。《いずも中》は「勉強しろとうるさい(-6.0%)」「しつけに厳しい(-7.7%)」の項目がいずれも全体値よりも低いことから、勉強・しつけに関して寛容な親であると感じている。《するが中》に関しては

表1-5 両親について × 学校

	奥羽中	下町中	ニュータウン中	するが中	いずも中	島中	全体
勉強に関するお金は出してくれる***	73.9	78.0	88.3	77.2	81.1	77.9	78.9
幸せそうだ***	68.3	62.3	77.2	73.6	68.8	65.7	70.2
自分に期待していると思う*	55.8	51.9	53.9	50.1	47.9	48.8	51.8
自分の意見を尊重してくれる	53.0	52.0	62.4	51.6	51.1	47.2	53.1
***	52.3	42.3	51.4	56.1	45.7	53.8	51.7
勉強しろとうるさい*	46.3	50.3	50.0	45.7	39.2	49.2	46.9
しつけに厳しい***	41.4	40.2	37.4	41.1	35.6	43.2	40.3

*** p < 0.05 ** p < 0.01 * p < 0.001

—— は全体値よりも5%以上高い
 ——— は全体値よりも5%以上低い

5%以上の数値の開きがあった項目はなかった。

地域の影響は、生活時間や家族構成など、現在のおかれている状況に対しても影響がみられたが、では成長過程の体験にどの程度の違いがあるのだろうか(表1-6)。ここでは、自然といった地域の制約を受けやすい項目を除外してある。この表では「しょっちゅうしている」と「何回かしている」を足した数値で、○がついているものは全体値よりも5%以上高いもの、_がついているものは、全体値よりも5%以上低い項目である。全体値との差から成長過程の経験の傾向をまとめると、「お年寄りや身体の不自由な人の世話をした」にはあまり学校による差がみられなかった。学校別にみても、《下町中》は「取っ組み合いのけんか」をした割合が高い。《ニュータウン中》はビデオやファックスな

どを使用したことが多い他、「自分のシャツにアイロンをかけること」「取っ組み合いのけんかをしたこと」の数値も高い。一方《するが中》は「自分のシャツにアイロンをかけること」や「家の手伝いを進んでしたこと」「お米をといでご飯を炊くこと」「取っ組み合いのけんかをしたこと」の数値が低く、全体的にみて生活体験が乏しいことがわかる。また《島中》の場合、電子レンジやビデオ、ファックスなど電気機器の使用経験が他の地域の中学生に比べると乏しいが、「赤ちゃんを抱っこしたこと」「自分のシャツにアイロンをかけること」の数値は高い。

表1-7は生き方についてみたものである。ここではその生き方を積極的に志向している割合に注目し「とてもそう思う」割合を載せてあるが、ワーディングの後に ついている3項目では「とてもそう思う」割合

表1-6 成長過程の体験 × 学校

(%)

	奥羽中	下町中	ニュー タウン中	するが中	いずも中	島 中	全 体
電子レンジで食べ物を温めて食べた***	87.6	84.7	87.5	86.9	87.2	69.5	84.4
ビデオで留守番録画した***	69.6	69.3	72.4	61.6	65.4	52.7	65.0
お米をといでご飯を炊く***	65.8	74.9	80.4	54.9	53.2	74.5	66.4
家の手伝いを進んでした**	63.5	58.1	62.9	52.6	58.5	63.2	59.5
赤ちゃんを抱っこ***	58.0	58.1	57.0	54.8	69.0	69.0	56.7
自分のシャツにアイロンをかける***	49.5	48.9	51.2	31.7	52.1	53.6	45.8
お年寄りや身体の不自由な人の世話をした*	34.7	35.3	36.0	34.1	31.6	34.8	34.7
取っ組み合いのけんか***	32.7	36.7	37.0	25.4	31.4	30.5	31.5
ファックスで手紙を送った***	16.5	21.0	26.5	15.2	10.1	7.3	16.4

* p < 0.05 ** p < 0.01 *** p < 0.001
 ○ は全体値よりも5%以上高い
 _ は全体値よりも5%以上低い
 「しょっちゅう」+「何回か」している割合

が低かったため、「とてもそう思う」と「わりとそう思う」を足した数値となっている。また、この9項目のうち、「要領のいい人が得をする」については二乗検定の結果、統計的な有意差がみられなかったため、以下の分析では除外してある。やはり全体値との差(学校別数値 - 全体値)が5%以上開いた項目から傾向をみると、《奥羽中》は「子どもができて、女性は働くべきだ(対全体値: 6.4%)」「男性も家事育児をするべきだ(6.8%)」と、いずれも伝統的な性別役割分業観を否定する傾向がある。《下町中》の場合、「コツコツやればむくわれる(6.8%)」「今をがまんして、将来のために努力するべきだ(7.9%)」「なんとんでも、世の中はお金だ(8.5%)」「仕事に打ち込み、出世をしたい(7.6%)」の4項目において、全体値よりも数値が高いことが特徴的である。《ニ

ュータウン中》の場合、「コツコツやればむくわれる(8.3%)」の数値は高いものの、「なんとんでも、学歴がものをいう社会だ(-5.4%)」「仕事に打ち込み、出世をしたい(-5.0%)」の数値は低く、伝統的な価値観を否定する傾向にある。《するが中》は「男性も家事育児をするべきだ(-7.3%)」のみ差がみられた。《いずも中》は「なんとんでも、学歴がものをいう社会だ(5.0%)」と、従来の学歴の価値を認めているものの、「なんとんでも、世の中はお金だ(-9.7%)」「仕事に打ち込み、出世をしたい(-8.6%)」などの数値は低い。《島中》は「コツコツやればむくわれる(-5.8%)」「子どもができて、女性は働くべきだ(-5.4%)」の数値は低い、「なんとんでも、世の中はお金だ(6.1%)」の数値は高い。また、「自分がよければいい」「今をがまんして、将来のた

表1 - 7 生き方について × 学校

	奥羽中	下町中	ニュータウン中	するが中	いずも中	島中	全体
コツコツやれば、きっとむくわれる **	41.1	48.4	49.9	36.7	43.6	35.8	41.6
自分がよければいい **	31.4	30.7	30.0	31.3	25.5	30.0	30.3
要領のいい人が得をする	26.3	28.8	31.5	23.9	27.7	25.6	26.8
今をがまんして、将来のために努力するべきだ **	24.9	32.1	19.5	23.3	22.3	25.9	24.2
なんとんでも、学歴がものをいう社会だ ***	41.6	37.7	37.0	46.1	47.4	43.5	42.4
なんとんでも、世の中はお金だ ***	26.7	35.8	23.5	26.8	17.6	33.4	27.3
仕事に打ち込み、できれば出世をしたい ***	24.2	31.2	18.6	24.8	15.0	26.0	23.6
子どもができて、女性は働くべきだ ***	42.5	36.0	31.3	35.8	38.3	30.7	36.1
男性も家事育児をするべきだ ***	38.9	35.8	31.4	24.8	36.2	31.1	32.1

* p < 0.05 ** p < 0.01 *** p < 0.001
 ○ は全体値よりも5%以上高い
 — は全体値よりも5%以上低い
 「とてもそう思う」割合
 「とても」+「わりと」そう思う割合

めに努力するべきだ」という項目に関しては、あまり差がみられなかった。

これら生き方については性別による差があると考えられるため、これに性別を加えたものが、表1 - 8である。表の3つの数値のうち、左が男子の数値、/をはさんで右が女子、()内の数値は男子から女子の数値を引いたものである。全体の傾向としてみると、「子どもができて、女性は働くべきだ」「男性も家事育児をするべきだ」といった男女の役割に関する項目において男女の数値が大きく開いている。

次に男女の比較から傾向をみるが、表の数

値につけてある__は全体値よりも5%以上低い数値を、○で囲ってある数値は全体値よりも5%以上高い数値である。性別を統制し学校別で差があまりみられない項目は、男子は「コツコツやればむくわれる」「自分がよければいい」「子どもができて、女性は働くべきだ」、女子は「自分がよければいい」「今をがまんして、将来のために努力するべきだ」「なんといっても、世の中はお金だ」「仕事に打ち込み、できれば出世をしたい」である。したがって、学校差がみられない項目は、男女でもほとんど重なっていないことがわかる。また学校ごとに男女の数値を比較してみ

表1 - 8 生き方について × 学校・性

《男子の数値 / 女子の数値、()内は男子 - 女子の数値》(%)

	奥羽中	下町中	ニュータウン中	するが中	いずも中	島中	全体
コツコツやれば、きっとむくわれる *	43.4 / 39.1 (4.3)	46.0 / <u>51.0</u> (-5.0)	45.9 / <u>54.1</u> (-8.2)	39.4 / <u>33.7</u> (5.7)	43.6 / 43.7 (-0.1)	38.2 / <u>33.3</u> (4.9)	42.3 / 40.9 (1.4)
自分がよければいい **	37.5 / 25.7 (11.8)	36.7 / 24.5 (12.2)	34.2 / 25.3 (8.9)	38.0 / 24.1 (13.9)	<u>17.9</u> / 24.1 (-6.2)	33.1 / 26.8 (6.3)	35.3 / 25.1 (10.2)
今をがまんして、将来のために努力するべきだ *	26.3 / 23.2 (3.1)	<u>38.1</u> / 25.5 (12.6)	<u>17.5</u> / 21.8 (-4.3)	27.4 / 18.9 (8.5)	<u>21.0</u> / 23.0 (-2.0)	29.8 / 22.0 (7.8)	26.4 / 21.8 (4.6)
なんといっても、学歴がものをいう社会だ **	39.9 / 42.9 (-3.0)	39.9 / <u>35.3</u> (4.6)	39.9 / <u>33.8</u> (6.1)	<u>50.3</u> / 41.6 (8.7)	<u>53.4</u> / 40.2 (13.2)	42.1 / <u>35.0</u> (7.1)	44.3 / 40.3 (4.0)
なんといっても、世の中はお金だ **	34.4 / 19.3 (15.1)	<u>45.1</u> / 25.5 (19.6)	<u>26.8</u> / 20.0 (6.8)	34.3 / 18.9 (15.4)	<u>15.8</u> / 19.5 (-3.7)	<u>42.1</u> / 24.7 (17.4)	33.6 / 20.8 (12.8)
仕事に打ち込み、できれば出世をしたい **	31.0 / 17.7 (13.3)	<u>46.9</u> / 13.7 (33.2)	<u>21.0</u> / 16.1 (4.9)	33.3 / 15.7 (17.6)	<u>15.0</u> / 14.0 (1.0)	<u>36.4</u> / 15.4 (21.0)	30.9 / 15.8 (15.1)
子どもができて、女性は働くべきだ **	28.6 / <u>65.8</u> (-27.2)	24.1 / 49.0 (-24.9)	24.1 / <u>39.3</u> (-15.2)	26.7 / 45.6 (-18.9)	28.7 / 49.4 (-20.7)	<u>20.7</u> / <u>40.9</u> (-20.2)	25.8 / 46.8 (-21.0)
男性も家事育児をするべきだ **	25.1 / <u>61.9</u> (-26.8)	25.9 / 47.1 (-21.2)	20.3 / 43.5 (-23.2)	18.8 / <u>31.3</u> (-12.5)	<u>27.7</u> / 46.0 (-18.3)	16.4 / 46.0 (-29.6)	21.6 / 43.1 (-21.5)

* p < 0.01 ** p < 0.001
 ○ は全体値よりも5%以上高い
 — は全体値よりも5%以上低い
 「とでもそう思う」割合
 「とでも」 + 「わりと」そう思う割合

ると、《いずも中》は比較的男女による回答に差がみられない。逆に《下町中》や《島中》では、性別によって同じ学校の中でも生き方に関する考え方に違いがみられるという特徴がある。

最後に自己評価との関連をみってみる（表1-9）。今回分析した10項目のうち、「人づきあいがへた」については統計的有意差がみられなかった。表の中の数値に○がついているものは、全体値よりも5%以上高い数値、_がついているものは、全体値よりも5%以上低い数値である。これを目安に、学校別の傾向をみてみると、《奥羽中》は「体を動か

すのが好き(5.6%)」「根はまじめ(-6.3%)」、《ニュータウン中》の場合「自分なりの意見がある(9.2%)」「根はまじめ(9.6%)」「礼儀正しい(9.1%)」と、全体として肯定的に自己評価をしている。また《するが中》の場合、「自分なりの意見がある(-5.5%)」「目立つのが好き(5.3%)」となっている。表1-1などでみたように《するが中》の場合、早寝早起きで目覚めがよく、体調もよかつただけに、自分の意見がもてない割合が高い点が気になる。

表1-9 自己評価 × 学校

(%)

	奥羽中	下町中	ニュータウン中	するが中	いずも中	島中	全体
体を動かすのが好き**	○80.6	76.5	77.7	72.6	70.6	<u>69.4</u>	75.0
精一杯生きている**	77.9	72.3	73.6	72.1	68.8	69.0	73.0
勉強は嫌い*	73.7	66.4	74.1	70.8	<u>64.2</u>	73.0	71.2
自分なりの意見がある**	70.7	67.9	○78.5	<u>63.8</u>	66.7	69.1	69.3
根はまじめ**	<u>46.8</u>	53.0	○62.7	49.8	○60.2	53.5	53.1
自分のことが好き**	51.7	46.7	52.1	47.5	○53.2	<u>37.1</u>	48.1
礼儀正しい**	<u>40.4</u>	○52.5	○55.0	44.9	43.0	43.4	45.9
情報が早い**	42.0	36.7	38.4	38.9	○45.7	36.8	39.6
人づきあいがへた	39.8	39.1	43.3	37.4	38.7	37.8	39.4
目立つのが好き**	31.3	31.6	33.9	○37.9	<u>26.0</u>	28.4	32.6

* p < 0.01 ** p < 0.001
 ○ は全体値よりも5%以上高い
 _ は全体値よりも5%以上低い
 「とても」+「わりと」その割合

2 . 学校生活・友人関係 D D D

それでは、住んでいる地域や通っている学校によって、毎日の学校生活や友人関係の様子にどんな違いがみられるかを探していこう。

まず、表1 - 10は、「あなたは、現在、学校に通うのが楽しいですか」とたずねた結果である。全体の数値をみると、大づかみに言って、半数は「学校が楽しい」(「とても」+

「かなり」+「やや」の割合)とっており、3割が「ふつうくらい」、そして、2割弱の生徒が「楽しくない」(「やや」+「あまり」+「ぜんぜん」の割合)と感じている。こうした傾向は6つの学校に共通しているが、《下町中》は「とても楽しい」、《島中》は「ぜんぜん楽しくない」という生徒が

表1 - 10 学校が楽しいか × 学校

(%)

	とても 楽しい	かなり 楽しい	やや 楽しい	ふつう くらい	やや 楽しくない	あまり 楽しくない	ぜんぜん 楽しくない
全 体	14.6	13.3	23.3	30.1	5.7	7.1	5.9
	51.2				18.7		
奥羽中	17.8	13.9	21.7	28.4	5.4	5.4	7.4
	53.4				18.2		
下町中	20.9	6.5	21.9	29.8	4.2	8.8	7.9
	49.3				20.9		
ニュータウン中	16.3	13.2	25.6	26.8	6.5	6.8	4.8
	55.1				18.1		
するが中	11.8	18.0	23.7	30.8	5.6	7.4	2.7
	53.5				15.7		
いずも中	10.6	11.7	26.1	28.7	6.4	10.6	5.9
	48.4				22.9		
島 中	10.6	9.9	21.5	37.0	5.9	5.9	9.2
	42.0				21.0		

他の中学に比べてやや多いようだ。

続いて、表1 - 11は、学校生活の中心をなす「授業」についてである。ここでは、生徒たちがどのように学習に取り組んでいるかを知るために、「数学や英語の授業のときに、どんな気持ちでいるか」という聞き方してみた。その結果、「やる気がする」「興味がもてる」と授業に意欲的な生徒は、残念ながら全体の3割ほど（「とてもそう」+「かなりそう」の割合、以下同じ）で、「ぼんやりしている」が4割弱、「イヤな気持ち」も3割弱あり、半数の生徒が「早く終わってほしい」

と願っていることがわかる。

これを学校別にみると、授業に一番積極的なのは《するが中》の生徒たちで、《いずも中》や《島中》に比べ、「やる気がする」で20ポイントほど高く、「早く終わってほしい」では25ポイントも低い。ただ、生徒たちの授業に取り組む姿勢は、担当する教師の力量はもちろんのこと、そのときのクラスの雰囲気などによっても大きく異なるので、これをストレートに「学校の特色」とみたり、「地域の特徴」と考えるのは早計だろう。ここでは同じ日本の中学校でも、こんなにもバラエ

表1 - 11 授業のときの気持ち × 学校

(%)

	やる気がする	興味がもてる	ぼんやりしている	イヤな気持ち	早く終わってほしい
全 体	31.8	34.7	36.5	26.3	53.7
奥羽中	32.2	34.6	35.9	28.1	53.3
下町中	33.1	37.0	41.8	31.5	53.7
ニュータウン中	27.1	35.5	46.9	24.0	59.7
するが中	42.1	41.8	25.1	20.5	40.1
いずも中	20.3	23.0	40.1	30.2	65.2
島 中	24.1	26.5	40.7	30.6	64.6

「とても」+「かなり」その割合
○は最大値 □は最小値

ティーに富んでいるのだと考えておきたい。

次の表1 - 12は、「授業内容をどれくらい理解しているか」を生徒たちに自己評価してもらったものである。「授業内容のおよそ半分」を1つの目安にすると、全体では、数学と英語については約70%の生徒が、また、国語では約80%の生徒が「わかる」(「全部」+「7割くらい」+「半分くらい」の割合)と答えている。「ほとんどわからない」や「3割くらい」という生徒たちが心配だが、基礎の基礎だけはなんとか理解させようと毎日の授業に工夫を凝らす教師たちの努力の跡が感じられる。

学校で比較すると、《ニュータウン中》が3教科ともおおむね良好である。《ニュータウン中》は、先の表1 - 11では、「やる気がする」や「興味もてる」は平均的で、「ぼ

んやりしている」が多かった。にもかかわらず、授業を理解(半分以上)していると思う生徒が7～8割にも達しているのはなぜだろう。大事なことは塾で勉強しているからだろうか。それに比べると、《島中》は理解度が低い感じがする。英語や国語の授業を半分以上理解している生徒が4割しかないのにはどんな理由があるのだろうか。

続いて、表1 - 13は「将来の見通し」についてである。一見して、全体的に望みが小さく、明るさにも欠けることが気になる。

多くの中学生にとって、おそらく最初の試練となる高校進学について、「望みの高校に入れる」(「きっとできる」+「たぶんできる」)と思える生徒は、全体の46.1%にすぎない。これが「望みの大学」となると27.7%にほぼ半減してしまう。もちろん、進学だけが人生で

表1 - 12 授業内容の理解度 × 学校

(%)

	数 学	英 語	国 語
全 体	68.7	67.2	77.9
奥羽中	68.0	67.7	82.0
下町中	64.5	70.7	77.2
ニュータウン中	79.6	81.1	86.5
するが中	69.2	74.6	83.6
いずも中	64.4	58.0	91.4
島 中	61.5	39.9	43.4

「全部」+「7割くらい」+「半分くらい」わかる割合

はない。自分なりの目標をもって、達成への青写真が描ければいいのである。けれども、「望みの仕事につき」「社会的な活躍ができる」と自信をもって答えることができる生徒は3割ほどで、「幸せな家庭」でさえも「つくれる」は半数に満たない。さまざまな可能性を秘めている中学生が描く将来像にしては、こんなことでどうするという思いがしてくる。

これを学校別にみると、6校のなかでは、《ニュータウン中》が「大学」「家庭」「社会的な活躍」で最大値を示しており、《いずも中》が「高校」「大学」「社会的な活躍」で最小値であるのと対照的だ。やはり、近郊に大学がいくつもある都心の中学校と山陰の静かな町にある中学校では、生徒たちが肌で感じる教育への期待や活躍のチャンスに差があるのだろうか。情報化が進み、世界がますます

狭くなっている今日、もしもなんらかの地域性があきらめや閉塞感を助長しているとしたら、残念なことである。ただ、《いずも中》は、先にみた「授業のときの気持ち」(表1-11)でも、他校に比べて、「やる気がする」や「興味もてる」の数値が低く、「早く終わってほしい」の数値が高かった。このことを考えると、なにか別の要因もあるように思われる。

さて、学校は授業を核とする学習の場であるが、同時に、同じ世代の友人たちとの集団生活を通じて共に成長する場でもある。生徒たちは、友人とおしゃべりを楽しんだり、部活動に打ち込んだり、時には友だちとうまくいかないことで悩みながら、いろんなことを学び、おとなになっていく。

表1-14は、そんな彼らに、「次のような

表1-13 将来の見通し × 学校

(%)

	望みの高校に入れる	望みの大学に入れる	望みの仕事につける	幸せな家庭をつくれる	社会的な活躍ができる
全 体	46.1	27.7	34.8	45.4	31.2
奥羽中	45.7	28.4	33.6	<u>42.1</u>	28.9
下町中	<u>51.2</u>	30.6	<u>39.8</u>	44.1	33.1
ニュータウン中	47.9	<u>36.7</u>	38.6	<u>49.2</u>	<u>33.8</u>
するが中	44.9	24.1	<u>30.0</u>	44.8	31.2
いずも中	<u>40.9</u>	<u>14.7</u>	32.3	46.0	<u>27.4</u>
島 中	46.2	25.6	39.2	47.4	32.4

「きつと」+「たぶん」できる割合
ただし、「望みの高校」「望みの大学」については、
「進学するつもりはない」と回答したものは除外してある。
○は最大値 〓は最小値

友だちがどれくらいいるか」をたずねたものである。「たくさんいる」という回答に注目すると、「一緒におしゃべりをする友だち」は63.1%、「忘れ物を貸し借りできる友だち」は49.7%、「休日に遊んだり、買い物に行ったりする友だち」でも29.7%の生徒は「たくさんいる」と答えている。

もちろん、友人関係は人数ばかりでなく、その関係の質が重要であることはいうまでもない。そこで、もう少し心理的に踏み込んだ関係をみてみると、「うれしいときに一緒に喜んでくれる友だち」では35.7%が「たくさんいる」と答えているものの、「落ち込ん

でいるときに話を聞いてくれる友だち」は18.6%、そして、「もし悪いことをしたら、注意してくれる友だち」は13.2%、「深刻な悩みを相談できる友だち」では10.4%に減少する。他方、1人も「いない」の数値に着目すると、「落ち込んでいるときに話を聞いてくれる友だち」で13.1%、「もし悪いことをしたら、注意してくれる友だち」で21.6%、「深刻な悩みを相談できる友だち」では23.7%の生徒が「そのような友だちは1人もいない」と答えている。

こうしてみると、彼らには「おしゃべりをし、忘れ物を貸し借りする友だち」はたくさ

表 1 - 14 次のような友だちはいるか

(%)

	たくさん いる	5、6人 いる	2、3人 いる	1人いる	いない
一緒におしゃべりをする友だち	63.1	25.5	9.3	1.1	1.0
忘れ物を貸し借りできる友だち	49.7	28.8	17.7	1.4	2.4
休日に遊んだり、買い物に行ったりする友だち	29.7	36.2	26.4	2.8	4.9
うれしいときに一緒に喜んでくれる友だち	35.7	28.3	25.3	3.6	7.1
落ち込んでいるときに話を聞いてくれる友だち	18.6	24.2	36.8	7.3	13.1
もし悪いことをしたら、注意してくれる友だち	13.2	16.2	37.3	11.7	21.6
深刻な悩みを相談できる友だち	10.4	12.7	36.5	16.7	23.7
生涯、つきあえそうな友だち	21.0	22.2	34.2	10.0	12.6

んいるものの、「悩みを相談でき、注意してくれる友だち」は少ないことがわかる。「友だち」の「中身」が気になってくる。

そこで、友人とふだん、どんなつきあい方をしているかをたずねた結果が表1-15である。全体のデータを見ると、「ケンカをしても、すぐ仲直りができる」で72.5%、「誘われても気のすまないことは断る」でも60.0%はそう思う（「とてもそう」+「かなりそう」の割合）と答えており、一見、良好な関係に見えるが、「友だちに陰口を言われていると思う」で35.9%、「仲がよくて、本音や悩みは話せない」でも31.2%はそう

思うことが示すように、「友人関係」といっても、「なかなか心を許すことができないもどかしさ」や「本音と建て前の巧妙な使い分け」が感じられる。さらには、いじめのターゲットになったり、傷つくことをおそれているのか、4人に1人は「クラスでは目立たないようにしている」と答え、「友だちの話についていけない」と、半ばあきらめている生徒も1割ほどいる。

学校で比較すると、とりわけ《下町中》は、「友だちに陰口を言われている」「クラスでは目立たないようにしている」「友だちの話についていけない」で最大値を示しており、他

表1-15 友だちとのつきあい方 × 学校

(%)

	全 体	奥羽中	下町中	ニュー タウン中	するが中	いずも中	島 中
ケンカをしても、すぐ仲直りができる	72.5	73.7	<u>68.7</u>	72.8	<u>74.9</u>	71.8	69.1
誘われても気のすまないことは断る	60.0	<u>64.6</u>	58.7	<u>64.6</u>	<u>52.8</u>	58.9	62.3
友だちに陰口を言われていると思う	35.9	34.8	<u>43.3</u>	38.9	<u>29.3</u>	39.4	38.7
仲がよくて、本音や悩みは話せない	31.2	30.1	36.0	32.3	<u>26.3</u>	<u>36.7</u>	34.0
クラスでは目立たないようにしている	24.1	23.8	<u>28.9</u>	25.4	<u>21.4</u>	22.4	25.3
友だちの話についていけない	11.9	12.1	<u>16.3</u>	14.6	<u>8.8</u>	11.2	11.3

「とても」+「かなり」その割合
 ○ は最大値 □ は最小値

人の目に自分がどう映っているかを気にする
ような、どこかよそよそしい友人関係である。
それに対して《するが中》は、「ケンカをし
ても、すぐ仲直りができる」で最大値、また、
それ以外の項目ではどれも最小値であり、他
校に比べれば、中学生らしい自然な友人関係
が育っているように感じられる。こうした違
いはどこから生まれるのだろうか。

なお、「クラスにいじめがあると思うか」
とたずねた表1 - 16をみると、6つの中学
校のなかでは《下町中》の生徒の肯定率が最
も高く、「かなりある」が12.3%、「少しある」
も合わせると47.1%にも達する。先に指摘し
た、《下町中》のどこかよそよそしい友人関係
は、身近に「いじめ」があるとの認識が陰を
及ぼしていることが推測される。

表1 - 16 クラスにいじめがあると思うか × 学校

(%)

	かなりある	少しある	ほとんどない	まったくない
全 体	6.7	32.7	35.0	25.6
奥羽中	5.7	31.6	32.7	30.0
下町中	12.3	34.8	30.7	22.2
ニュータウン中	7.9	35.9	33.9	22.3
するが中	5.8	30.8	42.4	21.0
いずも中	3.7	28.9	35.3	32.1
島 中	6.0	34.6	29.9	29.5

3 . 流行への意識と行動 D D D

中学生といえば、おしゃれに目覚め、流行に敏感になる年代である。友だちとおそろいのものが欲しかったり、それでいて細かいところでは、自分らしさにこだわったりする。そこで次に、生徒たちのそうした流行へのスタンスが学校によって、どのように異なるかをみてみよう。

まず、表1 - 17は、「学校へよく持っていくもの」を複数回答で答えてもらった結果である。全体の項目をみると、生徒の半数が「リップクリーム」をあげ、「手帳」や「ブラシ」

も3人に1人くらいは持っていくことがわかる。また、おそらく校則で禁止している学校も多いだろうが、「雑誌」や「マンガ」も1割程度の生徒は持っていており、わずかではあるが「電子ゲーム」「ポケベル」「携帯電話・PHS」をカバンにしのばせる者もいる。

試みに、学校別のデータから他の中学に比べて高い(あるいは、低い)数値を示した項目をひろって、その学校らしさをスケッチすると次のようになる。

まず、《奥羽中》は「参考書」を持ってい

表1 - 17 学校へよく持っていくもの × 学校

(%)

	全 体	奥羽中	下町中	ニュー タウン中	するが中	いずも中	島 中
リップクリーム	50.7	54.0	47.7	50.0	56.7	51.6	37.5
手帳	29.8	31.0	40.7	47.2	9.3	43.1	28.9
ブラシ	29.0	29.7	33.3	32.7	24.7	41.5	20.7
腕時計	13.3	5.0	24.1	41.6	1.6	14.4	5.9
雑誌	12.1	11.3	15.7	8.7	7.3	27.1	14.5
小説などの本	10.7	8.4	11.1	9.2	12.5	9.6	13.2
参考書	10.3	15.8	8.8	7.3	7.5	11.7	10.9
マンガ	9.9	5.4	14.4	8.1	7.0	20.2	14.8
電子ゲーム	3.7	1.3	2.8	2.5	1.1	11.7	9.5
ポケベル	3.2	0.9	4.6	2.8	3.2	0.5	7.9
携帯電話・PHS	2.0	1.1	6.5	2.8	0.9	0.5	2.0

「学校によく持っていくもの」を複数回答
○ は最大値 — は最小値

く生徒が他校に比べ多く、「マンガ」を持っていく生徒は少ない。真面目な校風なのだろうか、それとも指導の成果だろうか。《下町中》は、「携帯電話・PHS」で第1位、「ポケベル」も第2位である。これらの情報ツールを持っていく生徒は実数ではそれほど多くはないが、都心の学校だけに、時代の流れに一番近いところにいるのかもしれない。また《ニュータウン中》は、およそ2人に1人が「腕時計」「手帳」を持ってきており、スケジュールで行動する都会人のライフスタイルを彷彿とさせる。これと対照的なのが《するが中》で、「腕時計」「手帳」「雑誌」「電子ゲーム」の持参率は最も少ない。指導が徹底しているのか、それとも必要性を感じないのだろうか。他方、「ブラシ」「雑誌」「マンガ」「電子ゲーム」といった、中学生らしさを感じるアイテムを学校に持っていくのが《いずも中》の生徒たちである。最後に《島中》は、意外なことに、「ポケベル」を持っていく生徒が一番多かった。離島のイメージからは想像し難いが、なにか理由があるのだろうか。

このように改めて比較してみると、都市化や情報化によって、地域色が薄れてきたといわれるわりには、その学校らしさがあらわれているように思われる。もちろん、「学校に持っていくもの」だけで、「その学校らしさ」を論じるのは乱暴にすぎるかもしれない。そこで、「ほしいもの」や「ファッション」に関するデータで、さらに補っていこう。

表1-18は、「持っているもの・ほしいもの」をたずねた結果である。

まず、全体の「もう持っている」をみると、「自分の部屋」は65.6%と半数を超え、「テレビゲーム機」「ステレオコンポ」「テレビ」も、3人に1人は「自分専用」を持っていることがわかった。それに比べると、「パソコン」の所有率は13.3%、また、「プレミアのつくようなシューズ」「ポケベル」「携帯電話・PHS」は5%前後と、まだ少ない。

「もの」ごとに、「もう持っている」「持っていないが、とてもほしい」の最も高い数値

を示した学校をあげると次のようになる。

〔もう持っている〕

自分の部屋	するが中 (77.2%)
テレビゲーム機	ニュータウン中 (44.8%)
ステレオコンポ	奥羽中 (44.6%)
自分専用のテレビ	奥羽中 (39.3%)
パソコン	ニュータウン中 (22.2%)
プレミアのつくようなシューズ	するが中 (8.0%)
ポケベル	島中 (11.0%)
携帯電話・PHS	下町中 (9.8%)

〔持っていないが、とてもほしい〕

自分の部屋	奥羽中 (78.9%)
テレビゲーム機	島中 (38.7%)
ステレオコンポ	島中 (49.7%)
自分専用のテレビ	島中 (64.7%)
パソコン	いずも中 (47.0%)
プレミアのつくようなシューズ	島中 (28.7%)
ポケベル	島中 (28.5%)
携帯電話・PHS	島中 (34.1%)

「自分の部屋」は別格としても、「テレビゲーム機」と「パソコン」は《ニュータウン中》、「ステレオコンポ」と「テレビ」は《奥羽中》、「シューズ」は《するが中》。データをみていくと、確かになんとなく、その学校のイメージが浮かんでくるような気がするがいかがであるだろうか。また、「持っていないが、とてもほしい」では、8項目のうち6項目で《島中》が最大値を示していることも興味深い。

続いて表1-19は、ファッションに関連して、「していること・したいこと」をたずねたデータである。全体でみると、「ルーズソックスをはく(女子のみ)」で22.0%、「まゆ毛を細くする」で10.4%の生徒がすでにしているが、それ以外はいずれも数%と少ない。身近で、高校生がしているのを見ていると思われるので、好奇心旺盛な中学生にしては、

かなり歯止めがかかっているように感じる。けれども、これらは「ツツパリの証明」から「ファッションの1つ」になっているだけに、「していないが、とても+かなりしたい」と思う割合は、「髪の毛を染める」「ルーズソックスをはく」「ダイエットをする」「ピアスをする」のいずれにおいても30%を超えている。

また、項目ごとに、「もうしている」「していないが、とても+かなりしたい」で最も高い数値を示した学校をあげると、次のように

なる。

〔もうしている〕

ルーズソックスをはく	いずれも中	(47.1%)
まゆ毛を細くする	下町中	(13.5%)
ズリパン・スタイルで歩く	島中	(9.9%)
髪の毛を染める	島中	(7.6%)
ダイエットをする	島中	(6.4%)
ピアスをする	島中	(5.6%)
パーマをかける	下町中	(2.3%)

表1 - 18 持っているもの・ほしいもの × 学校

(%)

		全 体	奥羽中	下町中	ニュー タウン中	するが中	いずれも中	島 中
自分の部屋	もう持っている	65.6	75.3	<u>34.4</u>	70.9	<u>(77.2)</u>	70.8	42.2
	持っていないが、 とてもほしい	71.2	<u>(78.9)</u>	<u>66.7</u>	71.2	67.7	76.4	70.7
テレビゲーム機	もう持っている	40.2	43.7	40.9	<u>(44.8)</u>	40.5	44.3	<u>26.2</u>
	持っていないが、 とてもほしい	31.9	36.0	37.8	28.9	<u>24.8</u>	28.2	<u>(38.7)</u>
ステレオコンポ	もう持っている	39.2	<u>(44.6)</u>	<u>29.8</u>	40.8	40.4	31.3	38.5
	持っていないが、 とてもほしい	42.9	44.5	<u>38.4</u>	38.6	42.4	43.4	<u>(49.7)</u>
自分専用の テレビ	もう持っている	30.3	<u>(39.3)</u>	24.8	<u>22.4</u>	29.3	38.3	26.8
	持っていないが、 とてもほしい	55.8	59.6	51.6	<u>43.0</u>	58.6	56.9	<u>(64.7)</u>
パソコン	もう持っている	13.3	11.7	16.7	<u>(22.2)</u>	10.3	12.3	<u>8.7</u>
	持っていないが、 とてもほしい	34.6	44.7	31.8	31.4	<u>27.9</u>	<u>(47.0)</u>	29.9
プレミアのつく ようなシューズ	もう持っている	6.2	5.0	7.4	6.7	<u>(8.0)</u>	<u>4.3</u>	<u>4.3</u>
	持っていないが、 とてもほしい	17.8	19.9	20.1	<u>9.6</u>	15.5	14.0	<u>(28.7)</u>
ポケベル	もう持っている	5.8	2.8	8.4	5.6	5.9	<u>1.1</u>	<u>(11.0)</u>
	持っていないが、 とてもほしい	21.2	23.6	<u>13.7</u>	20.8	19.0	20.2	<u>(28.5)</u>
携帯電話・PHS	もう持っている	4.2	4.6	<u>(9.8)</u>	6.7	2.2	<u>1.6</u>	2.3
	持っていないが、 とてもほしい	30.0	32.3	27.8	<u>27.0</u>	28.5	28.4	<u>(34.1)</u>

「持っていないが、とてもほしい」については、「もう持っている」と回答したものは除外してある。
 ○ は最大値 — は最小値

〔していないが、とても+かなりしたい〕
 ルーズソックスをはく 島中(47.2%)
 まゆ毛を細くする するが中(40.2%)
 ズリパン・スタイルで歩く するが中(12.1%)
 髪の毛を染める するが中(46.0%)
 ダイエットをする いずれも中(40.2%)
 ピアスをする するが中(42.1%)
 パーマをかける 島中(14.1%)

ここには、いくつかの興味深い傾向がみられる。まず、これらのファッションを一番取り入れているのが《島中》の生徒で、「髪の毛を染める」「ダイエット」「ピアス」「ズリ

パン・スタイル」が他校に比べて多く、「ルーズソックス」や「パーマ」をしてみたいと思っている生徒も多い。他方、《するが中》は、全般的に「していない生徒」が多いけれども、内心では「髪の毛を染めたり、まゆ毛を細くしたり、ピアスをしてみたい」と興味津々の様子であり、40%を超える高い数値が示されている。また、《下町中》は、「まゆ毛を細くしたり、パーマをかけている」生徒は他校に比べて多いが、反面、「していない生徒」がこれらのことを「したい」と思う割合はそれほどでもない(特に、「まゆ毛を細くする」について「していないが、したい」は9.7%と最小値である)

表1 - 19 していること・したいこと × 学校

(%)

		全体	奥羽中	下町中	ニュータウン中	するが中	いずれも中	島中
ルーズソックスをはく	もうしている	22.0	30.4	13.9	29.2	1.1	47.1	28.9
	していないが、とても+かなりしたい	36.8	40.1	23.0	23.1	40.0	45.7	47.2
まゆ毛を細くする	もうしている	10.4	10.6	13.5	8.4	9.1	9.6	13.4
	していないが、とても+かなりしたい	21.7	15.1	9.7	11.3	40.2	16.6	20.8
ズリパン・スタイルで歩く	もうしている	5.8	8.4	5.6	3.3	4.9	2.0	9.9
	していないが、とても+かなりしたい	7.7	8.2	4.7	3.4	12.1	1.0	11.0
髪の毛を染める	もうしている	3.7	2.2	7.5	2.0	3.0	1.6	7.6
	していないが、とても+かなりしたい	37.7	36.4	28.3	26.3	46.0	37.9	44.8
ダイエットをする	もうしている	2.9	2.2	4.2	2.3	1.6	2.1	6.4
	していないが、とても+かなりしたい	33.1	37.7	27.2	26.9	32.8	40.2	33.3
ピアスをする	もうしている	2.2	0.7	3.7	0.8	2.0	1.6	5.6
	していないが、とても+かなりしたい	33.6	26.0	25.6	30.8	42.1	35.9	37.7
髪の毛にパーマをかける	もうしている	1.1	1.1	2.3	0.8	0.2	1.6	1.7
	していないが、とても+かなりしたい	11.5	9.9	12.0	13.8	9.7	11.9	14.1

「ルーズソックスをはく」は女子のみ
 「ズリパン・スタイルで歩く」は男子のみ
 「していないが、とても+かなりしたい」については、
 「もうしている」と回答したものは除外してある。
 ○は最大値 — は最小値

なぜ、このような結果となるのかはいろいろな要因が考えられるが、その1つに「流行というもの」への接し方があるように思われる。そこで最後に、流行への意識と行動について、いくつかの角度からたずねたものが、表1-20である。

まず、全体の項目をみると、「毎月読むファッション雑誌・情報誌がある」では55.4%、「トレンディー・ドラマは欠かさず見る」「よく行く、お気に入りの店がある」「最新のヒット曲が歌えるようにしておく」で40%以上が「とてもそう」「かなりそう」と答えており、流行に敏感な中学生の姿が映し出されている。「ブランドに詳しい」はさすがに15%ほどであるが、お小遣いの範囲でやりくりできる、「新発売のお菓子や飲み物は買ってみる」「遊びに行くときは、流行の服を着る」では、3人に1人が「そう」と答えている。

学校別のデータに目を移すと、おもしろいことに、地方都市にある学校の生徒の方がより強い関心を持っていることがわかる。最大値を示す○に注目すると、「お気に入りの店

があり、最新のヒット曲が歌え、新発売のお菓子や飲み物を買って、ブランドに詳しい」と自負している生徒が多いのは《奥羽中》で、「毎月ファッション誌・情報誌を読み、トレンディー・ドラマを欠かさず見て、流行の服を着て遊びに行く」のは《するが中》、そして、「プリクラ」に一番ハマっている生徒が多いのは《いずも中》である。他方、意外なことに、東京の真ん中にある《下町中》や《ニュータウン中》は、それほど流行にとらわれてはいないようである。また、《島中》は、地理的商業的な環境の問題からか、「お気に入りの店、新発売のお菓子や飲み物、ブランド」にはハンディがあるようだ。もしかしたら、その分、表1-19にあるようなファッションに関心を持つのもかもしれない。

次々と情報が届けられる今日、おしゃれや流行に敏感な年頃の彼らにとって、気にするなという方が無理であろう。ただ、その気になればすぐ手が届く、都心の中学生たちが意外と冷静で、自分らしさを大事にしているような印象があることは皮肉な結果といえよう。

表1-20 次のことはどれくらいあてはまるか × 学校

(%)

	全 体	奥羽中	下町中	ニュー タウン中	するが中	いずも中	島 中
毎月読むファッション雑誌・情報誌がある	55.4	59.3	43.7	46.8	62.9	60.6	50.7
トレンディー・ドラマは欠かさず見る	46.3	44.5	39.7	34.7	55.5	51.6	47.0
よく行く、お気に入りの店がある	45.6	54.9	40.5	45.1	41.9	54.0	37.1
最新のヒット曲が歌えるようにしておく	41.6	45.9	36.1	37.4	44.0	40.1	40.5
新発売のお菓子や飲み物は買ってみる	38.0	43.1	34.9	34.0	39.2	41.0	33.9
遊びに行くときは、流行の服を着る	32.7	38.7	20.5	21.1	42.1	32.1	28.8
プリクラを集めている	21.3	27.1	22.3	11.8	13.1	33.5	30.8
ブランドに詳しい	14.6	16.1	14.8	14.4	15.4	12.9	12.0

「とても」+「かなり」その割合
○は最大値 —は最小値

4 . 地域に対する愛着 D D D

今までの節でみてきたように、一言で中学生といっても学校・地域によってその姿は大きく異なっていた。では、中学生はその地域に対してどの程度愛着を持っているのだろうか。

表1 - 21は住んでいる「まち」が好きかどうかを学校別にみたものである。「とても好き」と「わりと好き」を足した数値を高い方から並べると、《ニュータウン中》(59.9%) 《下町中》(45.1%) 《いずも中》(41.2%) 《奥羽中》(35.9%) 《するが中》(35.9%) 《島中》(33.8%)と、学校によって25%以上の差がみられる。

また、表1 - 22はおとなになってからもこの「まち」に住みたいかである。「ぜったい住みたい」「できれば住みたい」を足した数値を高い方から並べると、《ニュータウン中》(28.2%) 《下町中》(22.0%)

《奥羽中》(16.5%) 《島中》(15.8%) 《いずも中》(11.8%) 《するが中》(11.7%)という順番になる。この順番は、表1 - 21の結果と大筋で一致する。

では、これらの地域への愛着は、毎日の楽しさとどの程度関連しているのだろうか(表1 - 23)。ここでは学校別ではなく、先ほど使用した住んでいる「まち」が好きかどうかについて「とても+わりと好き(以下《好き群》とする)」「まあ好き(以下《まあまあ群》とする)」「あまり+ぜんぜん好きではない(以下《嫌い群》とする)」の3グループに分けて分析を行っていく。毎日が「とても楽しい」と「わりと楽しい」を足した数値でみていくと、《好き群》は83.6%、《まあまあ群》は73.6%、《嫌い群》は54.9%と大きく差がみられる。むろん、毎日の楽しさは地域の愛着以外にも、さまざまな要素が交じり

表1 - 21 住んでいる「まち」が好きか × 学校

	とても好き	わりと好き	まあ好き	あまり好きでない	ぜんぜん好きでない
奥羽中	16.1	19.8	34.5	15.9	13.7
下町中	21.4	23.7	38.2	8.8	7.9
ニュータウン中	29.8	30.1	32.5	4.5	3.1
するが中	12.0	23.9	45.3	14.5	4.3
いずも中	13.9	27.3	34.7	15.5	8.6
島中	14.1	19.7	40.5	17.8	7.9
全体	17.4	23.7	38.3	13.1	7.5

(%)
p < 0.001

合って規定されるのだが、少なくともこの表の結果では、地域に対する愛着が高い層の方が、毎日が楽しいと回答している。

では、こうした毎日の楽しさと何らかの関連性がある、地域に対する愛着に影響を与え

ているものは何であろうか。ここでは、1. その地域に住んでいる期間、2. 周囲の人間関係、3. 周囲の環境の3点から考察をすすめる。

表1 - 22 おとなになってからもこの「まち」に住みたいか × 学校

(%)

	ぜったい住みたい	できれば住みたい	まあ住みたい	あまり住みたくない	ぜったい住みたくない
奥羽中	4.1	12.4	29.8	31.7	22.0
下町中	7.0	15.0	35.9	29.0	13.1
ニュータウン中	3.7	24.5	43.3	21.7	6.8
するが中	2.7	9.0	33.4	40.7	14.2
いずも中	1.1	10.7	29.4	40.6	18.2
島 中	4.9	10.9	24.3	40.8	19.1
全 体	3.8	13.4	32.9	34.3	15.6

p < 0.001

表1 - 23 毎日の楽しさ × 住んでいる「まち」が好きか

(%)

	好き群	まあまあ群	嫌い群
とても楽しい	32.1	12.7	10.6
わりと楽しい	51.5	60.9	44.3
あまり楽しくない	12.9	22.7	27.4
ぜんぜん楽しくない	3.5	3.7	17.7

p < 0.001

《好き群》は、住んでいる「まち」が好きか、について「とても好き」「わりと好き」と回答したもの(全体の41.1%)、《まあまあ群》は「まあ好き」と回答したもの(全体の38.3%)、《嫌い群》は「あまり好きでない」「ぜんぜん好きでない」と回答したもの(全体の20.6%)である。(表1 - 23~表1 - 26は共通)

まず期間についてである。一般に、その地域に住んでいる期間が長くなればなるほど、地域に対する愛着度は増すと考えられる。しかし表1-24からわかるように、その地域に住み始めた時期と地域に対する愛着度に差はみられない。したがって、おとなはともかく中学生の場合、長期間住んだことが直接地域に対する愛着につながるものではないといえる。

次に人間関係についてみる(表1-25)。表では各項目について「とてもそう」と「わりとそう」を足した数値を載せてある。ここであげた4項目のすべての項目において、《好き群》の方が《嫌い群》よりも高い割合

を示している。また、《好き群》から《嫌い群》を引いた数値を高い項目から順に並べると「困ったときには、近所の人から助けてくれる(35.9%)」「悪いことをしたら、近所の人に叱られる(17.7%)」「近所の人には、あなたのことをよく知っている(14.9%)」「近所の人をよよく知っている(12.6%)」という順になる。したがって、自分が近所のことを知っているかということよりも、「困ったときには、近所の人から助けてくれるだろう」など、近所の人に対するありがたみが、地域に対する愛着のキーになっているといえる。

最後に周囲の環境である(表1-26)。ここでは「とてもそう」と「わりとそう」を足

表1-24 住んでいる「まち」が好きか × いつから住んでいるか

	好き群	まあまあ群	嫌い群
生まれたときから	55.4	54.2	53.8
小学生になる前から	25.4	26.1	23.8
小学生の頃から	13.8	14.4	19.5
中学生になってから	5.4	5.3	2.9

(%)

p < 0.05

表1-25 住んでいる「まち」が好きか × 近所の人との関係

	好き群	まあまあ群	嫌い群
近所の人には、あなたをよく知っている	78.2	70.7	63.3
近所の人をよよく知っている	64.7	49.0	52.1
困ったときには、近所の人から助けてくれる	64.7	42.6	28.8
悪いことをしたら、近所の人に叱られる	56.5	47.3	38.8

(%)

p < 0.001 「とても」 + 「わりと」 割合

した数値があげてあるが、「新しいものがすぐに入ってくる」については分布の偏りから「ぜんぜんそうではない」の数値が載せてある。やはりこの表でも、ここであげた環境がある方が、その地域が好きだとする感情が高いことがわかる。また、《好き群》と《嫌い群》の差が大きい方から順にならべると「親切な人がたくさんいる・楽しい場所がたくさんある(41.7%)」「新しいものがすぐに入ってくる(-36.0% 逆の尺度を抽出したため)」「自然がたくさんある(13.3%)」「お祭りなどが盛んだ(8.7%)」となる。

こうしてみると、地域への愛着に影響を与えるのは、長期間その地域に住んでいるか

はなく、近所の人たちの自分たちに対する姿勢であり、楽しい場所があるといった環境によって影響を受けるといえる。表1-21によれば、住んでいる「まち」が好きと回答した順位は《ニュータウン中》《下町中》という東京にある中学校が上位にきていた。したがって、地域への愛着に一番影響を与えるのは、近所の人よりも楽しい場所があるかどうかではないか、と解釈しがちではないだろうか。なんとなくわれわれは、東京にある新興住宅地の中学校、東京の下町の中学校など、名前を聞いただけでイメージが浮かぶ。例えば、新興住宅地よりは下町の方が、東京よりは地方の方が親切な人が多いのではないか、

表1-26 住んでいる「まち」が好きか × 環境

(%)

	好き群	まあまあ群	嫌い群
自然がたくさんある	81.7	76.3	68.4
お祭りなどが盛んだ	75.0	71.7	66.3
親切な人がたくさんいる	82.5	69.3	40.8
みんな忙しそうにしている	38.5	34.0	29.9
楽しい場所がたくさんある	51.0	23.1	9.3
新しいものがすぐに入ってくる	25.5	30.2	61.5

「とても」+「わりと」その割合のみ「ぜんぜんそうでない」割合
p < 0.001

などと。しかし、表1 - 27の学校別にみた「まち」の評価では、例えば「親切な人がたくさんいる」については、《下町中》よりも《ニュータウン中》の方がたくさんいると回答している。他に《ニュータウン中》よりも低い学校は、地方の学校でも《島中》《奥羽中》と2校もある。調査の関係上、とかく大

都市の中学生のあり方から今の中学生を論じることは少なくない。しかし、今回の結果からは、決して大都市の中学生が代表的なものではないということ、また、われわれが抱いている地域に関連したイメージと現実とではギャップがあることを改めて感じた結果となった。

表1 - 27 どんな「まち」に住んでいるか × 学校

(%)

	奥羽中	下町中	ニュー タウン中	するが中	いずも中	島 中	全 体
伝統的な行事が盛んだ**	75.4	60.0	41.6	84.4	84.5	79.5	72.0
親切な人がたくさんいる*	64.2	67.3	71.4	71.4	72.2	67.4	68.9
みんな忙しそう**	32.9	30.7	42.1	37.7	27.4	33.0	35.0
楽しい場所がたくさんある**	26.5	38.2	48.4	29.8	33.2	18.5	31.7
新しいものがすぐ入ってくる	10.7	31.6	38.3	7.7	4.3	6.2	15.5
**	21.1	6.5	25.6	26.4	66.3	72.7	33.4

「とても」+「わりと」その割合
のみ「とてもそう」の割合
* p < 0.01 ** p < 0.001

第2章 各地域・学校の事例



1.《島中》 - 塾通いする中学生 DDD

(1) 地域・学校の特徴

《島中》は、九州本土から定期船で約10時間、飛行機で約50分のところにある。地元の町には島内第2の港があり、まわりには景観のよいサンゴ礁の海が広がっていて自然に恵まれたところである。

町は港を中心に栄えてきており、港周辺には住宅が密集して多くの人々が住んでいる。また、町の中にマーケットや商店の数はけっこうたくさんあるが、大きなデパートはない。この町から、毎朝本土から定期船が到着する島内唯一の市までは車で約1時間30分、空港へは約2時間かかり、島民はそこから島外へ出かけることができる。

《島中》は50年の伝統を持ち、生徒数325名(計10クラス)、教職員25名の中規模校で

ある。教職員は本土から赴任してきている人が多く、そのほとんどが3年で異動するので、毎年約3分の1は入れ替わっている。保護者の職業は、漁業、農業、土木、自営業、公務員などである。

学校の1日の時程は表2-1の通りであるが、

生徒は8時05分までに登校し、朝の学級活動の時間まで朝自習に取り組んでいる。昼の休憩時間をたっぷり45分間とって、2校時と5校時終了後には15分の休憩時間をとっている。

月～金曜日にはすべて6校時まで授業があり、のようにゆったりと休憩・休憩時間を組んでいることもあって、一般生徒の下校は5時近くになっている。

以上のような特徴がある。

また、学校の教育の特徴として、各教科・領域に郷土教材の導入を図ることにより、郷土教育の充実を図っていることがあげられる。例えば、

国語 故郷の先人に関する読み物など、「読む」ことを主とした単元に郷土の素材を活用する

理科 身近な地域の「自然」を対象とする生物の観察、地域における自然体験との関連づけで教材化する

体育 郷土の伝統行事を取り上げるなど、数学以外の8教科で郷土を意識した教育を行っている。

表2-2でおもな行事をみると、漢字や計算、英単語の3つのオリンピックをはじめ、英語の暗唱や国語弁論大会、合唱コンクール、クラスマッチなどを含めて、教科の学習に関

連したものが多いため特徴の1つである。

部活動は全部で13あり、そのうち4つは格技（相撲・柔道・剣道・空手）で、文化系は吹奏楽と美術の2つである。

生活指導面では、基本的な生活習慣に関する指導の徹底を図るために、週2回の校門での登校指導であいさつや服装の指導を行い、日頃から「生活の約束10ヶ条」「学習の約束10ヶ条」を徹底させている。また、服装面では、靴、靴下、カバン、ネームなどについても、校則の服装規定をしっかりと守らせるように指導している。その他に、「帰宅時間（PM6:00）を厳守し、夜間外出は特別の場合を除いてぜったいにしない」などの規則もある。

ほとんどの生徒は、中学校卒業後は島内にある5つの高校（そのうちの1校は同じ町内にある）に進学するが、中には下宿しながら

表2-1 《島中》の一日（月～金）

8:05	登校
8:15～8:30	朝自習
8:30～8:40	学級活動
8:45～9:35	1校時
9:45～10:35	2校時
10:35～10:50	休息
10:50～11:40	3校時
11:50～12:40	4校時
12:40～13:10	給食
13:10～13:55	休憩
13:55～14:00	作業準備
14:00～14:10	清掃
14:10～14:20	授業準備
14:20～15:10	5校時
15:10～15:25	休息
15:25～16:15	6校時
16:20～16:35	学級活動
16:35～17:00	諸活動
(土)...3校時まで 11:45～12:00	学級活動

表2-2 《島中》のおもな行事（平成9年度）

4月	家庭訪問（全学年）
5月	校内陸上大会 修学旅行（2年）
6月	宿泊学習（1年） 日曜参観（含合唱コンクール） 漢字オリンピック（国）
7月	（夏休み）三者面談
9月	体育大会
10月	計算オリンピック（数）
11月	文化祭 校内英語暗唱・国語弁論大会
2月	立志式（2年） 英単語オリンピック（英）
3月	クラスマッチ（体） 辞任式

本土の高校に通う生徒もいる。

それでは、《島中》の生徒たちの意識調査の結果から、他校と比べて特徴的なものを抜き出して紹介していこう。

(2) ふだんの生活

まず朝の様子であるが、起床時に「起きようとするが、なかなか起きられない」は14.2%で他の学校に比べて一番少ないのに対して、「なんとなくだるくて、しばらくボーっとしている」は28.5%で一番多い。そして朝食を「毎日必ず食べる」は70.0%、「ほとんど食べない」は7.3%で、前者は他校に比べて比較的少なく、後者は多くなっている。

表2 - 3は生徒たちが放課後行くところを示しているが、ゲームセンター、雑貨屋、プリクラ、カラオケに「ほとんど毎日+ 2、3日に1回は行く」生徒の割合が他校に比べて一番多くなっている。そして本屋、ゲームセンター、コンビニ、ファーストフード店、洋服屋などに「まったく行かない」割合も一番多くなっている。

また、表2 - 4で学習塾などに行く回数を見ると、「週に1回以上行っている」生徒は46.0%とそれほど多くないが、「週4回以上行く」生徒が23.2%もいて、1人あたりの平均回数は1.6回と他校と比較すると一番多くなっている。

表2 - 3 ふだん行くところ

(%)

	ほとんど毎日+ 2、3日に1回は行く	まったく行かない
本屋	14.3	3.7
ゲームセンター	11.0	55.3
コンビニ	10.1	59.7
雑貨屋(文具やキャラクター商品も含む)	9.4	8.4
レンタルビデオ(CD)店	5.3	16.7
ファーストフード店	3.5	47.2
プリクラ	3.3	34.8
洋服屋	2.4	12.0
カラオケ	1.7	30.0

他の学校と比較して
 { どの学校よりも多い
 比較的多い
 比較的少ない
 どの学校よりも少ない
 (以降表2 - 15まで同様)

表2 - 4 学習塾などに週に何回行っているか

(%)

行って いない	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	1人あたりの 平均
54.0	2.7	14.4	5.7	13.8	7.0	0.7	1.7	1.6回

(3) 学校生活と友だち

次に、生徒たちは学校生活や友だちについてどう思っているのだろうか。

表2 - 5は学校に行く楽しさを表しているが、「とても+かなり+やや楽しい」生徒は42.0%、「やや+あまり+ぜんぜん楽しくない」生徒は21.0%となっている。他校と比べると「楽しい」割合は最も少なく、「楽しくない」割合が比較的多くなっている。

表2 - 6で授業内容の理解度をみると、「全部+7割くらい+半分くらいわかる」は数学61.5%、英語39.9%、国語43.4%で、3教科ともに他校よりも少ない数値であるが、なかでも英語と国語は、理解度が一番高い学校に比べて半分以下の数値になっている。

そして、数学や英語の授業のときの気持ち

は表2 - 7のように、「早く終わってほしい」(64.6%)、「イヤな気持ち」(30.6%)が比較的多く、「興味がもてる」(26.5%)や「やる気がする」(24.1%)は少ない。

学校に持っていくものは、多い順にリップクリーム(37.5%)、手帳(28.9%)、ブラシ(20.7%)で、これらはいずれも他校に比べて割合は少なく、逆にマンガ(14.8%)や小説などの本(13.2%)、電子ゲーム(9.5%)、ポケベル(7.9%)の割合が高くなっている。

友だちについては、「たくさんいる」と答えている順に「一緒におしゃべりをする友だち」(66.9%)、「忘れ物を貸し借りできる友だち」(50.2%)、「うれしいときに一緒に喜んでくれる友だち」(36.3%)となっている。しかし、他校と比べて「生涯、つきあえそうな友だち」「落ち込んでいるときに話を聞いて

表2 - 5 学校に行くのが楽しいか

(%)

とても楽しい	かなり楽しい	やや楽しい	ふつうくらい	やや楽しくない	あまり楽しくない	ぜんぜん楽しくない
10.6	9.9	21.5	37.0	5.9	5.9	9.2
42.0				21.0		

表2 - 6 授業内容の理解度

(%)

	全部わかる	7割くらいわかる	半分くらいわかる	3割くらいわかる	ほとんどわからない
数学	6.3	23.6	31.6	25.2	13.3
	61.5				
英語	4.0	13.6	22.3	30.9	29.2
	39.9				
国語	1.0	10.3	32.1	37.7	18.9
	43.4				

てくれる友だち」「もし悪いことをしたら、注意してくれる友だち」「深刻な悩みを相談できる友だち」が「いない」割合が高い。

(4) 自分のこと

表2 - 8は、現在生徒たちがどのようなものをほしがっているかを示している。「ポケベル」以外の項目については「すでに持っている」割合が他校に比べて少ないせいもあるが、ほとんどの項目で「持っていないが、とてもほしい」割合が高くなっている。自分専用のテレビ(64.7%)、ステレオコンポ(49.7%)、テレビゲーム機(38.7%)、携帯電話・PHS(34.1%)、ポケベル(28.5%)など、多くの生徒が電子機器をほしがっている。

表2 - 9で成長過程の体験をみると、他校に比べて「赤ちゃんを抱っこしたこと」「自

分のシャツにアイロンをかけたこと」などの家庭での体験、「川や海で魚をとったり、木になっている果物をとったこと」という自然体験が多い反面、「電子レンジで食べ物を温めて食べたこと」「ビデオで留守番録画をしたこと」のように電子機器を使った体験が少ない。

自分のタイプについての質問では、「体を動かすのが好きだ」「精一杯生きている」「自分のことが好きだ」「礼儀正しい」などを「とても+わりとそう」の割合が他校よりも低く、自分に対して自信がないように見受けられる。

そして、人の生き方について、「なんといっても、世の中はお金だ」と「とても+わりとそう思う」生徒は63.5%で他校よりも一番多く、「コツコツやれば、きっとむくわれる」

表2 - 7 数学や英語の授業のときの気持ち

	とても そう	かなり そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない
早く終わってほしい	35.8	28.8	28.8	6.6
	64.6			
ぼんやりしている	10.9	29.8	49.0	10.3
	40.7			
イヤな気持ち	10.0	20.6	53.5	15.9
	30.6			
興味がもてる	4.6	21.9	48.3	25.2
	26.5			
やる気がする	3.6	20.5	58.7	17.2
	24.1			

表 2 - 8 持っているもの・ほしいもの

(%)

	もう持っている	持っていないが、 とてもほしい
自分の部屋	42.2	70.7
ステレオコンポ	38.5	49.7
自分専用のテレビ	26.8	64.7
テレビゲーム機	26.2	38.7
ポケベル	11.0	28.5
パソコン	8.7	29.9
プレミアのつくようなシューズ	4.3	28.7
携帯電話・PHS	2.3	34.1

表 2 - 9 成長課程の体験

(%)

	しょっちゅう している	何回か している	あまりした ことはない	ぜんぜんした ことはない
電子レンジで食べ物を温めて食べたこと	34.9	34.6	17.9	12.6
お米をといでご飯を炊いたこと	25.5	49.0	15.9	9.6
ビデオで留守番録画をしたこと	24.2	28.5	20.1	27.2
家の手伝いを進んでしたこと	21.9	41.3	28.5	8.3
赤ちゃんを抱っこしたこと	19.0	50.0	19.0	12.0
自分のシャツにアイロンをかけたこと	17.2	36.4	25.2	21.2
夜空の星座をながめたこと	17.0	47.4	25.3	10.3
川や海で魚をとったり、木になっている果物をとったこと	8.9	44.4	31.8	14.9
お年寄りや身体の不自由な人の世話をしたこと	7.3	27.5	45.0	20.2
取っ組み合いのけんかをしたこと	4.3	26.2	44.9	24.6
ファックスで手紙を送ったこと	1.3	6.0	15.9	76.8
はだしでたんぼの中を歩いたこと	1.0	13.6	19.6	65.8

(76.9%)、「今をがまんして、将来のために努力をするべきだ」(58.8%)や「男性も家事や育児をするべきだ」(68.8%)、「子どもができて、女性は働き続けるべきだ」(30.7%)と思う割合は他校よりも少ない。

服装やおしゃれに関して表2 - 10でみると、「もうしていること」として「髪の毛を脱色したり、染めたりする」「ダイエットをする」「ピアスをする」「ズリパン・スタイルで歩く」生徒が、数値は低いものの他校に比べて一番多い。また、「ルーズソックスをは

く」「髪の毛にパーマをかける」など、ほとんどの項目で「現在はしていないが、とても+かなりしたい」と思っている生徒が多く、おしゃれに関してはかなり関心が高いことを示している。

(5) 家族のこと

表2 - 11は家族についてまとめたものであるが、「祖父母と同居している」割合は15.8%で他校に比べると少ない方だが、「きょうだいの数」は「3人以上」が72.2%と一

表2 - 10 していること・したいこと

(%)

	もうしている	していないが、 とても+かなりしたい
ルーズソックスをはく (女子のみ)	28.9	47.2
まゆ毛を細くする	13.4	20.8
髪の毛を脱色したり、染め たりする	7.6	44.8
ダイエットをする	6.4	33.3
ピアスをする	5.6	37.7
ズリパン・スタイルで歩く (男子のみ)	9.9	11.0
髪の毛にパーマをかける	1.7	14.1

表2 - 11 家族構成

以外は(%)

祖父母と同居している		15.8
きょうだいの数 (自分も含めて)	1 人	4.6
	2 人	23.2
	3人以上	72.2
家族の数(平均)		5.17(人)

番多くなっている。

そして、お父さんやお母さんが仕事をしているところを実際に見たことが「何度もある」生徒が76.2%と、これも他校の生徒よりもかなり多い。

ところが、表2-12で両親との関係についてみると、「すごく+わりとうまくいって

いる」割合が、「お父さんとの関係」(39.2%)、「お母さんとの関係」(52.2%)ともに他校に比べて一番少なく、逆に「あまり+ぜんぜんうまくいっていない」生徒が一番多い。

そして、表2-13をみると、他校の生徒に比べて、親が「勉強しろとうるさい」「世間体を気にしている」と感じている生徒の割

表2-12 両親との関係

(%)

	すごくうまく いっている	わりとうまく いっている	まあうまく いっている	あまりうまく いっていない	ぜんぜんうまく いっていない	その他
お父さんとの関係	16.2	23.0	33.1	12.8	5.4	9.5
	39.2			18.2		
お母さんとの関係	23.1	29.1	33.8	7.0	2.7	4.3
	52.2			9.7		

表2-13 両親について

(%)

	とても そう	わりと そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない
勉強に関するお金は出してくれる	35.6	42.3	15.8	6.3
	77.9			
勉強しろとうるさい	22.8	31.0	32.7	13.5
	53.8			
幸せそうだ	20.8	44.9	26.4	7.9
	65.7			
しつげに厳しい	20.8	28.4	43.5	7.3
	49.2			
親は自分に期待していると思う	19.9	28.9	33.9	17.3
	48.8			
世間体を気にしている	15.0	28.2	45.5	11.3
	43.2			
親は自分の意見を尊重してくれる	13.2	34.0	36.6	16.2
	47.2			

合が高い反面、「自分の意見を尊重してくれる」「自分に期待している」「幸せそうだ」とはあまり思っていないようである。

(6) 住んでいる「まち」について

まず、自分の「まち」について、「自然がたくさんある」と「とても+わりとそう」思う生徒が95.4%もいて、他校よりも断然多い。しかし、「楽しい場所がたくさんある」「新しいものがすぐに入ってくる」とはあまり思っていない。

近所づきあいでは、「近所の人に会ったらあいさつをする」と思う生徒は他校よりも少

ないものの、「悪いことをしたら、きっと近所の人から叱られるだろう」と思う割合は一番高い。

このような「まち」を好きかどうかをまとめたのが表2 - 14である。「とても+わりと好き」と答えている生徒は33.8%で他校よりも一番少なく、「あまり+ぜんぜん好きでない」と思っている生徒は25.7%で比較的多い方である。

そして、表2 - 15をみると、おとなになってもこの「まち」には「あまり+ぜったい住みたくない」と59.9%もの生徒が思っていて、この数値も他校に比べると多くなっている。

表2 - 14 住んでいる「まち」が好きか

(%)

とても好き	わりと好き	まあ好き	あまり好きでない	ぜんぜん好きでない
14.1	19.7	40.5	17.8	7.9
33.8			25.7	

表2 - 15 おとなになってもこの「まち」に住みたいか

(%)

ぜったい住みたい	できれば住みたい	まあ住みたい	あまり住みたくない	ぜったい住みたくない
4.9	10.9	24.3	40.8	19.1
15.8			59.9	

2 《いずも中》 - のどかな中学生生活 DDD

(1) 地域の特徴

鳥根半島のほぼ中央に位置し、日本海に面している、人口約9千人の町である。縄文時代からの出雲文化を形成している歴史的な土地であり、古墳や文化財が多く残っている。川や湖沼が多く、昔から農耕が営まれてきた。また海岸にも近く、漁業に従事する人も多い、半農半漁の町である。しかし近年、農業・漁業は後継者が少なくなる傾向にあり、高齢者が従事し、若い世代は松江市や近郊の町に働きに出かけている。地域の産業は水産加工業や、畜産などである。

夏は、海水浴やキャンプで賑わう所でもある。近くに、国産第一号の原子力発電所があり、エネルギーの町をアピールし、活気があって行動力のある町づくりを目指している。高齢者や障害者を含む町民の健康と福祉の事業に力を入れている。

(2) 子どもたちを取り巻く生活環境

この地域には、ショッピングセンター、ゲームセンター、コンビニ、カラオケ、プリクラ、ファーストフード店などはない。また学習塾も、英語の補習塾などがある程度である。しかし道路は整備されており、家庭で保有している乗用車数が人口の約半数あり、家族の車やバスを使えば松江市内の大型スーパーやデパートで買い物をしたり、ゲーム、カラオケなども楽しむことができる。

(3) 《いずも中》

1) 生徒数

1年	3学級 約100名	複式学級	} 計数名
2年	4学級 約100名	複式学級	
3年	3学級 約90名	複式学級	
計 10学級 約330名			

複式学級は、情緒・知的発達に指導上の配慮を要する生徒が在籍

2) 学校の特徴

職業観の育成を大切にし、地域との協力による勤労体験学習を推し進めている。1年生は地域に出向いて職業調べをし、2年生は地域の産業や病院、保育園などで勤労体験をしている。

部活動が盛んで6時30分まで活動している生徒が多い。校則はあるが、厳しく指導しているようなことはない。

3) 通学方法

学区が広く、遠い生徒は自転車やバスを利用して登校している。

4) 生活時程

	月・水	火・木・金	土
朝学活	8:20 ~ 8:45	8:20 ~	8:20 ~
1校時	8:50 ~ 9:40		
}	}		
帰り学活	14:55 ~ 15:10	~ 16:10	~ 12:10

5) 進路状況

進路先	男子	女子	計
公立高校	47	45	92
私立高校	14	11	25
国立高校	2	0	2
県立養護学校	0	0	0
専修学校等	0	0	0
就職・その他	2	1	3
定時制・通信	2	0	2
合計	67	57	124

(平成9年3月卒)

(4) アンケートの分析

1) ふだんの生活

この地域は大家族が多く、勤め人もいれば、半農半漁に従事している人もいるという家庭が多い。したがって家族の中には、早朝から働いている人もいれば、ふつうの勤め人の時間帯で生活をしている人もいる。このよ

うな家庭環境と、素晴らしい自然環境の中で生活している中学生の生活は、都市型の子どもの生活とどこか異なっているだろうと予想していた。

しかし、表2 - 16に示すように、家族の生活とは関係なく、一般的な中学生の起きる時間帯と同じようであった。この地域では都市のように道路事情が悪くないので、始業に間に合うように逆算し、ギリギリまで寝ている生徒が多いのではないと思われる。

登校前の朝食は、「毎日必ず食べる」が80.9%、「週に1、2回食べないことがある」が5.3%で、朝食の習慣がついている生徒が多い。大家族で育った子どもたちのよい面かもしれない。

寝る時間も、起きる時間と同様に他の地域の生徒とあまり変わりなく、11時すぎに寝る生徒が84.5%でとても多い。この地域では通塾の影響は少ないものと思われる(表2 - 17)

表2 - 16 起床時刻

(%)				
6時頃	6時半頃	7時頃	7時半頃	8時頃
3.2	20.2	51.1	23.4	2.1

表2 - 17 就寝時刻

(%)								
10時頃	10時半頃	11時頃	11時半頃	12時頃	12時半頃	1時頃	1時半頃	2時すぎ
5.3	10.2	19.8	19.8	15.0	15.5	6.4	4.8	3.2

放課後の生活は、塾に行っていない生徒が72%もあり、今でもこのような地域があるのかと驚いたが、島根県では中学に限らず、高校でも塾に依存しない傾向があるようである。この地域には英語塾などがある程度だが、塾がないから家庭での学習が定着しているかといったら、必ずしもそうではないようだ。家に帰ってからの勉強時間は、「ほとんどしない」「30分未満」と答えた生徒が37.8%もいる(表2-18)。宿題がなければ、きっと家では何もしないだろうと想像できる。《いずも中》は部活動が盛んで多くの生徒が6時半まで活動しているために、家では疲れきって勉強どころではないということもあるかもしれない。

この地域には、生徒が放課後に行けるような本屋、ファーストフード店、コンビニ、カラ

オケ、レンタルビデオ店などはない。せいぜい週1回か、月に1回くらい自転車やバス、自家用車などで松江に行って、楽しむことができる程度である。

したがって、家に帰ってからの生活の中では、テレビが大きい位置を占めている。38.3%の生徒が自分の部屋にテレビを持っており、視聴時間も「3時間以上」が38.0%もいる(表2-19)。

都市の子どもたちのように、部活動のあとでさらに塾、というような忙しい生活を送る生徒は少ないが、寝る時間が遅く、朝スッキリと起きられないことは共通している。

この地域のように、おとなが朝早くから働いていても、それが子どもたちの生活に及んでくることは今ではほとんどないのか、家の仕事の手伝いをする生徒は少ない。

表2-18 家に帰ってからの勉強時間

(%)

ほとんどしない	30分未満	30分～1時間未満	1時間～2時間未満	2時間～3時間未満	3時間～4時間未満	4時間以上
20.2	17.6	26.1	19.7	12.2	3.7	0.5

表2-19 テレビ視聴時間

(%)

ほとんど見ない	30分未満	30分～1時間未満	1時間～2時間未満	2時間～3時間未満	3時間以上
0.0	0.0	4.8	21.4	35.8	38.0

表2-20 学校が楽しいか

(%)

とても楽しい	かなり楽しい	やや楽しい	ふつうくらい	やや楽しくない	あまり楽しくない	ぜんぜん楽しくない
10.6	11.7	26.1	28.7	6.4	10.6	5.9
48.4				22.9		

2) 学校生活

この地域では、おとなの生活も学歴にあまりこだわることがなく営まれてきたため、そのような環境で育った子どもたちの勉強への執着心も少なく、学力面でみんなについていけず、学校が楽しくないと思っている生徒が多い(表2 - 20)。

また、表2 - 21の示すように、《いずも中》では授業に積極的な姿勢が少なく、「早く終わってほしい」と思っている生徒が65.2%と多い。

授業の理解度は、国語は高かったが、英語は30%、数学は40%の生徒が「3割くらいしか授業がわからない」と答えていた。

「幸せな家庭をつくれる」については、この地域の子どもたちも他の地域の子どもたちとあまり変わらなかったが、将来への見通し

についてのその他の項目ではよくなかった(表2 - 22)。高校までは松江市内にあるが、大学や仕事は島根県では選択の幅が限られてしまう。したがって社会的な活躍についてもあまりイメージできないのであろうか。

将来への見通しがもてない中学生が多いことが、授業への積極的な姿勢をもてないでいることにつながるのではないか。メディアは地方の子どもたちの夢を広げてはいない。

3) 友だち関係

この地域の生徒たちは、あまり外部との交流のない集落で育ち、そこには親戚関係もあるためか、友だちとのきずなは自然にうまく育っていると思われる。友だち関係が見えやすく、いじめも少ないと思われる(表2 - 23)。

表2 - 21 数学や英語の授業のときの気持ち

(%)				
やる気がする	興味もてる	ぼんやりしている	イヤな気持ち	早く終わってほしい
20.3	23.0	40.1	30.2	65.2

「とても」+「かなり」その割合

表2 - 22 将来の見通し

(%)				
望みの高校に入れる	望みの大学に入れる	望みの仕事につける	幸せな家庭をつくれる	社会的な活躍ができる
40.9	14.7	32.3	46.0	27.4

「きつと」+「たぶん」できる割合

表2 - 23 クラスにいじめがあると思うか

(%)			
かなりある	少しある	ほとんどない	まったくない
3.7	28.9	35.3	32.1

4) 生活感覚について

学校へ持っていくものはおしゃれ関係ではリップクリームやブラシというように、他の地域の中学生とあまり変わらない。しかし、雑誌やマンガ、電子ゲームを持っていく生徒はとても多い。これは山陰地方は冬は雪が降ったり、気温の低いことが多いので室内で過ごすことが多くなるからではないかと思われる。

ポケベル、携帯電話・PHSについては持っている生徒は少ない(図2-1)。

この地域は人口密度が低く、広い家が多いので、テレビつきの自分の部屋を持っている生徒が多い。テレビゲーム機もすでに持って

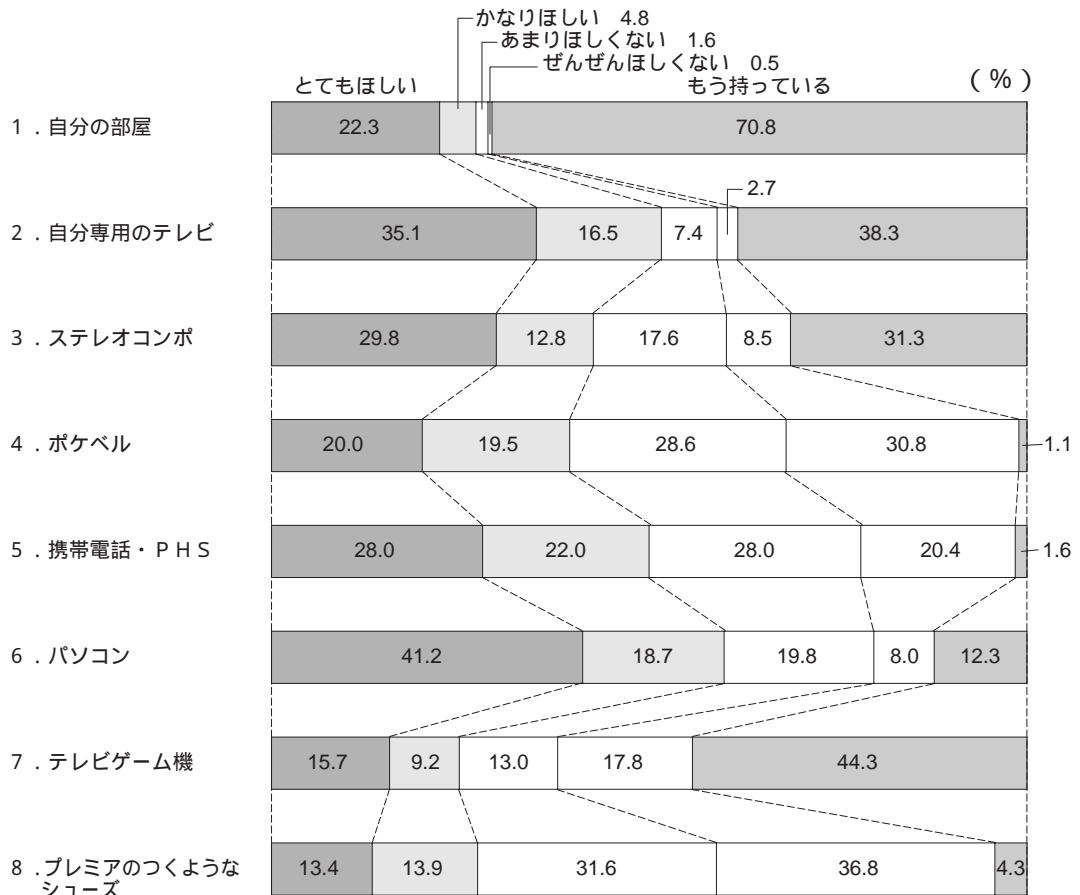
いる生徒が44.3%と多い。寒い地方で、塾も少なく、室内で過ごすことが多いので、テレビやテレビゲーム機の割合が多いのではないと思われる。

ポケベル、携帯電話・PHSを持っている生徒は他の地域と比較すると少なく、ほとんどいない。あまりニーズがあるとは思えないが、流行にのって、持ちたいと思っている生徒は40%~50%と多い。

雑誌・情報誌、トレンドィー・ドラマの視聴、ヒット曲、プリクラ、ブランド品などについては、どこの中学生でも共通に興味・関心があることがわかった。

海外旅行については、まだないと答えた生

図2-1 持っているもの・ほしいもの



徒が84.9%おり、交通不便な地方の町では、まだまだ簡単に体験できることではないということがわかる。

5) 成長過程の体験

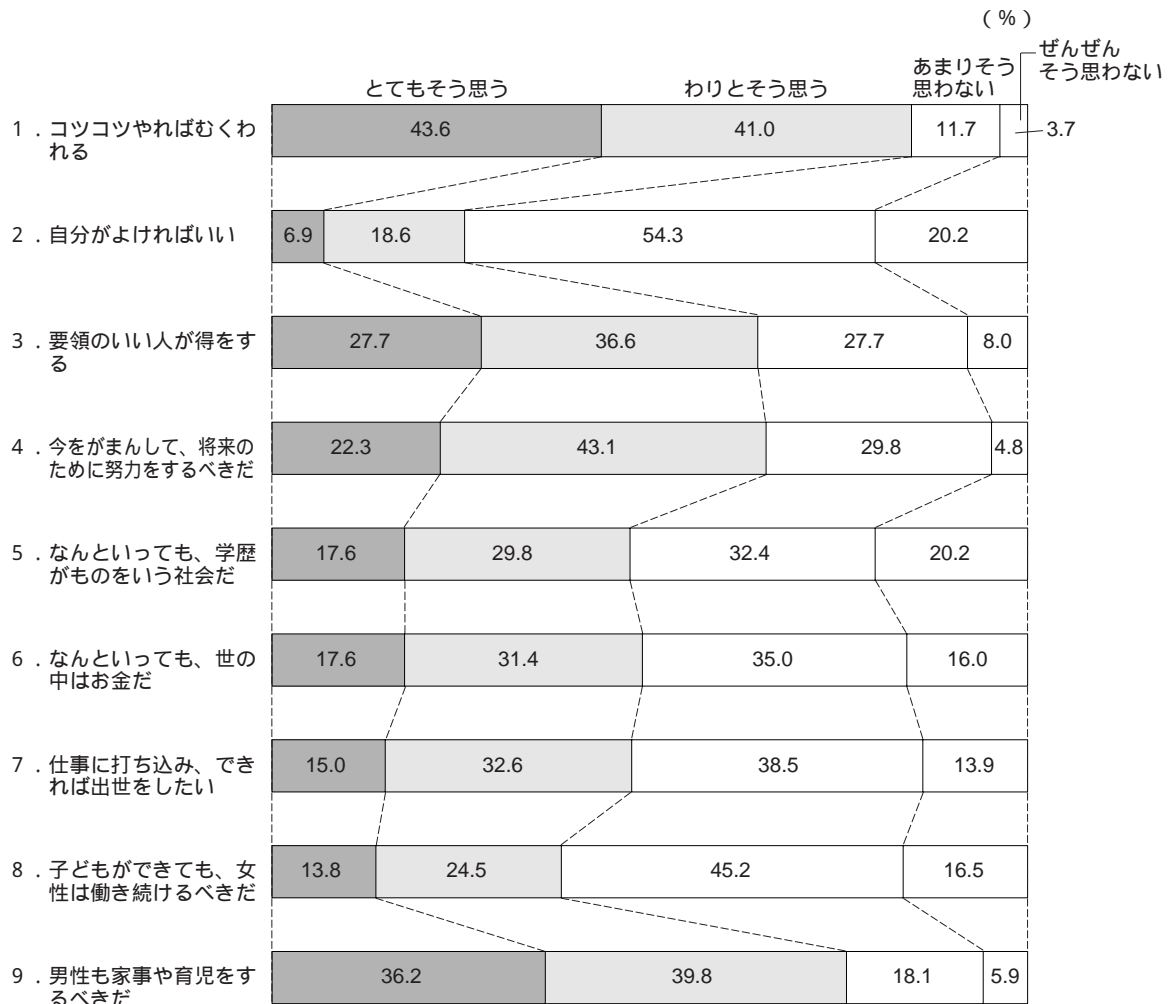
自然の多い地域に住みながら、自然体験は想像していたよりはるかに少ない。「川や海で魚をとったり、木になっている果物をとる」「はだしてたんぼの中を歩く」は約50%の生徒が経験しているが、その他の生徒は体験していない。また家族や親戚が身近にいる所で育っていても、「お年寄りや身体の不自由な人の世話をした」ことがある生徒は30%程度である。

「お米をといでご飯を炊く」「アイロンをかける」「家の手伝いをする」については50%程度の体験にすぎず、猫の手も借りたいほど忙しい季節のある、農・漁業の町の子どもの体験とは思えない。

6) 生き方について

図2-2によれば、自分の努力次第で自分の将来を変えることができていると思う傾向が強い。他人を大切に思う気持ちは強く、「自分がよければいい」という生徒は6.9%しかいない。生き方をとても素直に、また良心的に考えているようだ。

図2-2 生き方について



7) 自分たちの町について

この地域の中学生は、87.7%が幼い頃からこの町に住んでいる。

近所とのかかわりは、今でも結構あるようだ(表2-24)。しかし最近は、親しい中でもいろいろ干渉しない、よその子を怒ったりできない、というような傾向がある。子どもは地域社会で育つという感覚は薄れている。

将来の進学、就職などの展望が低いこの地

域では、「おとなになってもこの『まち』に住みたいか」という問いに表2-25のような結果がでることは当然考えられる。6割近い生徒が「住みたくない」と答えている。しかし、この「まち」に住みたいと考えている生徒が41.2%いるということは、自分の育った「まち」を愛しているといえるのかもしれない。

表2-24 近所の人との関係

(%)

近所の人に出会ったら、あいさつをする	近所の人、あなたのことをよく知っている	あなたは近所の人のことをよく知っている	困ったときには、近所の人から助けられる	悪いことをしたら叱ってくれる
80.7	79.7	55.1	39.1	44.3

「とても」+「わりと」その割合

表2-25 おとなになってもこの「まち」に住みたいか

(%)

ぜったい住みたい	できれば住みたい	まあ住みたい	あまり住みたくない	ぜったい住みたくない
1.1	10.7	29.4	40.6	18.2
41.2			58.8	

表2-26 家族構成

(%)

祖父母と同居	きょうだい数(自分も含めて)			家族の人数
	1人	2人	3人以上	
64.5	2.1	44.4	53.5	5.72人

8) 家族について

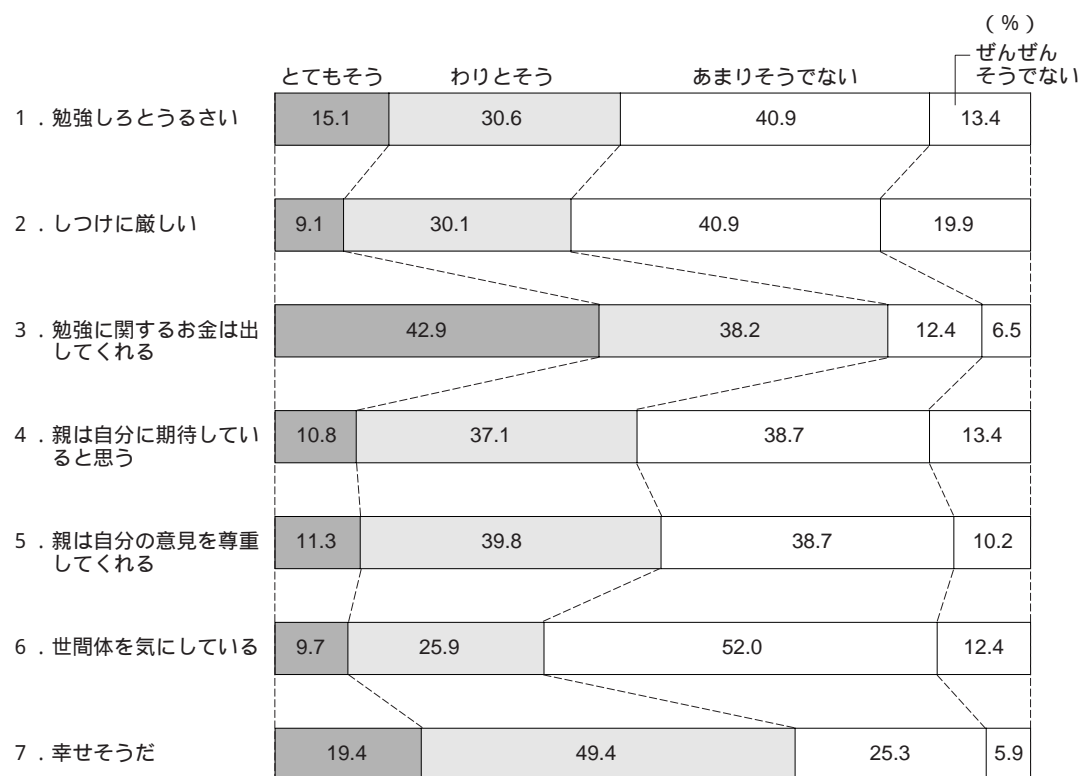
祖父母との同居が64.5%もあり、家族も5.72人と多い(表2 - 26)

図2 - 3をみると、親の子どもへの期待は大きいですが、勉強、しつけなどにおいては子どもの気持ちが尊重されているように思え

る。

両親との関係は、「あまり・ぜんぜんうまくいっていない」と答えた生徒が、父親に対して13.5%、母親に対して7.0%であり、思春期ということを考えれば、大部分の家庭ではうまくいっていると思ってよいようだ。

図2 - 3 両親について



9) 自分について

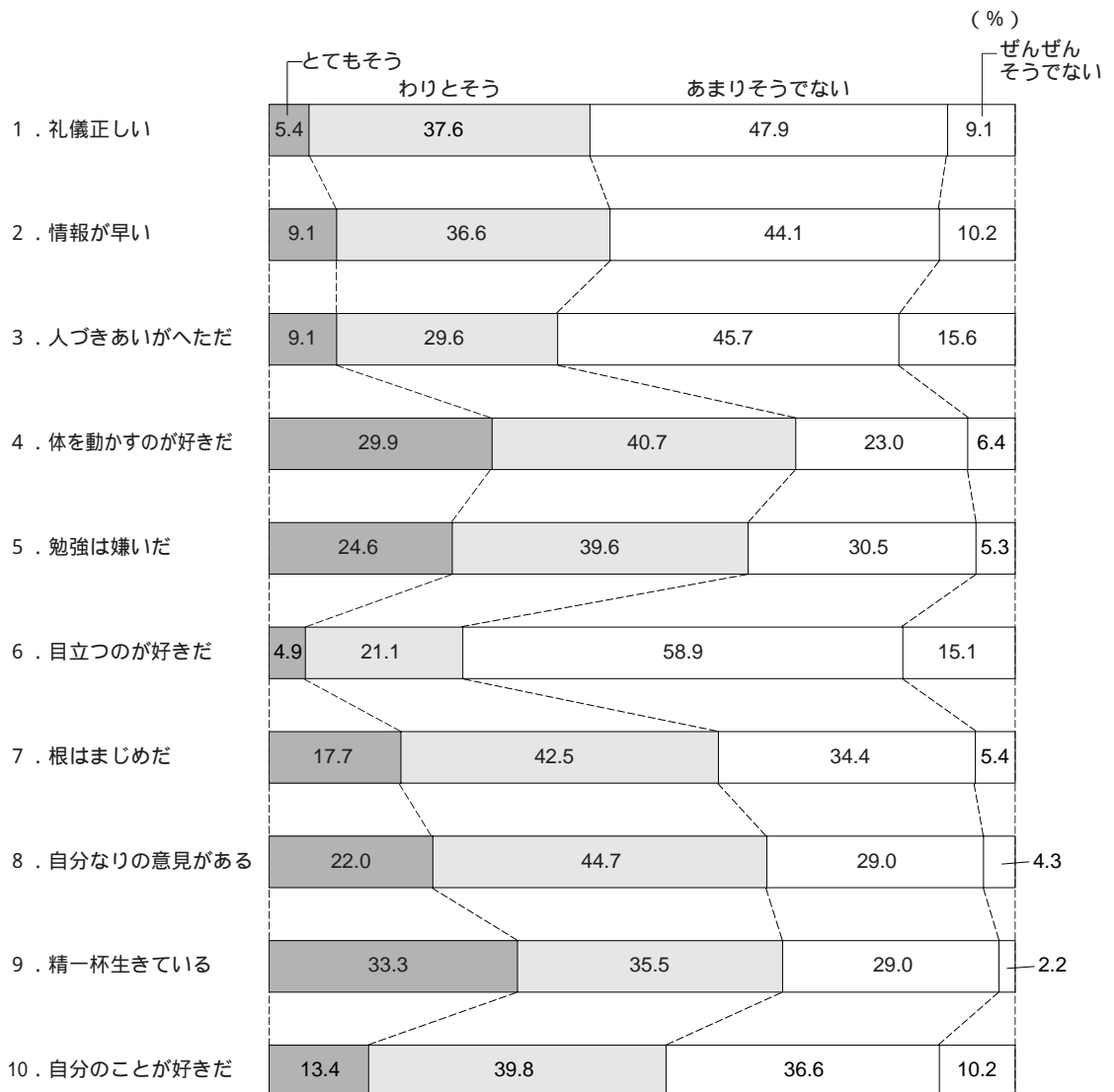
「礼儀正しい」「情報が早い」「人づきあいがへただ」「目立つことが好き」については、消極的な答えが多かったが、生き方については真面目に考えている生徒が多いようだ(図2-4)

勉強については、あまり好きではない生徒が多く、今後どのように指導に取り組んでい

くかが課題であるように思われる。

現在の健康状態について、「食欲がない」と答えた生徒は14.6%と少なかったが、その他の項目については不調を訴えている生徒が多い(図2-5)。「疲れやすい」「すぐイライラする」「思いきりあばれまわりたい」と答えた生徒は50%以上いる。この現象はこの地域だけではなく共通している。

図2-4 自分のタイプ



10) 毎日が楽しいか

「とても・わりと楽しい」と答えた生徒は69.9%であるが、楽しくないと答えている生徒が30.1%もいる(表2 - 27)

この地域は自然の中で、漁業や農業を営んでいる家庭が多く、のどかな生活がおくられ

ているように思える。この地域の中学生は、都市の子どもたちのように時間に追われるような生活はしていない。部活動でいい汗を流し、テレビやテレビゲームで楽しく暮らしている。しかし、夜遅くまで起きている生活、目的意識のはっきりもてない学校生活などによるストレスは、やはり大きく存在している。

図2 - 5 現在の健康状態

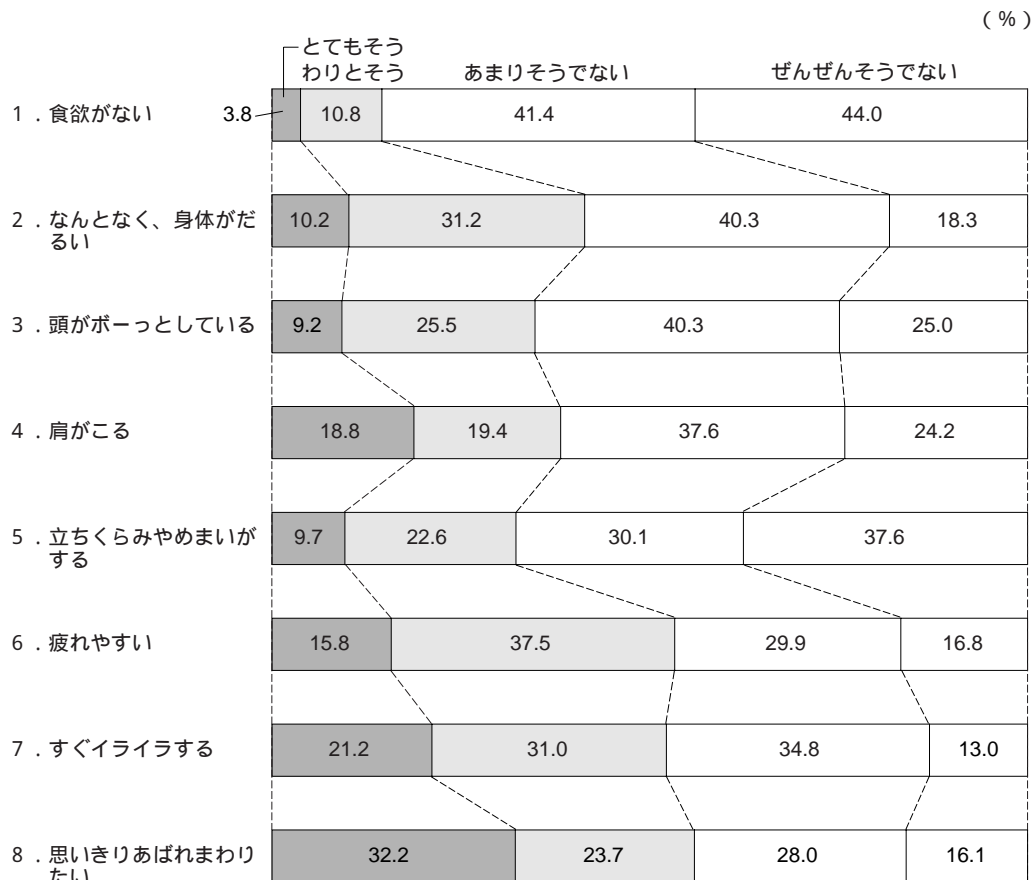


表2 - 27 毎日が楽しいか

(%)			
とても楽しい	わりと楽しい	あまり楽しくない	ぜんぜん楽しくない
15.1	54.8	23.1	7.0

3 《するが中》 - 生活のきちんとした中学生 DDD

(1) 地域・学校の特徴

《するが中》のあるS町は、人口約2万人、美しい山の四季と雄大な海や川の風物が楽しめる、自然が美しい町である。

昔からの「農業」に加えて、大型工業進出やショッピングプラザなどの誕生により町の環境や町民の生活に少しずつ変化がみられるようになってきた。また、外国人も生活するようになってきた。

保護者の職業は、兼業農家が多く、お茶、メロン、イチゴ、トマトに加え各種の野菜類などを栽培している。

《するが中》は、生徒数約600人（教職員約30人）の中規模校である。ここ数年、《するが中》では全校一斉で学習指導や特別活動にコンピュータなどの教育機器を生かした「創造的な学校づくり」と、心の教育や性に関する指導などの「健康教育」に力を入れて取り組んできた。

(2) 生活について

1) 子どもたちの朝の様子

農家が多いことや学区域が広い（生徒の半数が自転車通学をしている）ため比較的起床時間が早い。起床時の目覚めの様子を見ると「すっきり・ふつう」が約6割で、まあまあ健康状態で目覚めて朝のスタートをきっている。また、約8割もの生徒が朝食を「毎日必ず食べる」と答えている。このことは、農業・祖父母の同居などに合わせて、学校における健康教育の成果と考えられる。

2) 子どもたちの放課後の様子

約6割の生徒が、週1回以上「学習塾」に通っている。そして、そのほとんどが、バスで20～30分離れた浜松駅付近の学習塾に通

っている。生徒たちは、情報や刺激の大半をそのときに得ていると考えられる。

《するが中》の生徒が「ふだん行くところ」を表2-28の「放課後の生活」よりみると、生徒を取り巻く地域環境がうかがえる。

今、若者の間で流行しているゲームセンター、プリクラ、カラオケなどはなく、また、ファーストフード店やレンタルビデオ店も身近にみられない。しかし、生徒たちの生活圏内にコンビニは多くみられ、外出場所・外出理由のトップにあげられている。

携帯電話・PHSの所持状況が2.2%であることから考えると「電話のおしゃべり」のほとんどが家族共通の電話で行われているようである。

友だちと電話でおしゃべりをするのが「めったにない」が、37.8%を占めている。

就寝時刻では、「12時以前」に就寝しているが約6割強いるものの「1時以降2時すぎ」まで起きている生徒もいる。朝が早いだけに健康の面を考えると気になる。

(3) 学校生活および友人関係

1) 学校生活

学校生活における充実度を「気持ち」「授業の理解度」「将来の見通し」などの面からたずねてみた。

「学校に通うのが楽しい」と答えた生徒が約5割、さらに「ふつう」を合わせると約8割にも上り、生徒たちの「気持ち」が学校に向いていることがわかる。部活動の面をみると、生徒の100%近くが部活動に参加している。そして、全校生徒の約9割もが運動部に所属している。運動部と文化部に所属している半数以上の生徒たちが「熱心に活動している」と答えており、放課後の部活動の時間をエンジョイしている様子がうかがえる。

次に、国語・数学・英語の3教科について生徒の理解度と集中度をみてみた。各教科担任が、授業研究に熱心であること、また、教育機器を活用した授業に力を入れていることからか、授業に対する理解度が高い。

表2 - 29は、数学と英語の授業に対する「気持ち」をみたものである。生徒たちは、授業中「ぼんやりしている」や「イヤな気持ち」が少ない。むしろ授業に集中して前向きな態度で臨んでいる。

しかし、「やる気がする」「興味がもてる」の点で、約6割の生徒に、意欲や興味関心が低い結果となっている。授業に集中して前向きに臨んでいるが、やる気や興味がもてないと感じている生徒たち。彼らの気持ちをいかに駆りたてていくかが今後の課題であると思われる。

さらに、「自分の将来の見通しについて」たずねてみた(表2 - 30)。「望みの高校に入れる」と「幸せな家庭をつくれる」だけが約45%

を占めただけで、残りの項目については、20～30%くらいで消極的な回答だった。

「幸せな家庭をつくれる」が多い回答を示したことは、「両親が幸せそう」と答えた生徒が約7割もいることから考えて、おそらく生徒たちに“暖かい家庭”のイメージが思い描けるからだと思われる。

学校に楽しく通い、授業の理解度も高い《するが中》の生徒たちであるにもかかわらず、「将来の見通し」に関する意欲や積極性を感じることができない消極的な姿勢がみられたことは、予想外の結果であった。

生徒たちが「学校によく持っていくもの」をあげてみると、リップクリーム、ブラシ、小説などが主である。思春期のおしゃれが気になる生徒たちにとって、このような最低限の所持品で不満はないのであろうか?この点は、他の地域の中学生との大きな違いでもあり、《するが中》の生徒指導の厳しい一面を感じる。

表2 - 28 放課後の生活 ふだん生徒が行くところ

(%)

	ほとんど毎日行く	2、3日に1回は行く	週に1回は行く	月に1回は行く	めったに行かない	まったく行かない
1 .本屋	0.7	4.1	31.3	50.1	12.4	1.4
2 .ファーストフード店	0.2	1.3	9.8	31.0	46.4	11.3
3 .コンビニ	2.9	15.6	38.0	27.4	13.9	2.2
4 .レンタルビデオ(CD)店	0.7	1.1	9.1	32.8	38.8	17.5
5 .雑貨屋(文具やキャラクター商品も含む)	0.7	2.4	13.2	40.4	37.3	6.0
6 .洋服屋	0.4	1.6	10.8	49.6	30.0	7.6
7 .プリクラ	0.2	0.2	2.3	11.6	41.5	44.2
8 .カラオケ	0.2	0.0	1.8	19.5	45.8	32.7
9 .ゲームセンター	0.9	0.7	4.0	10.3	36.9	47.2

表 2 - 29 英語や数学の授業のときの気持ち

(%)

	とてもそう	かなりそう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない
1. やる気がする	5.6	36.5	52.0	5.9
2. 興味がもてる	7.0	34.8	50.8	7.4
3. ぼんやりしている	4.0	21.1	60.5	14.4
4. イヤな気持ち	3.2	17.3	60.4	19.1
5. 早く終わってほしい	13.3	26.8	46.7	13.2

表 2 - 30 将来の見通し

(%)

	きっと できる	たぶん できる	半分 半分	たぶん 無理	ぜんぜん 無理	進学するつ もりはない
1. 望みの高校に入れる	16.2	28.3	41.1	11.7	1.8	0.9
2. 望みの大学に入れる	4.5	12.7	37.9	13.9	2.4	28.6
3. 望みの仕事につける	11.5	18.5	54.3	13.5	2.2	
4. 幸せな家庭をつくれる	16.4	28.4	46.2	6.3	2.7	
5. 社会的な活躍ができる	10.2	21.0	48.4	15.4	5.0	

2) 友だち関係

友だちがどのくらいいるかをみると「おしゃべりする友だちがたくさんいる」が59.8%と最も多く、次に「忘れ物を貸し借りできる友だち」が45.1%と続く。「遊んだり、買い物に行ったりする友だち」など、表面的なつきあいの友だちは多いようである。しかし、一歩近づいた「心が通い合い」、お互いの「心の支え」になるような友だちは少ない。なかでも「悪いことをしたら、注意してくれる友だち」や「深刻な悩みを相談できる友だち」が少ない。

このことは、思春期が「友だち探しの時期」ということもあり、人間関係の面で大変難しいからと思われる。

次に、友だちとの人間関係についてたずねてみたのが表2-31である。

予想に反して生徒たちは、のびのびと友人との会話を楽しんでいる様子がみられる。ただ、「友だちから誘われても、気のすずまないことは断る」において、「あまりそうではない」が39.8%と高く、気を遣いながら難しい思春期の人間関係を過ごしている様子

うかがえる。

しかし、「学校が楽しい」と答えた生徒が約8割もいたことから考えると、日常の学校生活における友だち関係はまあまあうまくいっているようである。

さらに、クラスの「いじめ」の実態を生徒たちに答えてもらったところ「いじめ」は、約6割が「ない」と答えている。しかし、「少しある」「かなりある」を合わせると36.6%にもなる。

(4) 生徒の気持ち(欲求・願望)と生活体験

1) 生徒の欲求・願望

すでに持っているもののトップは、「自分の部屋」で、77.2%と高い。次に、テレビゲーム機、ステレオコンポと続く。今、若者の間で流行しているパソコン、ポケベルや携帯電話・PHSを持っている生徒はわずかである。

生徒たちが「とてもほしい」と答えたトップは自分の部屋で、次に自分専用のテレビ、ステレオコンポと続く。

表2-31 学校生活 学校における人間関係

(%)

	とてもそう	かなりそう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない
1. 友だちの話についていけない	2.3	6.5	58.6	32.6
2. クラスでは目立たないようにしている	5.4	16.0	56.9	21.7
3. 仲がよくても、本音や悩みは話せない	5.5	20.8	47.9	25.8
4. 友だちに陰口を言われていると思う	9.0	20.3	60.1	10.6
5. 友だちとケンカをしても、すぐ仲直りができる	28.0	46.9	18.4	6.7
6. 友だちから誘われても、気のすずまないことは断る	17.1	35.7	39.8	7.4

身の回りのおしゃれに関することで「したいこと」をたずねてみた結果は表2-32の通りである。「髪の毛を脱色したり、染めたりする」願望が特に強く、44.6%にも上る。続いて、「ピアス」「ルーズソックス(女子のみ)」「まゆ毛を細くする」などと続く。これらの場合も約4割と高く、他の地域に比べてかなり欲求や願望が強い。

さらに、他の地域に比べて高い数字に「毎月読むファッション雑誌・情報誌がある」「トレンドィー・ドラマは欠かさず見る」「遊びに行くときは、流行の服を着る」などがあり、かなり流行に敏感であることがわかる。

生徒たちは学校の規則にしたがい、リップクリームやブラシなどを持参しているが、身の回りのおしゃれに敏感で、その欲求や願望も高く、かなり気持ちをコントロールしていると思われる。

2) 生徒の生活体験と考え

美しい山と、雄大な海や川が間近にある自然環境で育った生徒の生活体験をみると、意外にも自然とのふれあいが少ない。

きょうだい「3人以上いる」が、54.3%というものの、あまり「取っ組み合いのけんかをしたことがない」と答えた生徒が74.6%もいる。

「家の手伝いを進んでしたこと」「シャツにアイロンをかけたこと」「お米をといでご飯を炊いたこと」などの生活体験も乏しく、家族の一員としての役割分担もみられない。

それに比べて「しょっちゅうしている」割合が高いのは、「ビデオで留守番録画をしたこと」や「電子レンジで食べ物を温めて食べたこと」である。

人生に関することで生徒たちの考えを聞いてみた。特徴的なこととして、「コソコソやれば、きっとむくわれる」「仕事に打

表2-32 したいこと

(%)

	とても したい	かなり したい	あまり したくない	ぜんぜん したくない	もう している
1. 髪の毛にパーマをかける	4.3	5.4	28.4	61.7	0.2
2. 髪の毛を脱色したり、染めたりする	18.3	26.3	28.7	23.7	3.0
3. まゆ毛を細くする	12.5	24.0	29.5	24.9	9.1
4. ピアスをする	18.8	22.5	27.9	28.8	2.0
5. ダイエットをする	15.0	17.3	31.4	34.7	1.6
6. ルーズソックスをはく(女子のみ)	10.1	29.5	42.1	17.2	1.1
7. スリパン・スタイルで歩く(男子のみ)	2.8	8.7	42.1	41.5	4.9

ち込み、できれば出世をしたい」「男性も家事や育児をするべきだ」「要領のいい人が得をする」と思っている生徒がかなり多い(表2 - 33)。

(5) 住んでいる「まち」について

この「まち」に「生まれたときから住んでいる」生徒は、約62.1%である。

大型企業の進出や外国人の増加などで、年々町も少しずつ変化していると考えられる。近所の人にも約7割もの生徒が、あいさつをしているようだ。また、「近所の人も自分自身のことをよく知っている」と感じている。自分自身の住んでいる「まち」に対する認識は、「自然がたくさんある」「お祭りなどの伝統的な行事が盛ん」「親切な人がたくさんいる」などである。

しかし、「楽しい場所がたくさんある」「新しいものがすぐに入ってくる」などについて

は否定的な回答が多くみられた。

住んでいる「まち」に対する愛着度は81.2%と高いものの「おとなになってからも、この『まち』に住みたい」と思っている生徒は、45.1%と半数以下になっている。

きょうだい関係をみると「3人きょうだい以上」が、54.3%と一番多い。

両親との関係では、「すごくうまくいっている」では、お父さん(17.9%)よりお母さん(23.9%)との関係がいいようである。そして、両親について「どう思うか」とたずねた結果が、表2 - 34の通りである。

「勉強しろとうるさい」が、「勉強に関するお金は出してくれる」と捉えている。印象的なことは、73.6%の子どもたちの目に両親が幸せそうに映っていることである。思春期の揺れる時期に「幸せそうな両親の姿」と「暖かい家庭」があることは、〈心の安定〉の面からも大切なことである。

表2 - 33 生き方について

(%)

	とても そう思う	わりと そう思う	あまり そう思わない	ぜんぜん そう思わない
1. コツコツやれば、きっとむくわれる	36.7	44.0	15.4	3.9
2. 自分がよければいい	7.5	23.8	53.7	15.0
3. 要領のいい人が得をする	23.9	43.3	27.0	5.8
4. 今をがまんして、将来のために努力をするべきだ	23.3	36.9	34.2	5.6
5. なんといっても、学歴がものをいう社会だ	16.2	29.9	42.2	11.7
6. なんといっても、世の中はお金だ	26.8	33.3	30.6	9.3
7. 仕事に打ち込み、できれば出世をしたい	24.8	39.6	30.6	5.0
8. 子どもができて、女性は働き続けるべきだ	10.4	25.4	51.7	12.5
9. 男性も家事や育児をするべきだ	24.8	44.6	25.4	5.2

表2 - 34 両親について

(%)

	とてもそう	わりとそう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない
1 .勉強しろとうるさい	22.2	33.9	32.3	11.6
2 .しつけに厳しい	14.3	31.4	43.0	11.3
3 .勉強に関するお金は出してくれる	29.3	47.9	14.2	8.6
4 .親は自分に期待していると思う	15.6	34.5	39.3	10.6
5 .親は自分の意見を尊重してくれる	11.3	40.3	40.0	8.4
6 .世間体を気にしている	6.6	34.5	51.2	7.7
7 .幸せそうだ	18.1	55.5	22.3	4.1

(6) 子どもが捉える「自分自身」

表2 - 35より《するが中》の生徒の特徴を垣間みることができる。

「体を動かすことが好き」で、「精一杯生きている」、そして「自分なりの意見をもっている」姿である。

健康面では、「身体がだるい」「疲れやすい」

「イライラする」「思いきりあばれまわりたい」などの自覚症状を訴えていることから、ストレスのたまった生徒たちの様子を感じられる(表2 - 36)

《するが中》の生徒たちは、変わりつつあるS町で、暖かい家庭としっかりした学校、そして、さまざまな刺激を受けながら成長しているようである。

表 2 - 35 自分のタイプ

(%)

	とてもそう	わりとそう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない
1. 礼儀正しい	7.3	37.6	49.5	5.6
2. 情報が早い	4.8	34.1	53.2	7.9
3. 人づきあいがへただ	6.8	30.6	51.5	11.1
4. 体を動かすのが好きだ	36.5	36.1	23.3	4.1
5. 勉強は嫌いだ	28.5	42.3	25.3	3.9
6. 目立つのが好きだ	10.0	27.9	53.9	8.2
7. 根はまじめだ	11.5	38.3	42.5	7.7
8. 自分なりの意見がある	19.2	44.6	31.7	4.5
9. 精一杯生きている	27.6	44.5	24.8	3.1
10. 自分のことが好きだ	12.0	35.5	40.5	12.0

表 2 - 36 現在の健康状態

(%)

	とてもそう	わりとそう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない
1. 食欲がない	3.1	12.2	45.0	39.7
2. なんとなく、身体がだるい	9.1	32.4	35.6	22.9
3. 頭がボーっとしている	7.5	27.3	42.6	22.6
4. 肩がこる	14.7	24.6	32.6	28.1
5. 立ちくらみやめまいがする	8.4	25.1	37.3	29.2
6. 疲れやすい	12.5	37.1	31.9	18.5
7. すぐイライラする	11.4	34.7	35.1	18.8
8. 思いきりあばれまわりたい	26.5	21.8	35.4	16.3

4 .《下町中》 - 人間味あふれた地域の中学生 DDD

(1) 地域の特徴

《下町中》のあるところは、東京の東部に位置し、かつては墨東地区と呼ばれた地域で、近くを隅田川と荒川が流れている。古くは五街道の1つ、奥州・日光街道の宿場町 -- 千住宿 -- として栄えたところでもある。

地域の人々は、下町特有の明るさと祭り好きな気質で、近所づきあいが密な日常生活を送っており、自分たちの町を愛し、住民の移動が少なく、共同体としての意識が強い。現在も大きな集合住宅はあまりなく、一軒一軒が肩を並べている。そして、小さな路地を境に商業地と住宅地が混在している。

そうした中で、北千住駅だけが千葉県と埼玉県の通勤・通学客の乗り継ぎ駅として繁栄しているが、商店街は旧道と住宅街の細い道に並び、古い街並みを活かした商業活動が行われている。

(2) 学校の特徴

《下町中》は、戦後まもなく設立されたので、まもなく創立50周年を迎える。今や、祖父母・父母・子どもと三代にわたって学んだという、中学校としては伝統のある学校である。

かつては25学級（全校）以上を誇る大規模校であったが、都市化の進展と少子化の波により、現在はかつての3分の1程度の規模の学校となっている。しかし、学校と地域との関係は創立当初とほとんど変化がないようで、地域の行事には学校が貸し出され、学校の行事には、地域の人々が積極的に協力・支援しているようだ。地域との密着度は新興住宅地より大きいと考えられる。

運動会やマラソン大会は、荒川の河川敷で行われ、地域の行事となっている。人口が過

密した地域のため、学校の校庭が多様な形態として有効に使用できない面もある。

(3) 生徒の様子

《下町中》の生徒は、地域の人々が持っている生活習慣をそのまま学校に持ち込んでいる感じで、いつも明るくのびのびと、気軽さの中で学校生活を送っているようにみえる。

身体を動かすことが好きな生徒が多く、学校の行事には全校あげて燃える。もちろん、地域の行事 -- 特に祭りなどは大好きで、ほとんどの生徒が積極的に参加している。したがって生徒たちは、学校だけでなく、地域の人々から支えられた生活を送っている。同じ小学校から入学してくるため、人間関係は生まれてからほとんど変わっていない。お互いによく知っている遊び仲間である。

しかし、そうした一方、この地域でも少子化が進展し、人間関係の崩壊によるさまざまな生活上の問題も起きつつある。

(4) 調査結果より

1) ふだんの生活

起床については表2 - 37に示したように、「家の人に起こしてもらおう」が半数近くいる。学校が徒歩で数分のところにあるのか、生徒の一日のリズムが都市型なのか、下町特有の甘えがあるのだろうか。

朝食を食べてから登校するかは（表2 - 38）「食べたり、食べなかったりする」「ほとんど食べない」が22.8%いる。つまり100名中23名近くが、朝食抜きという結果となり、夜型生活の浸透がうかがえる。

テレビ視聴については（表2 - 39）3時間以上もテレビ視聴する生徒がおよそ6割いることも、都市型の生活の特徴の1つと考えられる。

次の塾通いの割合をみると（表2 - 40）、現在の中学生にしては低いが、それでも37.2%の生徒は「週に2、3回」通塾してい

る。塾に行かなくても勉強はできると考えているのか、親が通塾に消極的なのか、いずれにせよ、《下町中》の生徒たちが塾通いをす

表2 - 37 起き方

(%)	
1. 自分で	25.0
2. 目覚まし時計で起きる	22.2
3. 家の人に起こしてもらう	49.6
4. その他	3.2

表2 - 38 朝食を食べてから登校するか

(%)	
1. 毎日必ず食べる	69.8
2. 1週間に1、2度食べないことがある	7.4
3. 食べたり、食べなかったりする	9.3
4. ほとんど食べない	13.5

表2 - 39 テレビの視聴時間

(%)					
ほとんど見ない	30分未満	30分～ 1時間未満	1時間～ 2時間未満	2時間～ 3時間未満	3時間以上
2.3	0.9	4.2	13.9	23.3	55.4

表2 - 40 通塾の割合

(%)							
行って いない	週に1回 行っている	週に2回 行っている	週に3回 行っている	週に4回 行っている	週に5回 行っている	週に6回 行っている	週に7回 行っている
52.1	2.3	15.8	21.4	3.7	3.3	0.5	0.9

る割合は少ない。

夜の外出（表2 - 41）の結果をみると、「2、3日に1回くらい」が23.4%と多く、「ほとんど毎日」の生徒も8.4%にもなる。近くのコンビニ、ファーストフード店などに行っているのだろうと推測される。就寝時刻については（表2 - 42）、60%近くの生徒が12時以降に就寝している現実がある。都市の生徒の生活は、深夜型に移行しているようだ。

2) 学校生活や友だち

学校が楽しいか（表2 - 43）と、部活動への参加（表2 - 44）の結果をみてみよう。50%近くの生徒が学校は楽しいと答えているが、16.7%の生徒が「あまり+ぜんぜん」楽しくないと答えている。

こうした楽しくない生徒の中に、不登校ぎみの生徒や病弱傾向の生徒が内在化していると考えられる。

表2 - 41 夜の外出

(%)

ほとんど毎日	2、3日に1回くらい	週に1回くらい	めったにない	まったくない
8.4	23.4	18.2	35.0	15.0

表2 - 42 就寝時刻

(%)

10時頃	10時半頃	11時頃	11時半頃	12時頃	12時半頃	1時頃	1時半頃	2時すぎ
4.2	6.0	16.7	16.7	20.7	15.7	10.2	5.6	4.2

表2 - 43 学校が楽しいか

(%)

とても楽しい	かなり楽しい	やや楽しい	ふつうくらい	やや楽しくない	あまり楽しくない	ぜんぜん楽しくない
20.9	6.5	21.9	29.8	4.2	8.8	7.9

部活動については、部活動に入部し、運動部・文化部ともに熱心に活動していると答えたのは半数の51.2%で、この数値は現実的に思える。部活動も通塾もしていない生徒たちが、放課後家庭や外でどんなことをしているのか、気になるところでもある。

友だちについては(表2 - 45) 遊んだり、物の貸し借りをしたり、おしゃべりをしたりする友だちがたくさんいるのは中学生の特色

と考えられるが、「落ち込んでいるときに話を聞いてくれる友だち」「もし悪いことをしたら、注意してくれる友だち」「深刻な悩みを相談できる友だち」「生涯、つきあえそうな友だち」の結果をみると、真の友だちづきあいとなると問題が残るようだ。表面的な仲間づきあいで学校生活が送られているようにみえる。「悩みを相談できる友だち」が「いない」という生徒が27.1%もいることは、か

表2 - 44 部活動への参加

(%)

1. 運動部で熱心に活動している	41.9
2. 運動部であまり熱心ではない	19.1
3. 文化部で熱心に活動している	9.3
4. 文化部であまり熱心ではない	14.4
5. 以前は入っていたが、現在は入っていない	13.0
6. 部活動はしたことがない	2.3

表2 - 45 友だち

(%)

	たくさんいる	5、6人いる	2、3人いる	1人いる	いない
1. 一緒におしゃべりをする友だち	62.1	24.5	10.6	1.4	1.4
2. 忘れ物を貸し借りできる友だち	41.6	27.6	23.8	1.9	5.1
3. 休日に遊んだり、買い物に行ったりする友だち	29.4	37.0	23.4	3.7	6.5
4. うれしいときに一緒に喜んでくれる友だち	34.3	24.9	26.3	4.2	10.3
5. 落ち込んでいるときに話を聞いてくれる友だち	18.1	24.8	33.3	4.8	19.0
6. もし悪いことをしたら、注意してくれる友だち	20.8	13.4	35.7	10.2	19.9
7. 深刻な悩みを相談できる友だち	12.1	11.7	38.4	10.7	27.1
8. 生涯、つきあえそうな友だち	25.4	20.7	32.3	7.5	14.1

○ は最大値

なり深刻な状況である。

いじめがクラスにあると思うか(表2 - 46)では「かなりある」と「少しある」を合わせると47.1%もあると答えている。約半数の生徒がいじめがあると、実感としてとらえているようだ。どの学校でも「いじめ」が存在し、友だち同士の間関係の希薄さが推測される。

3) その他

《下町中》の生徒は、概して自然体験不足であることは、表2 - 47の「川や海で魚をとったり、木になっている果物をとる」「はだしてたんぼの中を歩く」「夜空の星座をながめる」の結果から読み取れる。一方、「ビデオで留守番録画をする」「電子レンジで食べ物を温めて食べる」の結果からは、屋外で

表2 - 46 クラスにいじめがあると思うか

(%)

かなりある	少しある	ほとんどない	まったくない
12.3	34.8	30.7	22.2

表2 - 47 成長過程の体験

(%)

	しょっちゅうしている	何回かしている	あまりしたことはない	ぜんぜんしたことはない
1. 川や海で魚をとったり、木になっている果物をとったこと	6.0	40.5	31.2	22.3
2. はだしてたんぼの中を歩いたこと	3.3	10.7	18.1	67.9
3. 夜空の星座をながめたこと	21.0	45.8	22.0	11.2
4. 赤ちゃんを抱っこしたこと	13.0	45.1	22.8	19.1
5. 取っ組み合いのけんかをしたこと	8.8	27.9	26.0	37.3
6. お年寄りや身体の不自由な人の世話をしたこと	7.9	27.4	36.8	27.9
7. お米をといでご飯を炊いたこと	26.5	48.4	14.4	10.7
8. 自分のシャツにアイロンをかけたこと	16.3	32.6	20.9	30.2
9. 家の手伝いを進んでしたこと	23.7	34.4	27.9	14.0
10. ビデオで留守番録画をしたこと	46.0	23.3	11.2	19.5
11. 電子レンジで食べ物を温めて食べたこと	54.9	29.8	5.1	10.2
12. ファックスで手紙を送ったこと	7.0	14.0	12.6	66.4

○は最大値

の遊びより、屋内の生活に慣れ、テレビなどを中心とした遊びを行っていることが想像される。食事も電化製品の発達で、レトルト食品の普及がうかがえるが、ファックスは、まだまだ普及していないようである。

4)「まち」について

次に「まち」についての項目をみると、85%近くの生徒が、生まれたとき(幼い頃)から《下町中》の校区に住んでいることがわかる。ほとんどの生徒が移動もなく、同じ幼

稚園、同じ小学校、同じ中学校に通学している。

表2 - 48をみると、生徒たちは地域(限られた地域での生活)を実感としてとらえているようである。身近な人々とのふれあいが共同体としての限定区域内で、生まれてから中学生になるまで意識され、その中で生活していることがうかがえる。

生徒たちは《下町中》の校区を自然があまりなくて、伝統的な行事や祭りは盛んであると考えている。そして親切な人々が多いとも

表2 - 48 地域の人との関係

(%)

	とてもそう	わりとそう	あまりそうでない	ぜんぜんそうでない
1. 近所の人に会ったら、あいさつをする	51.6	29.8	14.9	3.7
2. 近所の人、あなたのことをよく知っている	31.6	39.6	22.3	6.5
3. あなたは近所の人ををよく知っている	23.7	30.7	34.9	10.7
4. 困ったときには、近所の人か助けてくれると思う	14.4	31.6	35.4	18.6
5. 悪いことをしたら、きっと、近所の人から叱られるだろう	17.7	33.5	29.3	19.5

○は最大値

表2 - 49 「まち」の様子

(%)

	とてもそう	わりとそう	あまりそうでない	ぜんぜんそうでない
1. 自然がたくさんある	6.5	18.2	45.4	29.9
2. お祭りなど伝統的な行事が盛んだ	22.3	37.7	29.8	10.2
3. 親切な人がたくさんいる	17.8	49.5	24.3	8.4
4. みんな忙しそうにしている	10.2	20.5	59.5	9.8
5. 楽しい場所がたくさんある	13.5	24.7	43.7	18.1
6. 新しいものがすぐに入ってくる	6.5	25.1	46.1	22.3

○は最大値

感じている（表2 - 49）。しかし、商工業の発達は下町特有の町工場が想像でき、活気に満ちたものは見えてこない。新しいものがすぐに流行として入ってこないことも、生徒は実感として受け止めている。古いものが混在している様子がわかる。

5) 家族について

親の仕事をしているところを見たことがあるかないかについては以下の通りである。

1. 何度もある	52.1%
2. 1度だけある	22.1%
3. ない	25.8%

仕事を見ている生徒が半数を超えている。自営業や町工場が《下町中》の付近に存在することがうかがえよう。そして、ふつうのサラリーマン家庭というより、代々伝わる家内工業的「まち」ということがわかる。

次に家族構成をみてみると、4人(39.0%)、5人(26.8%)、6人(16.0%)と、核家族というより、祖父母のどちらかが同居し、家庭の中にいることが推測できる。このことから祖父母の時代から《下町中》の区域で、生活を続けてきたことが読みとれる。

(5) おわりに

以上、《下町中》のふだんの生活、学校生活や友だち、生徒自身のこと、住んでいる「まち」、家族など、調査結果を概観してきたが、地域によって差の大きい項目とほとんど差のない項目があるように思われる。

都市化の進んだ地域の中学校、古い街並みを残している地域の中学校、人々の生活の差異からくる伝統や文化が、成長・発達の著しい時期にある中学生に影響を与えていることが推測された。しかし一方で、マスメディアの発達や情報化の波が、日本全国に拡大している実態が浮き彫りになっている。社会の変化の中で、物の移動や変化は著しいが、人と人との交流、つながりは大きく変化することはないのではないかと推測できる。狭い地域から外に出ていこうとする活力がうすれている地域（伝統を重んじている地域）の学校の様子がみえてくるようだ。

このように、《下町中》の校区は人間的なつながりの強い地域で、生徒も互いによく知りあっている。塾通いは少ないものの、テレビ視聴が長く、自然体験に乏しい。いじめの姿もみられる。いろいろな課題を残すとはいえ、人間的な接触の濃い学校である。

5 《ニュータウン中》 - 都市環境に生きる中学生 DDD

(1) 地域及び学校環境

《ニュータウン中》は、都心部で仕事をする人のためのベッドタウンとして都市計画に基づいて人工的に作られた町に位置し、昭和50年代の後半に開校している。元々原野山林であったところを切り開いて作られたこともあり、住宅部分と学校部分が計画的に作られているので、学校の敷地面積や校舎面積、校庭面積などは都心部の学校に比較してゆとりがある。緑も都心部の住宅と隣接した学校と比べると十分にあり、学校らしい学校といってよい。

都心部から1時間程度で通勤できる鉄道がこの町づくりでできており、都心へのアクセスも便利である。住宅(団地)までのバスの便も非常によい。駅そのもの、また、駅周辺も広い空間があり、商店街、銀行、大型スーパーマーケット、デパート、コミュニティーセンターなど、日常生活にはまったく不便さは感じられない。最近、都心部から会社関係の事務所なども移転してきている。

(2) 生徒数

昭和57年に開校している。開校後、3年目には入学者数が男子97名、女子99名と200名近い状況で、その後、毎年のように入学者の数を伸ばしていったが、4年後をピークとして徐々に減少しはじめ、昨年度の入学者数は男女合計で130名であった。この減少は、少子化の傾向と相まってしばらくは続きそうである。

ニュータウンができて生活を始めた第一世代の住民の子どもたちは、住居の広さの関係から、特に結婚後、親と同居することはなく、他の地域で新生活を始めることが

多いようだ。したがって、今後、小中学生の数が增えることは考えにくい。

近隣の中学校では、生徒の減少により、統廃合が検討され、すでに実施された学校もある。この現象は、この《ニュータウン中》の特徴というよりはむしろ、大都市の近郊にできたベッドタウンとしての機能を持つ町にある小中学校の特徴といってよいように思う。

(3) 学校の特徴

開校してから約15年ということで、比較的歴史の浅い学校である。地域と学校がほぼ同時進行のような形で発展してきているので、都市部の下町地域にみられるような伝統的な諸活動は見受けられない。

表2-50は、《ニュータウン中》の週時程である。この週時程から2日間の6時間授業(月、金曜日)3日間の5時間授業(火、水、木曜日)1日の3時間授業(土曜日)を実施していることがわかる。この週時程は、《ニュータウン中》独自の週時程というよりはむしろ、東京の中学校で実施しているきわめて一般的な週時程で、平均的なものと考えられる。

表2-51は年間の学校行事を示したものである。この表からも平均的な中学校としての学校行事を実施しているにとどまっているようにみえる。2学期に実施されている音楽鑑賞教室(2年)古典芸能教室(1年)が目を引き、これもオーケストラ鑑賞教室、能・狂言鑑賞教室などで多くの中学校で実施しているものである。文化祭がなく、それに代わるものとして作品展になっている。都心部の多くの中学校でこの傾向が強い。授業時数の確保がその理由なのだろうか。

表 2 - 50 《ニュータウン中》の週時程

		月	火	水	木	金	土				
予鈴	8:25							8:30 予鈴			
	8:30	朝 礼	職員 打 ち 合 わ せ				学 級 の 時 間				
	8:40							8:40			
	8:45							8:45			
	9:35	1	6	11	16	21	26				
	9:45							9:35			
	10:35	2	7	12	17	22	27				
	10:45							9:45			
	11:35	3	8	13	18	23	28				
	11:45							11:35			
	12:35	4	9	14	19	24	清 掃 学級の時間	11:55			
	1:00	給 食						12:10			
	1:25	昼 休 み						12:35			
	1:30							1:00			
	2:20	5	10	15	20	25			1:25		
	2:30							1:30			
	3:20	道 徳	清 掃			学 活		2:20			
	3:25	学級の時間						2:25			
	3:40	清 掃	職員会議			特 活		2:30			
	3:45	学級の時間							2:40		
3:55							2:50				
一般下校	3:55	3:55	3:00	3:55	3:55	12:10					
最終下校	3月・4月・10月・11月..... 6時										
	5月・6月・7月・8月・9月..... 6時30分										
	12月・1月・2月..... 5時30分										

表 2 - 51 《ニュータウン中》の学校行事（平成9年度）

1 学期 (夏季休業を 含む)	始業式 入学式 新入生歓迎会 クラブ説明会 離任式 保護者会 定期健康診断 避難訓練 生徒総会 中間・期末考査 安全指導 修学旅行(3年) 遠足(1、2年) 授業参観 PTA総会 球技大会 大掃除 終業式 水泳指導
2 学期	始業式 総合体育大会 運動会 作品展 保護者会 音楽鑑賞教室(2年) 古典芸能教室(1年) 面接週間 防災訓練 生徒会選挙 生徒総会 中間・期末考査 安全指導 弁論大会 教育相談 マラソン大会 連合音楽発表会 避難訓練 大掃除 終業式
3 学期	始業式 移動教室(2年) 避難訓練 保護者会 新入生説明会 安全指導 高校入試 学年末考査 合唱コンクール 卒業遠足(3年) 大掃除 卒業式 修了式

(4) ふだんの生活

表2 - 52によれば、起床時刻は7時～7時半頃としているのが76.1%、8時頃が15.2%である。中学校の始業時間が8時30分であるから、朝、余裕のない生活をしているのがうかがえる。寝る時刻は深夜12時頃から午前2時すぎが54.6%である。これから判断すると睡眠している時間は5～7時間といったところか。この調査の対象が1年生から3年生までなので、その点を考えると少々睡眠時間が少ないように思う。1時間目の授業から机にうつ伏せになる生徒がいるのもうなずける。

朝の目覚めが「すっきりとさわやか」である生徒が4.0%しかいなく、「少し眠いが、起きてしまえば大丈夫」が46.5%、「なんとなくだるい+なかなか起きられない」生徒は49.5%もいる。都市近郊の中学生の特徴といえるかもしれない。

塾で学習する時間も含めた校外での学習時間をみると、「ほとんどしない」生徒が38.3%もいるのには驚かされる。平日のテレビの視聴時間は1時間～3時間未満で59.8%いる。3時間以上が23.2%いるのは、意外と多いような感じもする。

ふだんよく行く場所を、1週間に必ず1度は行くという前提で集計しなおしてみると、一番よく行くところは、本屋(48.7%)、コンビニ(45.4%)、雑貨屋(31.8%)、レンタルビデオ(CD)店(25.6%)である。ゲームセンターやカラオケにはそんなに頻繁には

行っていないようである。

夜になってからの外出も一番多い理由は、「塾などに通うため」(48.3%)で二番目に多いのが「友だちに会うため」の21.5%であった。塾帰りに、コンビニなどで待ち合わせている状況をよく見かけるが、この調査からは明確にはわからない。

(5) 学校生活と友だち

学校に通学することについて「あまり楽しくない」と「ぜんぜん楽しくない」としている数を合計すると11.6%いる。全体の約1割程度と考えると多いようにも思うが、どの学校でもこの程度の数はいるようにも思える。

部活動で熱心に活動している割合とあまり熱心には活動していない割合が、ほぼ半々いるのはいかにも都会の中学生のような感じがする。

授業内容に関する理解度は半分以上は理解できていることを1つの基準とすれば、国語、数学、英語ともに約8割の生徒が理解していることになる。学習意欲の面でも比較的意欲的に取り組んでいるように思える。

自分の将来の見通しについては、望みの高校、望みの大学に入学でき、望みの職業につき、幸せな家庭を築き、社会的な活躍ができると考えている生徒の割合が意外と多いように思う。このように考える背景は、この地域に住むことのできる家庭は、一定水準以上の経済力を有していなければできない面があり、日常的な家庭生活の状況を感じさせる。

表2 - 52 ふだんの起床時刻と就寝時刻

		(%)									
起床時刻		6時頃		6時半頃		7時頃		7時半頃		8時頃	
		1.7		7.0		33.0		43.1		15.2	
就寝時刻		10時頃	10時半頃	11時頃	11時半頃	12時頃	12時半頃	1時頃	1時半頃	2時すぎ	
		4.5	4.5	17.5	18.9	25.2	11.3	10.2	5.4	2.5	

表2 - 53は学校によく持っていくものについてまとめたものである。手帳は生徒手帳なのかシステム手帳なのかははっきりしない面がある。生徒手帳であるとするならば、低すぎる数値のように思えるし、システム手帳のようなものであるとするならば、半数近くの生徒がいつも携帯しているのであるから、さすが都会の中学生といってもよいだろう。意外だったのはポケベル、携帯電話・PHS、電子ゲームの割合が少なかったことである。《ニュータウン中》の生活指導が行き届いている結果なのかもしれない。腕時計については、おそらく学校で許可しているのだろう。

友だちづきあいの面はどうだろうか。「一緒におしゃべりする友だち」「忘れ物を貸し借りできる友だち」などがまあまあいる様子がうかがえる。友だちの目を気にすることなく比較的仲良く生活しているようにみえる。ただ、「いじめ」に関しては、「かなりある」が7.9%、「少しある」が35.9%で、どのような内容のいじめなのかが判然としないが、仲良く、楽しく生活しているわりには多いように感じる。

(6) 自分のこと

表2 - 54は、今ほしいものをほしい順番に並べたものである。

自分専用のテレビがほしい(53.2%)が一番多い。携帯電話・PHSをほしがめる様子は、高校生になると中学時代ごくふつうの子であった生徒が持っていることから納得することができる。自分の部屋は、もうすでに持っている可能性の方が高い。ポケベルやプレミアのつくようなシューズなどはすたれかけたものなのかもしれない。

定期的にファッション雑誌や情報誌を読み、よく行く、お気に入りの店を持ち、最新のヒット曲を歌えるようにしておくなど、まわりの友だちや時代に取り残されないような努力もよくしている様子である。プリクラ集めやブランド品についての興味はうすれかけているようである。

「はだしてたんぼの中を歩く」などの生活経験についてはしょっちゅうしているわけではないが、何回かの経験はしているようである。

これは《ニュータウン中》の大きな特徴といつてよいのだろうと思うが、海外旅行の経

表2 - 53 学校によく持っていくもの

(%)

1. リップクリーム	50.0
2. 手帳	47.2
3. 腕時計	41.6
4. ブラシ	32.7
5. ポケベル	2.8
6. 携帯電話・PHS	2.8
7. 電子ゲーム	2.5

験者が多い。「何回もある」が11.6%、「2、3回ある」が8.5%、「1回ある」が19.5%で、実に4割の生徒が経験している。

また、「コツコツやれば、きっとむくわれる」(86.2%)と考える反面、「要領のいい人が得をする」(67.0%)、「なんといっても、世の中はお金だ」(63.0%)と割り切って考えている部分もある。「男性も家事や育児をするべきだ」(72.3%)というように物事を合理的に考えている面もある。親の後ろ姿をよく見ているのかもしれない。

(7) 住んでいる「まち」について

生まれてからずっと住んでいるのは27.0%で、約7割の生徒は他地域からの転入者である。そのわりには、「近所の人にあいさつをする」(87.5%)など比較的きちんとした生活をしている。都市計画に基づいて作られた緑の多い町で「自然がたくさんある」(82.9%)と感じており、「お祭りなど伝統的な行事が盛んだ」(41.6%)、「親切な人がたくさんいる」(71.4%)など、この《ニュータウン中》の地域は生徒にとって居心地のよいところなのだろう。都心部に行くこともめったにない(64.0%)ように、ほとんどがニ

ュータウンのなかで快適な生活ができるのだろう。

(8) 家族について

祖父母と同居しているのは9.9%と非常に少ない。まさに核家族である。これは《ニュータウン中》の大きな特徴である。きょうだいの数は2人きょうだいが一番多く55.4%、3人きょうだい以上が38.1%、一人っ子が意外に少なく6.5%であった。家族の数は4人～5人で生活しているのが85.2%になる。家族の数が少ないせいなのだろうか、両親とも比較的うまくやっているように思われる。

(9) おわりに

《ニュータウン中》の調査結果からいえることは、平均的な中学生像が思い浮かぶ。服装もそこそこに中学生らしく、勉強も中程度にがんばり、ふつうにがんばっていれば、望みの高校や大学に入れると考えている。親や地域の人々とも適当にうまくやり、なるべくよい子のように見せながら、自分のほしいものを買ってもらったたかさのようなものを持ち合わせた現代っ子中学生である。

表2 - 54 ほしいもの

(%)

1. 自分専用のテレビ	53.2
2. 携帯電話・PHS	42.3
3. パソコン	40.1
4. テレビゲーム機	39.4
5. ステレオコンポ	33.5
6. ポケベル	32.3
7. 自分の部屋	25.5
8. プレミアのつくようなシューズ	22.5

「とても」+「かなり」ほしい割合

6 《奥羽中》 - 安定した地域に暮らす中学生 DDD

(1) 《奥羽中》と街の様子

《奥羽中》のある街の様子を簡単に述べると、奥羽川の河口に位置する日本海に面した港町で、人口6万弱。歴史は古く日本書紀にも登場し、近世になっては奥羽川上流の物資の集散地として、松前、北陸、関西方面との交易の拠点として栄えた港町である。産業は伝統的な製材業、木材加工が盛んであったが、近年、港の機能を整備することで外材の移入港に発展し、さらに海岸に火力発電所が建設され石炭の移入も増え、発電所内に電力を学べる施設もオープンしている。海岸沿いにある砂防林は街を守り、果樹園や畑に利用されている。

交通は県庁所在地からJR普通電車で約1時間、片道1,000円ほど。1駅乗り換えて、5分あまり乗ると《奥羽中》の最寄り駅となる。この県庁所在地と結んでいる電車は2両編成、単線で、1日に10本あまり、乗客もラッシュ時を除くと数えるほどしか乗っておらず、夜は10時すぎが最終電車となる。普通電車とともに特急電車も走っており、これを利用すると45分ほどで県庁所在地の街に着くが、特急料金を含めると往復4,000円ほどになり、中学生が利用するには大きな金額である。

駅前に商店街があるが、隣駅から特急を利用すると短時間で県庁所在地へアクセスでき、近年、新幹線も整備され、街の中心は郊外に移りつつある様子が見えがえる。

街には、文化施設、スポーツ施設が整備され、図書館の蔵書冊数は生徒数小・中・高校生合わせて9,000人ほどのこの街に87,000余冊をそろえている。学校や文化・スポーツ施設の充実と対照的なのが市役所の建物の古さで、この街が次世代の子どもたちにかかる期待の大きさがうかがえる。

こうした街にある《奥羽中》は50年の伝統をもち、各学年5クラス、500名ほどの中学校である。旧市街の商業地域と新興住宅地が学区域になっており、保護者の職業は第3次産業の占める割合が高い。市内には《奥羽中》の他に4校の中学校、13校の小学校と、普通高校、工業高校、商業高校など5校の公立高校があり、ほとんどの生徒が市内の高校に進学する。学校は木々に囲まれた高台にあり、教室からは周囲の山々が見渡せ、校舎は木の感触をもつ落ち着いた建築である。教室、廊下、ベランダには花が飾られ、各学年のフロアーには学年集会が開ける程度のオープンスペースがあり、休み時間や昼休みにクラスの枠を超えた生徒たちの交流の場になっている。そして、廊下や教室には生徒の作品や各教科の学習状況がわかるような掲示がなされ、はじめて訪れる者にも今どんな学習をしているのか掲示物を見ることでおおよそ理解できるようになっている。授業の始業終業のチャイムは鳴らさず(ノーチャイム)、一日の日課を進めている。生徒たちが教室の時計を見ながらそれぞれ移動していく姿は、チャイムに慣れてしまっている者には新鮮に感じられる。

この学校の1日の日課は、8時5分始業・清掃で始まり、朝の学習の時間、朝の会、午前中4時間の授業(45分授業)給食・昼休み、午後2時間の授業、清掃、帰りの会で、平日の場合3時45分で終了となっている。

授業は、平日は6時間。土曜日には3時間すべてを特別活動の時間とし、この時間に「ふるさと学習」「ボランティア活動」など生徒会活動や進路指導などと関連した、学校全体での活動を行っている。選択教科は、2年生で音楽、体育、技術・家庭の3教科5コース、3年生が国語、数学、社会、理科、音楽、美術、体育、技術・家庭の8教科14コース

から選べるカリキュラムを組んでいる。

部活動は、運動部・文化部にはほぼ全員参加し、運動部・文化部とも県大会などで優秀な成績を上げている。データからも6割を超える生徒が熱心に活動していると自己評価している。

(2) データからみた《奥羽中》の生徒と生活

ここからは、今回調査した他の地域と《奥羽中》との差が顕著な部分を取り上げ、地域の様子と関連させてみていこう。

まず、生徒の家族関係は、「祖父母との同居」が4割、きょうだい数は「2人」が62.8%と地方都市にしては、祖父母との同居率が低く、きょうだい数も少ない。また、「お父さん・お母さんが仕事をしているところを見たこと」では「何度も見たことがある」と答えた生徒は63.1%と高く、古くからの商業地域と新興住宅地を抱える学区域の特性であろうか。

では、生徒の生活の様子をみてみよう。表

2 - 55によれば、大都市のにぎやかなところに行く機会をみると、「めったにない」と答えた生徒は64.0%と高く、ほとんどこの街の中だけで暮らしている。生徒たちがイメージする大都市とは県庁所在地で、夜10時をすぎてもネオンが輝き、駅前にはおしゃれなシティホテルが建ち、そこから新幹線に乗れば東京がみえる都市である。しかし、中学生がたびたび行くには交通費も時間もかかりすぎるのであろう。

次に、自分が住んでいる「まち」をどう思っているかをみてみよう。表2 - 56によれば、「ぜんぜん好きでない」13.7%、「あまり」を合わせ3割の生徒が自分の住んでいる「まち」を好きになれないと答えている。そして、おとなになってからもこの「まち」に、「ぜったい+できれば住みたい」と答える生徒は16.5%にすぎず、「ぜったい住みたくない」22.0%、「あまり住みたくない」31.7%を合わせると5割を超える生徒が、この「まち」

表2 - 55 大都市のにぎやかなところに行く機会

(%)

ほとんど毎日ある	2、3日に1回はある	週に1回はある	月に1回はある	めったにない
1.5	2.4	7.2	24.9	64.0

表2 - 56 住んでいる「まち」が好きか

(%)

とても好き	わりと好き	まあ好き	あまり好きでない	ぜんぜん好きでない
16.1	19.8	34.5	15.9	13.7

を出たいと考えている（表2 - 57）。街のイメージをみると、自然がたくさんあり、伝統的な行事が盛んで、親切な人がたくさんいると答えた生徒の割合は他の地域と大きな差はない。しかし、「新しいものがすぐ入ってくる」と「とても+わりとそう」思う生徒は10.7%、「楽しい場所がたくさんある」26.5%、「みんな忙しそう」32.9%と都会の生徒と比べると10～20ポイントも差がみられる。メディアからの情報と、住んでいる「まち」のギャップが生徒たちの消費欲求や楽しさを十分満たしていないのだろう。

このような都会へのあこがれだけでなく、長引く不況による伝統的な産業の行き詰まりや農業の減反政策が、生徒たちの将来への希

望や見通しに不安を抱かせ、この「まち」で経済的な自立を計ることは難しいと考えさせていることも推測できる。

では、生徒たちの消費行動をみてみよう。表2 - 58によれば、「自分の部屋」がある者は75.3%と数値が高く、「ステレオコンポ」「テレビ」「テレビゲーム機」の所持率も4割前後ある。また、持っている生徒は少ないが、「携帯電話・PHS」は3割、「パソコン」は4割の生徒がとてもほしいと思っている。

流行への欲求をみると、「ルーズソックスをはいている」生徒は30.4%、はいていない生徒でも「とても+かなりしたい」の数値をみると40.1%の生徒がはきたいと思っている。「髪の毛を脱色したり染める」「ダイエツ

表2 - 57 おとなになってからも、この「まち」に住みたいか

(%)

ぜったい住みたい	できれば住みたい	まあ住みたい	あまり住みたくない	ぜったい住みたくない
4.1	12.4	29.8	31.7	22.0

表2 - 58 持っているもの・ほしいもの

(%)

	とてもほしい	かなりほしい	あまりほしくない	ぜんぜんほしくない	もう持っている
1. 自分の部屋	78.9	14.9	4.4	1.8	75.3
2. 自分専用のテレビ	59.6	21.1	16.4	2.9	39.3
3. パソコン	44.7	21.1	21.4	12.8	11.7
4. ステレオコンポ	44.5	21.9	20.7	12.9	44.6
5. テレビゲーム機	36.0	11.2	20.8	32.0	43.7
6. 携帯電話・PHS	32.3	16.8	27.3	23.6	4.6
7. ポケベル	23.6	13.5	30.4	32.5	2.8
8. プレミアのつくようなシューズ	19.9	12.1	30.2	37.8	5.0

トする」「ピアスをする」も実際にしている生徒は少ないが、したいと考えている生徒は3割前後おり、潜在的な流行への関心や欲求はかなり高い(表2 - 59)。

このようなものや流行への欲求の情報源はどうしているのだろうか。表2 - 60をみると、

「毎月読むファッション雑誌や情報誌がある」と「とても+かなりそう」と答えた生徒は59.3%、「よく行く、お気に入りの店がある」54.9%、「最新のヒット曲は歌えるようにしておく」45.9%、「トレンドィー・ドラマは欠かさず見る」「新発売のお菓子や飲み物は

表2 - 59 流行への欲求

(%)

	とても したい	かなり したい	あまり したくない	ぜんぜん したくない	もう している
1. ルーズソックスをはく (女子のみ)	11.7	28.4	34.0	25.9	30.4
	40.1				
2. ダイエットをする	21.2	16.5	23.6	38.7	2.2
	37.7				
3. 髪の毛を脱色したり染める	16.0	20.4	23.1	40.5	2.2
	36.4				
4. ピアスをする	12.2	13.8	21.0	53.0	0.7
	26.0				
5. まゆ毛を細くする	3.9	11.2	33.0	51.9	10.6
	15.1				
6. パーマをかける	3.5	6.4	20.4	69.7	1.1
	9.9				
7. ズリパン・スタイル (男子のみ)	2.9	5.3	32.7	59.1	8.4
	8.2				

表2 - 60 流行やほしいものへの対応

(%)

	とても そう	かなり そう	あまり そうでない	ぜんぜん そうでない
1. 毎月読むファッション雑誌や情報誌がある	39.0	20.3	23.4	17.3
	59.3			
2. よく行く、お気に入りの店がある	29.8	25.1	30.3	14.8
	54.9			
3. 最新のヒット曲は歌えるようにしておく	21.5	24.4	37.8	16.3
	45.9			
4. トレンドィー・ドラマは欠かさず見る	16.6	27.9	39.6	15.9
	44.5			
5. 新発売のお菓子や飲み物は買ってみる	18.0	25.1	45.0	11.9
	43.1			
6. 遊びに行くときは、流行の服を着る	13.9	24.8	41.7	19.6
	38.7			
7. ブリクラを集めている	12.6	14.5	25.6	47.3
	27.1			
8. ブランドに詳しい	5.0	11.1	41.2	42.7
	16.1			

買ってみる」が4割を超え、流行に敏感に反応していることがわかる。

生徒のこうした消費行動の背景には、近年、全国チェーンの大手スーパーやファーストフード店、コンビニが進出したたり、カラオケ店がオープンしていることと無縁ではないだろう。これまでのようなこの街に古くからあった店をコンビニ、スーパー風に改造した店ではなく、テレビコマースで目にするような誰でも知っているスーパーであり、コンビニである。こうした店の進出は、子どもたちの消費行動を刺激し、珍しさもあるのだろうが、学校帰りや夜1人で、あるいは友だちとスーパーやコンビニに立ち寄り、おしゃれや流行をチェックし、アイスクリームやハンバーガーを食べ、本や雑誌を立ち読みするなど都会ではどこでもみられる光景も、この地域の生徒にとっては新しい刺激的な行動なのだろうか。

ただ、ルーズソックスをはいていると答えた生徒が30.4%と今回の調査の中で最も高い数値を示しているが、ここの中学生の考えるルーズソックスは、東京の女子高校生がはいているルーズソックスとは多少違うように思う。また、表2-61で示した、学校によく持っていくものの中で、「リップクリーム」の数値が高いが、調査実施が2月の一番寒い時期で、おしゃれというより健康管理的な目的でリップクリームを持っていることも考えられる。

次に、学校生活をみてみよう。学習状況や中学校生活は地域によりさまざまであったが、《奥羽中》の生徒は消費行動や流行への関心ほど差がみられず、ほぼ平均的であった。ここでは学習塾について述べておきたい。学習塾に行っているかでは、「行っていない」割合は最も高い地域は72.0%、最低が37.3%、ほぼ半数の生徒は1週間に1回以上行っている。《奥羽中》の生徒たちも、表2-62によれば、「行っていない」生徒は56.0%、「行っている」生徒が44.0%、行っている生徒の中で、「週2回」行っている者が最も多く

23.7%。しかし、街の中には塾や予備校の看板はみられない。この街では、ほとんどが個人経営の学習塾で授業の補習的な役割を果たしているようである。全国規模の塾は数学(算数)塾が進出しているが、規模は家庭で教えられる程度のものである。したがって生徒たちは、勉強は家庭学習が多くなり(表2-63) わからないところは学校で聞くことになる。学校では必要に応じては補習も行われる。表2-61で生徒が学校によく持っていくものの中に「参考書」が15.8%と、他の地域と大きな開きが見られる。参考書で家庭で勉強したところを先生にたずねたり、「朝の学習の時間」に勉強したりと自ら学ぶ姿勢ができていないのだろうか。

このように学校の教師が進学のための補習をするのは中学だけに限ったことではない。この中学からも多数進学する県下でもトップクラスの進学校があり、この高校の生徒も塾や予備校に行くのではなく、教師が放課後補習を実施し、夏休みに東京などの大手の予備校が夏期補講を行う程度であるという。通塾率はほぼ同様であっても地域によって塾の位置づけが異なり内容に大きな違いが見られる。

最後に、中学生に「生き方」の意見をたずねた。特に差が顕著な項目を表2-64、表2-65で示した。表2-64の「子どもができて、女性は働き続けるべきだ」で「とても+わりとそう思う」と答えた生徒は42.5%、表2-65、「男性も家事育児をするべきだ」とする生徒は74.9%と数値が高い。ジェンダーフリーの教育の成果とみることもできるが、この学区域は商業地域で、港町であり、父親、母親が働いている姿は幼い頃から見て育っており、両親とも働くのが当たり前なのであろう。さらに、働くことにより経済的自立を目指すことが豊かさにつながるとい、言い換えれば男女とも働くことで生活が成り立っている部分も大きいのではないだろうか。こうした働く母親を支援するために、この街には保育所・幼稚園が22か所もあり社会的支援がなされている。

表2 - 61 学校へよく持っていくもの

(%)

リップクリーム	ポケベル	携帯電話・PHS	腕時計	マンガ	雑誌	電子ゲーム	参考書	小説などの本	ブラシ	手帳
54.0	0.9	1.1	5.0	5.4	11.3	1.3	15.8	8.4	29.7	31.0

表2 - 62 学習塾に行っているか

(%)

行ってない	週に1回行っている	週に2回行っている	週に3回行っている	週に4回行っている	週に5回行っている	週に6回行っている	週に7回行っている
56.0	6.6	23.7	10.5	2.4	0.2	0.2	0.4

表2 - 63 平日、家に帰ってからの勉強時間

(%)

ほとんどしない	30分未満	30分～1時間未満	1時間～2時間未満	2時間～3時間未満	3時間～4時間未満	4時間以上
18.8	9.2	19.4	29.4	14.0	6.6	2.6

表2 - 64 子どもができて、女性は働くべきだ

(%)

とてもそう思う	わりとそう思う	あまりそう思わない	ぜんぜんそう思わない
15.6	26.9	42.1	15.4

表2 - 65 男性も家事や育児をするべきだ

(%)

とてもそう思う	わりとそう思う	あまりそう思わない	ぜんぜんそう思わない
38.9	36.0	18.2	6.9

以上、《奥羽中》の生徒の生活をデータの中から「まち」を背景にみてきた。交通手段が自転車と電車に限られている中学生は、「まち」の外に出ることはほとんどなく、自分の住んでいる「まち」への愛着よりも外の世界（都会）へのあこがれが強い。全国規模のスーパーやコンビニ、ファーストフード店は刺激

的で中学生は消費欲求を煽られ、流行へ敏感に反応している。一方で、男性も女性も経済的自立をすることが生活の豊かさにつながり、父母の仕事を幼い頃からみて育った中学生は、伝統的性役割意識がかなり崩れた価値観を持っている。結果として「地域」を背景にした中学生像が見いだせた。

第3章 地域差・学校差の考察



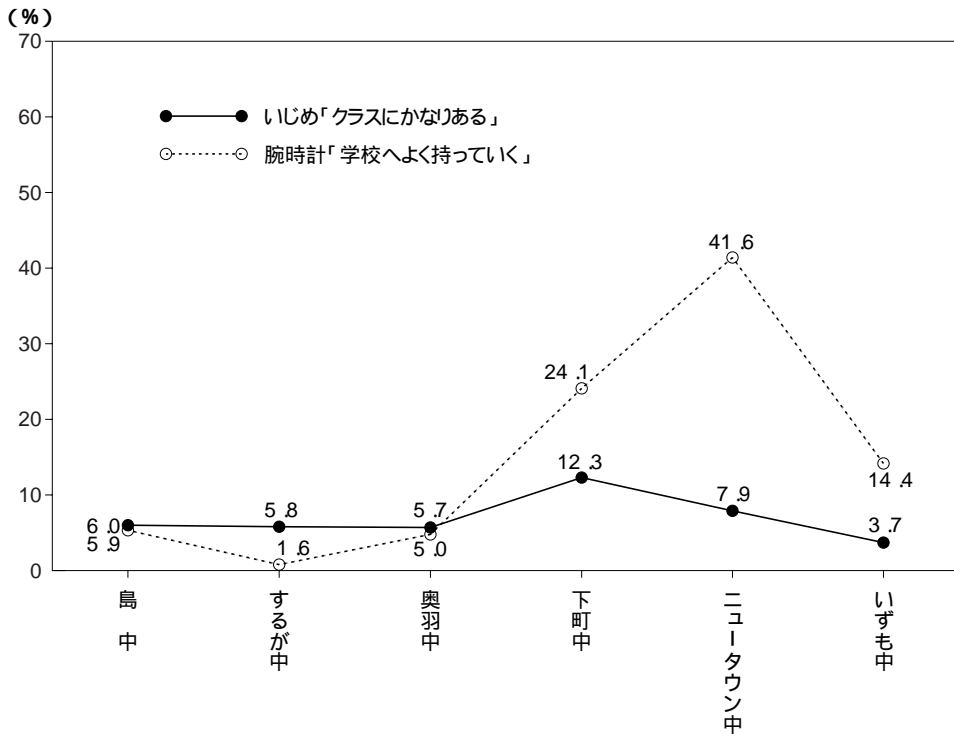
モノグラフでは全国の中学生の意識や生活の実態を調査し、その結果を報告している。例えば今回の調査で、「クラスにいじめがあると思いますか」とたずねた結果では、全体で6.7%が「かなりある」と回答し、32.7%が「少しある」と答えているから、両者を合計すると39.4%、おおよそ4割のクラスでいじめがあるとの回答が得られたという結果である。

中学生の自己申告のデータとして、困難な学校の現状を示すものといえるのだが、これを調査対象の学校別に検討すると、最も少ない《いずも中》では「かなりある」が3.7%にすぎないのに対し、最も多い《下町中》では12.3%に及んでいて、学校差がかなり大きいことがうかがわれる。「腕時計を学校へよく持っていくか」とたずねた結果では、《するが中》1.6%、《ニュータウン中》41.6%でその差はもっと大きくなる（図3 - 1）

こうした回答にあらわれた学校差を、私たちはふだんはさほど問題にはせず、全国的な傾向 -- いわば中学生の平均像 -- に注目して、問題を論じることが多い。もちろん、平均的な姿に注目して問題をみることは、大きな意味があるし、むしろ私たちが問題を把握しようとする際に必要な第一歩といえるだろう。平均像を描くことは、結果として個々の特殊な要因に左右されないトータルな中学生の姿を素描することになるからである。

ただ、そうはいうものの、それぞれのデータをより詳しく検討しようとする、回答者の性別や学校別、地域別の差を明らかにすることが必要になる。今回の調査では、地域差に注目して、調査対象の6つの中学校のそれぞれのデータがどう異なっているのか、あるいはさほど異なっていないのかを分析することにした。

図3 - 1 「クラスにいじめがあると思うか」「腕時計を学校へよく持っていくか」× 学校



1 . 家族や持ち物の地域差は大きい D D D

中学生の生活の地域差を知るために、祖父母と同居している者の割合を調べると、結果は図3 - 2に示すとおり、最も多い《はずも中》では64.5%、次いで《するが中》が54.1%である。これに対し、《島中》は15.8%、《ニュータウン中》は9.9%にとどまっている。同様に、きょうだい数をたずねた結果では、自分も含めてきょうだい数が3人以上だとする者の割合は、72.2%《島中》、28.9%《奥羽中》、31.2%《下町中》と、調査した学校によってかなりの差がみられる(図3 - 2)。

核家族化や少子化の進行は、今日の日本の家族の変容の方向であるとはいえ、中学生の家庭環境は、地域によって、学校によって大きく異なるといえる。この他にも、先の腕時計をはじめ、ポケベルや携帯電話・PHS、手帳を学校へよく持っていくか否か、ピアスをしているかどうかなど、持ち物の地域差、学校差はかなり大きいようである(図3 - 3)。

また、朝食をとらないことが多いかどうかなど、生活面の調査結果にも、概して多くの差がみられる。「登校前に朝食をほとんど食べない」者の割合は、《するが中》では

3.4%、《奥羽中》《ニュータウン中》ではそれぞれ3.9%、4.2%であるのに対し、東京の《下町中》では13.5%にも及んでいる（図3 - 4）

腕時計の所持には学校の指導の差があることも考えられるし、ポケベルや携帯電話・PHSの差にはサービス地域の範囲とのかかわりもあろう。しかし、ポケベルや携帯電話・PHSの契約や料金の支払いには保護者がかわらざるをえないことを考えれば、これらの通信手段に消極的にせよ許容的な親の存在を示すものであろう。

「ピアスをしている」中学生の割合は、《島中》5.6%、《奥羽中》0.7%で、全体としてさほど多くはないが、学校差は少なくな

い。「手帳を学校へよく持っていく」者の割合も、《するが中》9.3%、《ニュータウン中》47.2%で、大きな差がみられる（図3 - 3）。これにも学校の指導の問題があるし、回答に生徒手帳が含まれるのかといった疑問もあるが、次いで所持する者の割合が低い《島中》も28.9%であり、地域色がみられると考えられる。

中学生が暮らす家族の構造上の特質や持ち物といった生活面でみると、人口密度や親の職業などの社会的性格、それらと関連する都市的な生活様式の浸透過程という意味での都市化（アーバニゼーション）の程度に応じて、地域差ないし学校差はかなり大きいといえる。

図3 - 2 家族構成 × 学校

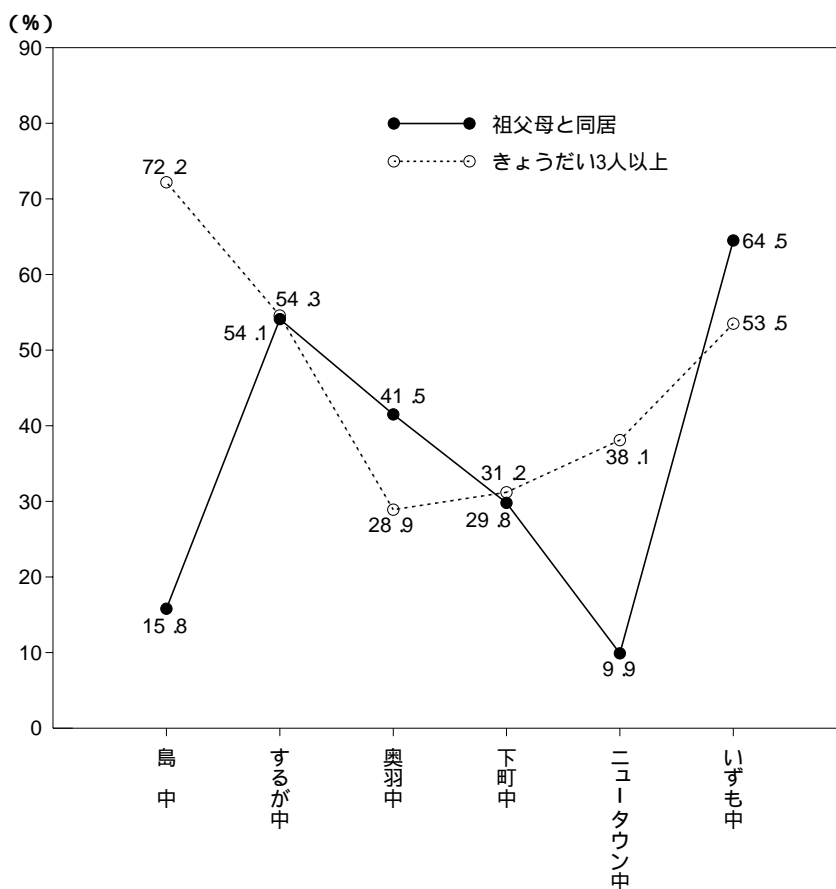


図3 - 3 ポケベル、携帯電話・PHS、手帳 × 学校

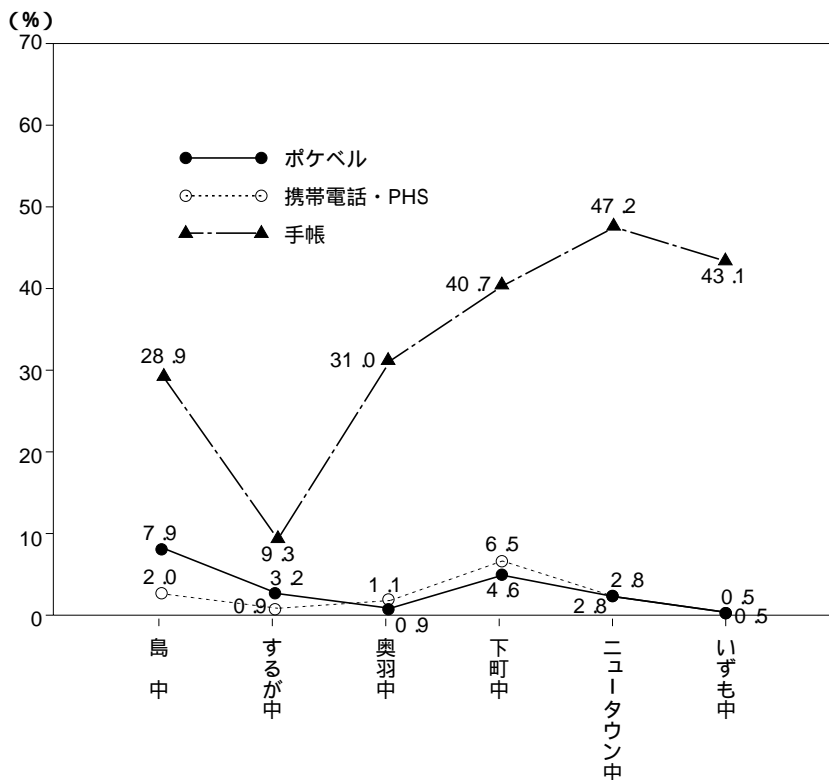
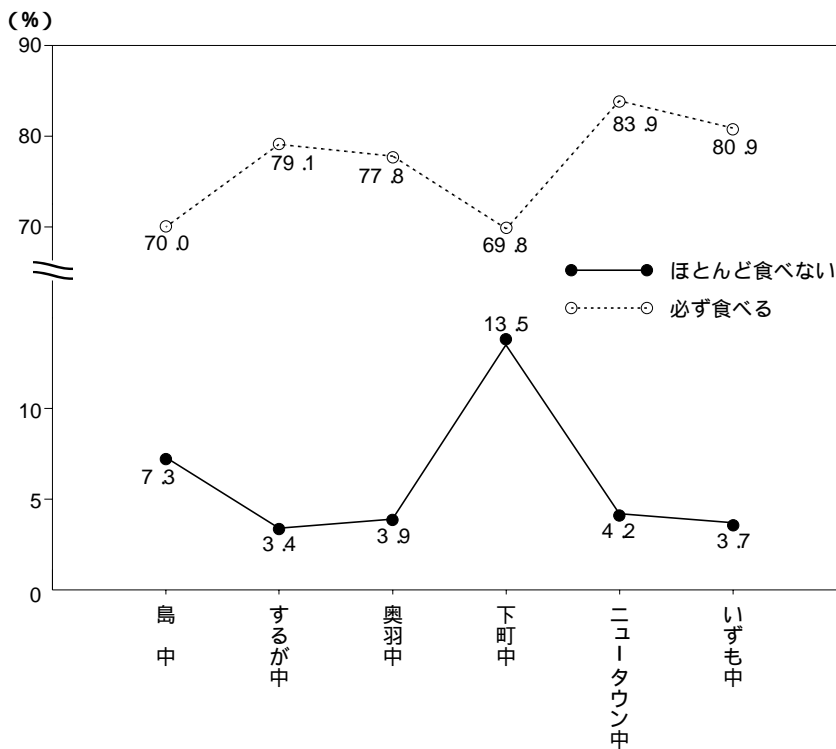


図3 - 4 「ほとんど朝食をとらない」「必ず朝食を食べる」 × 学校



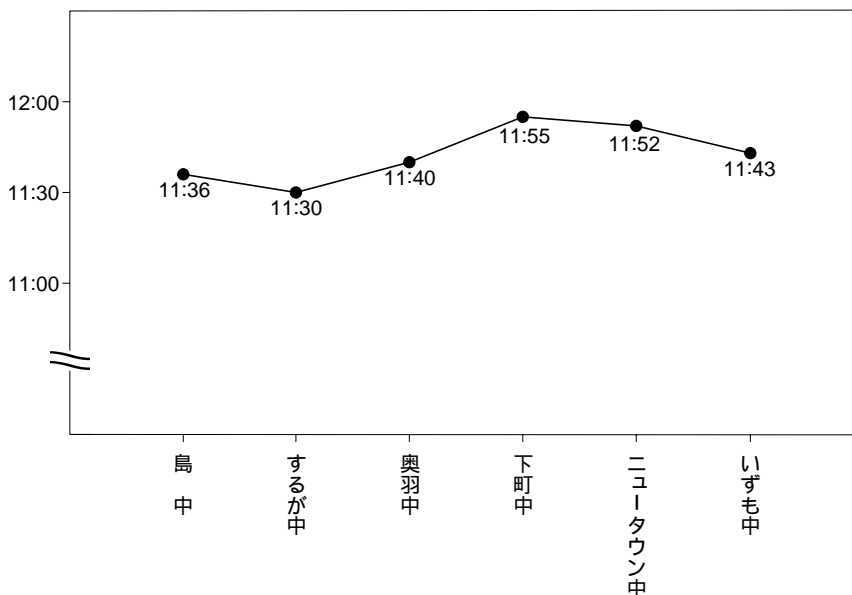
2 . 将来像には差が少ない D D D

一方、今回の調査結果でも、調査対象の学校差、あるいは地域色というものが、さほどみられない項目もある。

たとえば、就寝時刻の平均値を比較すると、最も早い《するが中》が11時30分、最も遅い《下町中》が11時55分で、その差は25分

ほどで、さほどの差はみられない(図3-5)。考えてみると今日の日本の社会では、テレビのチャンネルの数のちがいはあるものの、全国どこにも同一のテレビ、ラジオの文化が流布されている。マスメディアによる均一の大衆文化の影響が大きいことからすれば、今の

図3-5 就寝時刻の平均 × 学校



日本ではどこへ行っても大きな差はないという見方は、中学生の意識や生活にもあてはまるという一面があるだろう。

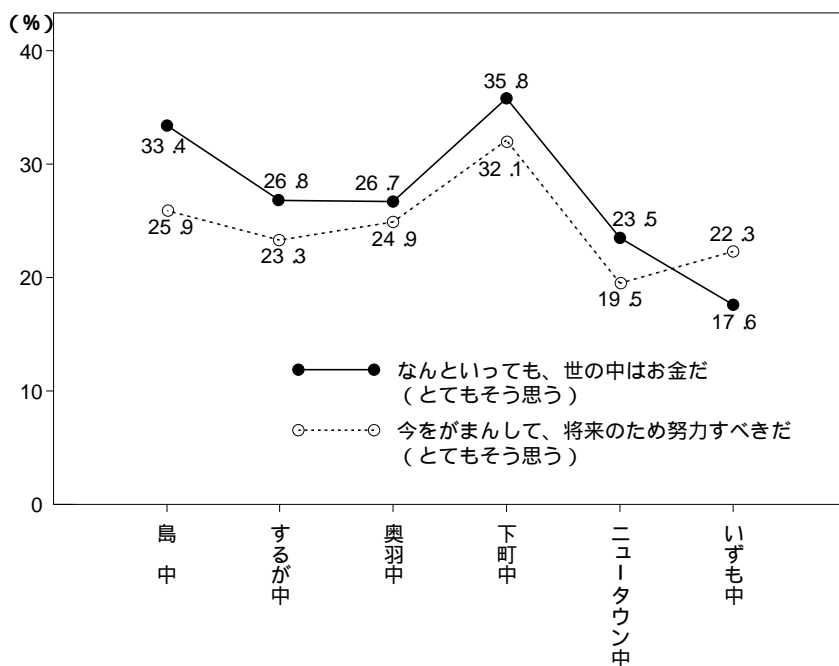
これまでみてきたように、中学生の持ち物や家族の状況には、就寝時刻を別とすれば、調査対象校による差、地域色というべきものがみられるが、一般的にいて中学生の意識にかかわる項目の学校差は、持ち物や家族の状況と比較する限り、さほど大きくはなかった。

例えば、「なんといっても、世の中はお金

だと思う」という意見に、「とてもそう思う」と答えた中学生の割合は、《いずも中》では17.6%、《下町中》では35.8%であり、もちろん有意の差ではあるが、その差はさほどではないという印象を持つ（図3 - 6）。

同様に、「今をがまんして、将来のため努力すべきだ」という意見を支持する者の割合も、最も低い《ニュータウン中》が19.5%、最も高い《下町中》が32.1%で、その他の4校はおおむね20%台前半で推移する。こうした

図3 - 6 「なんといっても世の中お金だ」 × 学校
「今をがまんして、将来のため努力すべきだ」



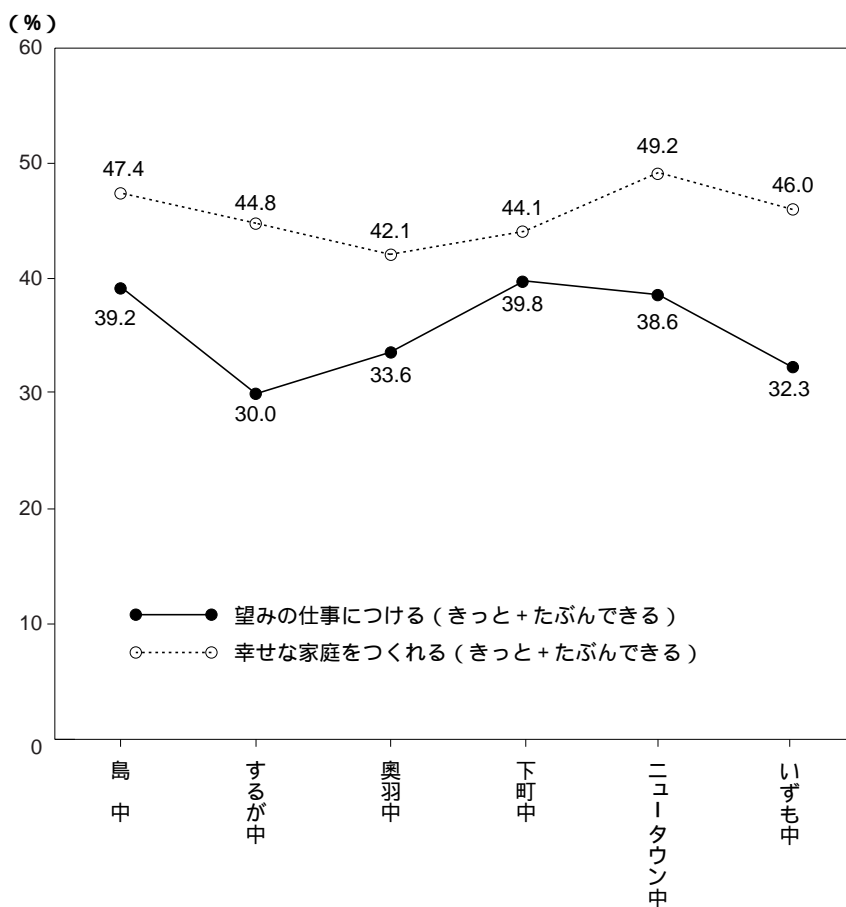
意識の学校差、地域色はさほどではなく、これまでの章でふれたとおり、むしろ性別や学業成績とのかかわりが強いといえそうである。

さらに、中学生の将来像にかかわる意識についてみると、「望みの仕事につけるとするか」「幸せな家庭をつくれると思うか」とする質問に対して、「きっとできる」「たぶんできる」と答えた者の割合は、前者で30%台、後方で40%台に集中していて、大きな差がないことは興味深い(図3-7)。

生活の様子には地域差がみられても、自らの将来の見通しについては地域差、学校差は乏しい。それが日本の中学生の生活と意識にあらわれている地域色の実態であるということもできよう。

なお、あと一つ、「子どもができて、女性は働き続けるべきだ」「男性も家事や育児をするべきだ」とするジェンダーにかかわる意識について、学校差をみてみた。結果は図3-8に示すとおり、「男性も家事や育児を

図3-7 「幸せな家庭をつくれる」 × 学校
「望みの仕事につける」



すべきだ」とする意見を支持する中学生の割合は、最高が《奥羽中》の38.9%、最低が《するが中》の24.8%であり、「子どもができて、女性は働き続けるべきだ」とする意見には、《奥羽中》の15.6%、《島中》の9.0%の生徒が「とてもそう思う」と答えたという結果であった。

生活の実態が強く投影される意識であるためか、自己の将来の見通しにかかわる意識を比較すると学校差は大きい、生活実態そのもののほどの差はみられないという結果である。

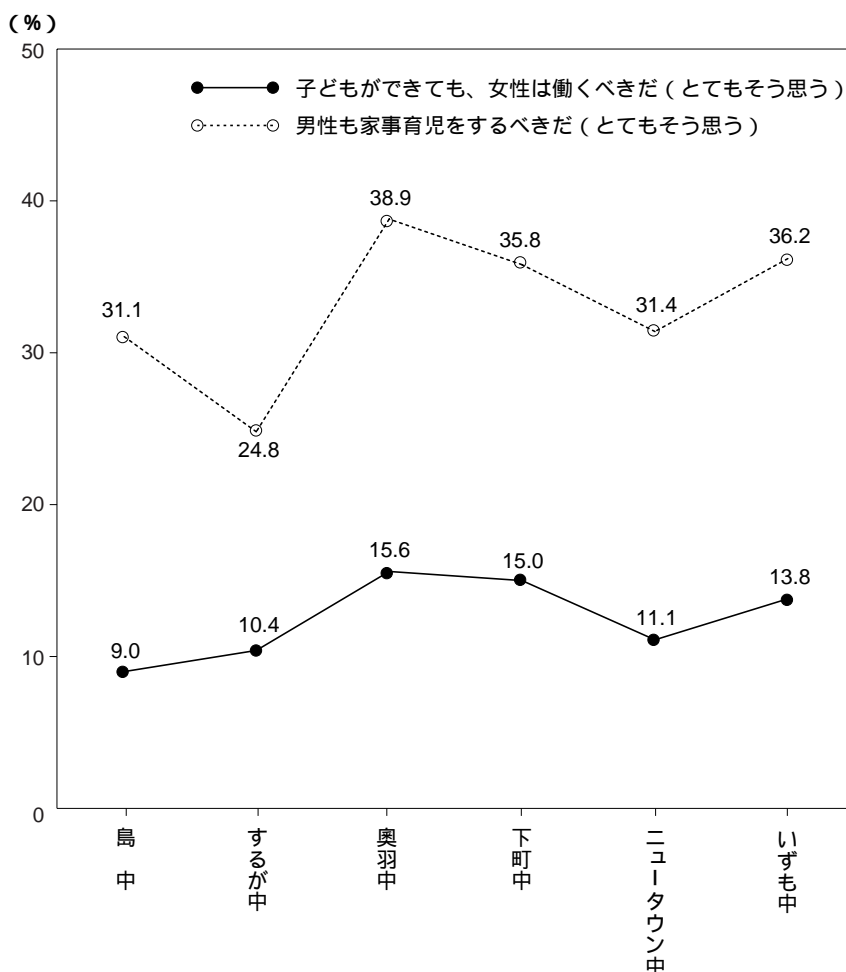
以上をまとめると、次のようになろう。

まず、中学生の生活環境としての家族の形態や、中学生の持ち物などには、かなりの学校差、地域色がみられる。

ここでいう地域色というのは「土地がら」というほどの広い意味であり、人口密度や居住環境、狭義の都市化の程度といった要因だけでなく、職業や意識、生活スタイルといった親の社会的性格や、学校の指導の特徴を構成する組織・文化的要因が含まれる。それらは互いに関連しつつ、広い意味での地域差、地域色をもたらししていると考えることができよう。

生活面での地域差がみられるのに対し、意

図3 - 8 「子どもができて、女性は働くべきだ」 × 学校
「男性も家事育児をするべきだ」



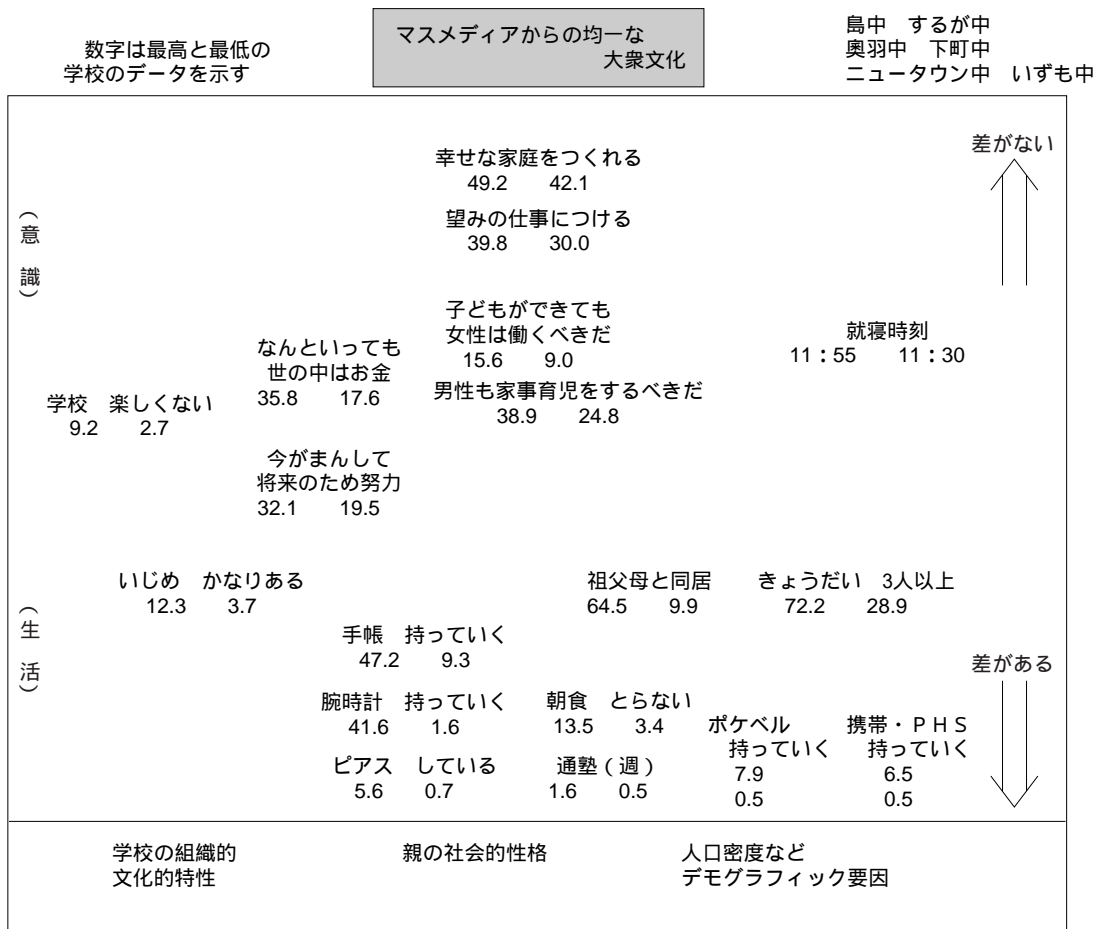
識の地域差は、学校別のデータから判断する限り、さほど大きくはない。意識にかかわる項目のなかでも、生活のなかで形成されるもの -- 例えば金銭感覚や男女の役割にかかわる意識など -- は、やや地域差を示す傾向にあるが、「幸せな家庭」や「望みの仕事」への見通しというような将来像にかかわる意識には地域色が少ない傾向がみられる(図3-9)。

逆にいえば、今日の日本の中学生は、生活の実態とは離れたところに自らの将来の可能性の像を結びがちなのだということもできようか。生活面で例外的に地域色の少ない就寝

時刻のデータと合わせて、マスメディアから発せられる均一の大衆文化の影響を示唆するものといえそうである。

今日、教育改革をめぐる論議の中で、地域と学校のかかわり、学校と家庭の連携の必要性が繰り返し説かれている。そのおおまかな方向性には異論はないが、具体的な施策の構想にあたっては、地域色のみられるものと認められないもの、学校差の認められるものと認められないものを区別しながら、さらにそれを規定する要因にも注目しつつ、現実的な検討をすすめる必要があるように思われる。

図3-9 地域色のまとめ



まとめに代えて

自分らしい価値観を持たせたい

調査結果を読み取るときは興奮する。予想していない数値が出てきて驚いたり、予想通りの傾向でホッとしたり、一喜一憂の繰り返しである。それでも、多くの場合、たぶんこうした結果が得られると見通しをたて、ほぼ予想通りの数値が出てくる。そして、ときどき考えてもいない数値に当惑し、その背景を考えさせられることがある。こうした予想と異なる場合、数値の方が正しく、こちらの見方が偏っていたり、大事な文脈を見落としていることが多い。しかし、今回の調査はまったくというほど予想をたてられなかった。地域差や学校差が大きいようにも思われるし、少ないようにも考えられる。そして、結果が出てきて、数字の読み取りを行ったとき、固定観念が崩れていくのを感じた。

《島中》は九州の島だから、のんびりとした生活を送っているだろう。《ニュータウン中》は教育熱心な親が多いので、生徒は塾通いに追われ、心身ともに疲れきっている。《下町中》は人間関係が細やかで、生徒は精神的に安定しているだろう、などが予想した内容だが、すでにふれたように、これらの仮説はいずれも否定された。そして、予想外の結果が出てきたときは地元に関わり合わせて、事情を確かめてみると、それなりの背景があった。

*

結果の中で、最も印象的だったのは行動の開きは大きいのに、意識の差は少ない事実だった。行動面については予想通りの開きが認められた。

「ルーズソックスをはく」を例にすると、《いずも中》は「はいている」の47.1%に「はきたい」の24.1%を含めると71.2%がはく可能生がある。それに対し、《下町中》は13.9%に19.8%で33.7%にとどまる。また、「髪の毛を染める」は《島中》が7.6%（「し

ている」）に41.4%（「したい」）で49.0%に達するのに、《ニュータウン中》は2.0%に25.8%で27.8%である。

したがって外見的にみれば、その地域らしい中学生がいるのは確かであろう。しかし意識面に着目すると、地域差がきわめて少ない。大きくなったら「幸せな家庭をつくれる」と思う生徒は《ニュータウン中》の49.2%から《奥羽中》の42.1%まで、数値の開きは7.1%にすぎない。意識を扱ったその他の項目も地域差が少なかったのはすでにふれた通りである。

今回のサンプルは九州のある島から東京のニュータウン、そして、奥羽の町まで、生徒の住んでいる地域は大きく異なる。そうした地域差を超えて、中学生の意識は標準化されている。テレビやラジオ、雑誌は地域差を超えて同じ情報を流している。特に中高校生たちはメディアに敏感に反応し、情報を吸収する。そして同じような価値観を共有するようになる。

生徒たちは外見的に個性をつくることができても、自分の価値観はメディアの受け売りで、自分らしい意見や見方までではつけれないのであろう。

こうしたデータを見ながら、リースマンの古典『孤独なる群衆』を思いだした。自分に自信を見いだせない群衆が、他人と同じ行動をとることによって安心感を見いだすという理論である。リースマンが「他人志向型」を提唱したのはラジオ時代のアメリカだが、生徒の心が標準化され、幅が少ないのがなんとも気になる。情報化された社会だからなおのこと、情報を主体的に取舍選択し、自分の価値観を持たせることが大事であろう。そうした生き方や価値観の指導が、これからの学校の重要な課題になるように思った。

アンケートのお願い

これはテストではありません。全国の中学生にお願いして、中学生生活の様子をうかがうアンケートです。思ったことをそのままお答えください。

回答のしかた

あなたはスポーツが好きですか。

とても 好き	かなり 好き	ふつう	少し 嫌い	とても 嫌い
1	②	3	4	5

あなたが、もしスポーツをかなり好きだと思ったら、上のように番号のところに○でかこんでください。

① あなたの学校、性別などについてお聞きします。

1) 学 校 名 …………… () 中学校

2) 学 年 …………… () 年

3) 性 別 …………… (1 . 男子 2 . 女子) ○をつけてください

資料1 調査票見本

I. あなたのふだんの生活についてお聞きします。

② ふだんの朝の様子についてお聞きします。

1) あなたは、学校へ行く日は、ふだん何時頃に起床しますか。

6時頃 6時半頃 7時頃 7時半頃 8時頃
 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5

2) 起きるときは、どのようにして起きますか。

1. 自分で（1人でなんとなく目が覚める）
2. 目覚まし時計で起きる
3. 家の人に起こしてもらう
4. その他

3) 目覚めはいい方ですか。

1. すっきりとさわやかに起きられる
2. 少し眠いが、起きてしまえば、大丈夫
3. なんとなくだるくて、しばらくボーっとしている
4. 起きようとするが、なかなか起きられない

4) あなたは、朝ご飯を食べて登校しますか。

1. 毎日必ず食べる
2. 1週間に1、2度食べないことがある
3. 食べたり、食べなかったりする
4. ほとんど食べない

③ ふだんの放課後のあなたの生活についてお聞きします。

1) 平日、家に帰ってから、何時間くらい勉強しますか（塾での時間も含めてください）。

ほとんど
しない 30分未満 30分～
1時間未満 1時間～
2時間未満 2時間～
3時間未満 3時間～
4時間未満 4時間以上
 1 ————— 2 ————— 3 ————— 4 ————— 5 ————— 6 ————— 7

資料1 調査票見本

2) 平日、テレビは何時間くらい見ますか。

ほとんど 見ない	30分未満	30分～ 1時間未満	1時間～ 2時間未満	2時間～ 3時間未満	3時間以上
1	2	3	4	5	6

3) あなたは現在、学習塾などに行っていますか。

行って いない	週に1回 行っている	週に2回 行っている	週に3回 行っている	週に4回 行っている	週に5回 行っている	週に6回 行っている	週に7回 行っている
1	2	3	4	5	6	7	8

4) あなたは、ふだん、次のようなところへ行きますか。

	ほとんど 毎日行く	2、3日に 1回は行く	週に 1回は行く	月に 1回は行く	めったに 行かない	まったく 行かない
1. 本屋	1	2	3	4	5	6
2. ファーストフード店	1	2	3	4	5	6
3. コンピニ	1	2	3	4	5	6
4. レンタルビデオ (CD) 店	1	2	3	4	5	6
5. 雑貨屋 (文具やキャラクター 商品も含む)	1	2	3	4	5	6
6. 洋服屋	1	2	3	4	5	6
7. プリクラ	1	2	3	4	5	6
8. カラオケ	1	2	3	4	5	6
9. ゲームセンター	1	2	3	4	5	6

5) 夜になってから、外出することがありますか。

外出することがある人は、その理由を教えてください。

(1) 夜、1人あるいは友だちと外出すること

ほとんど 毎日	2、3日に 1回くらい	週に 1回くらい	めったに ない	まったく ない
1	2	3	4	5

資料1 調査票見本

(2) 外出の理由(あてはまるものにいくつでもをつけてください)

1. 塾などに通うため
2. コンビニなどに行くため
3. 友だちに会うため
4. 気分転換のため
5. なんとなく
6. その他

6) あなたは、電話で友だちとおしゃべりをすることがありますか。

ほとんど 毎日	2、3日に 1回くらい	週に 1回くらい	めったに ない
1	2	3	4

7) あなたは、ふだんの日、何時頃に寝ますか。

10時頃	10時半頃	11時頃	11時半頃	12時頃	12時半頃	1時頃	1時半頃	2時すぎ
1	2	3	4	5	6	7	8	9

Ⅱ. 次に、学校生活や友だちとのことについて、お聞きします。

④ あなたは、現在、学校に通うのが楽しいですか。

とても 楽しい	かなり 楽しい	やや 楽しい	ふつう くらい	やや 楽しくない	あまり 楽しくない	ぜんぜん 楽しくない
1	2	3	4	5	6	7

⑤ 部活動には参加していますか。

1. 運動部に入り、熱心に活動している
2. 運動部に入っているが、あまり熱心に活動していない
3. 文化部に入り、熱心に活動している
4. 文化部に入っているが、あまり熱心に活動していない
5. 以前は入っていたが、現在は入っていない
6. 部活動はしたことがない

資料1 調査票見本

⑥ 授業の内容は、どれくらい理解できていますか。

- | | 全部
わかる | 7割くらい
わかる | 半分くらい
わかる | 3割くらい
わかる | ほとんど
わからない |
|-------------|-----------|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 国語 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2. 数学 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3. 英語 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

⑦ 数学や英語の授業のとき、どんな気持ちでいますか。

- | | とても
そう | かなり
そう | あまり
そうでない | ぜんぜん
そうでない |
|--------------------|-----------|-----------|--------------|---------------|
| 1. やる気がする | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. 興味がもてる | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. ぼんやりしている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. イヤな気持ち | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. 早く終わってほしい | 1 | 2 | 3 | 4 |

⑧ あなたは自分の将来について、どんな見通しをもっていますか。

- | | きつと
できる | たぶん
できる | 半分
半分 | たぶん
無理 | ぜんぜん
無理 | 進学する
つもりはない |
|---------------------|------------|------------|----------|-----------|------------|----------------|
| 1. 望みの高校に入れる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 2. 望みの大学に入れる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| 3. 望みの仕事につける | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 4. 幸せな家庭をつくれる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |
| 5. 社会的な活躍ができる | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | |

⑨ 学校によく持って行っているものはありますか。いくつかも をつけてください。

- | | | |
|------------|---------|-------------|
| 1. リップクリーム | 2. ポケベル | 3. 携帯電話・PHS |
| 4. 腕時計 | 5. マンガ | 6. 雑誌 |
| 7. 電子ゲーム | 8. 参考書 | 9. 小説などの本 |
| 10. ブラシ | 11. 手帳 | |

資料1 調査票見本

⑩ あなたには、次のような友だちがどれくらいいますか。

- | | たくさん
いる | 5、6人
いる | 2、3人
いる | 1人
いる | いない |
|------------------------------------|------------|------------|------------|----------|-----|
| 1. 一緒におしゃべりをする友だち | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2. 忘れ物を貸し借りできる友だち | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3. 休日に遊んだり、買い物に行ったりする
友だち | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4. うれしいときに一緒に喜んでくれる
友だち | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5. 落ち込んでいるときに話を聞いてくれる
友だち | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6. もし悪いことをしたら、注意してくれる
友だち | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 7. 深刻な悩みを相談できる友だち | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 8. 生涯、つきあえそうな友だち | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

⑪ あなたには、次のようなことがあてはまりますか。

- | | とても
そう | かなり
そう | あまり
そうでない | ぜんぜん
そうでない |
|-------------------------------------|-----------|-----------|--------------|---------------|
| 1. 友だちの話についていけない | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. クラスでは目立たないようにしている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. 仲がよくても、本音や悩みは話せない | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. 友だちに陰口を言われていると思う | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. 友だちとケンカをしても、すぐ仲直りができる | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6. 友だちから誘われても、気のすまないことは
断る | 1 | 2 | 3 | 4 |

⑫ あなたのクラスには「いじめ」があると思いますか。

- | かなり
ある | 少し
ある | ほとんど
ない | まったく
ない |
|-----------|----------|------------|------------|
| 1 | 2 | 3 | 4 |

Ⅲ. もう少し、あなたのことについてお聞きします。

⑬ あなたは、次のようなものをどれくらいほしいと思いますか。

- | | とても
ほしい | かなり
ほしい | あまり
ほしくない | ぜんぜん
ほしくない | もう
持っている |
|--|------------|------------|--------------|---------------|-------------|
| 1. 自分の部屋 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2. 自分専用のテレビ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3. ステレオコンボ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4. ポケベル | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5. 携帯電話・PHS | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6. パソコン | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 7. プレイステーション、セガ・サターン
などのテレビゲーム機 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 8. プレミアのつくようなシューズ | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

⑭ あなたは、次のようなことをしたいと思いますか。

- | | とても
したい | かなり
したい | あまり
したくない | ぜんぜん
したくない | もう
している |
|----------------------------|------------|------------|--------------|---------------|------------|
| 1. 髪の毛にパーマをかける | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 2. 髪の毛を脱色したり、染めたりする | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 3. まゆ毛を細くする | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 4. ピアスをする | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 5. ダイエットをする | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 6. ルーズソックスをはく(女子のみ)..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 7. ズリパン・スタイルで歩く(男子のみ)..... | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

資料1 調査票見本

15 次のようなことは、あなたにどれくらいあてはまりますか。

- | | とても
そう | かなり
そう | あまり
そうでない | ぜんぜん
そうでない |
|------------------------------|-----------|-----------|--------------|---------------|
| 1. 新発売のお菓子や飲み物は買ってみる | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. 毎月読むファッション雑誌・情報誌がある | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. 最新のヒット曲が歌えるようにしておく | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. トレンディー・ドラマは欠かさず見る | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. プリクラを集めている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6. 遊びに行くときは、流行の服を着る | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7. ブランドに詳しい | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 8. よく行く、お気に入りの店がある | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 9. 海外旅行をしたことがある | 1 | 2 | 3 | 4 |
- 何回もある 2、3回ある 1回ある まだない

16 あなたは、次のようなことをしたことがありますか。

- | | しょっちゅう
している | 何回か
している | あまり
したことは
ない | ぜんぜん
したことは
ない |
|---|----------------|-------------|--------------------|---------------------|
| 1. 川や海で魚をとったり、木になっている果物を
とったこと | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. はだしでたんぼの中を歩いたこと | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. 夜空の星座をながめたこと | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. 赤ちゃんを抱っこしたこと | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. 取っ組み合いのけんかをしたこと | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6. お年寄りや身体の不自由な人の世話をしたこと | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7. お米をといでご飯を炊いたこと | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 8. 自分のシャツにアイロンをかけたこと | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 9. 家の手伝いを進んでしたこと | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 10. ビデオで留守番録画をしたこと | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 11. 電子レンジで食べ物を温めて食べたこと | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 12. ファックスで手紙を送ったこと | 1 | 2 | 3 | 4 |

資料1 調査票見本

17 あなたは、次のような考え方についてどう思いますか。

- | | とても
そう思う | わりと
そう思う | あまり
そう思わない | ぜんぜん
そう思わない |
|--------------------------------|-------------|-------------|---------------|----------------|
| 1. コツコツやれば、きっとむくわれる…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. 自分がよければいい…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. 要領のいい人が得をする…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. 今をがまんして、将来のために努力をするべきだ…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. なんといっても、学歴がものをいう社会だ…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6. なんといっても、世の中はお金だ…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7. 仕事に打ち込み、できれば出世をしたい…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 8. 子どもができて、女性は働き続けるべきだ…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 9. 男性も家事や育児をするべきだ…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |

IV. 続いて、あなたの住んでいる「まち」についてお聞きます。

18 あなたは、今、住んでいるところに、いつから住んでいますか。

1. 生まれたときから
2. 幼い頃（小学生になる前）から
3. 小学生の頃から
4. 中学生になってから

19 次のことは、あなたにどれくらいあてはまりますか。

- | | とても
そう | わりと
そう | あまり
そうでない | ぜんぜん
そうでない |
|--|-----------|-----------|--------------|---------------|
| 1. 近所の人に会ったら、あいさつをする…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. 近所の方は、あなたのことをよく知っている…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. あなたは近所の方のことをよく知っている…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. 困ったときには、近所の方が助けてくれると思う…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. 悪いことをしたら、きっと、近所の人から叱られる
だろう…………… | 1 | 2 | 3 | 4 |

資料1 調査票見本

⑳ あなたの住んでいる「まち」はどんなところですか。

- | | | | | |
|--------------------------|-----------|-----------|--------------|---------------|
| | とても
そう | わりと
そう | あまり
そうでない | ぜんぜん
そうでない |
| 1. 自然がたくさんある | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. お祭りなど伝統的な行事が盛んだ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. 親切な人がたくさんいる | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. みんな忙しそうにしている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. 楽しい場所がたくさんある | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6. 新しいものがすぐに入ってくる | 1 | 2 | 3 | 4 |

㉑ あなたは、大都市のにぎやかな場所へ行く機会はどれくらいありますか。

- | | | | | |
|--------------|----------------|-------------|-------------|------------|
| ほとんど
毎日ある | 2、3日に
1回はある | 週に
1回はある | 月に
1回はある | めったに
ない |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

㉒ あなたは、あなたの住んでいる「まち」が好きですか。

- | | | | | |
|-----------|-----------|----------|--------------|---------------|
| とても
好き | わりと
好き | まあ
好き | あまり
好きでない | ぜんぜん
好きでない |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

㉓ あなたは、おとなになってからも、この「まち」に住みたいですか。

- | | | | | |
|--------------|--------------|------------|---------------|----------------|
| ぜったい
住みたい | できれば
住みたい | まあ
住みたい | あまり
住みたくない | ぜったい
住みたくない |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

V. あなたのご家族について教えてください。

㉔ 現在、あなたはおじいさんやおばあさんと一緒にくらしていますか。

1. はい 2. いいえ

㉕ あなたは何人きょうだいですか。

1. 一人っ子 2. 二人きょうだい 3. 三人きょうだい以上

資料1 調査票見本

26 あなたを含めて、家族は何人ですか。

()人

27 あなたは、お父さんやお母さんが仕事をしているところを実際に見たことがありますか。

1. 何度もある 2. 1度だけある 3. ない

28 現在、あなたとご両親との関係はうまくいっていますか。

すごくうまく わりとうまく まあうまく あまりうまく ぜんぜんうまく
 いている いている いている いていない いていない その他

1. お父さんとの関係 1 — 2 — 3 — 4 — 5 6
 2. お母さんとの関係 1 — 2 — 3 — 4 — 5 6

29 ではご両親について、どんなことを思いますか。

とても わりと あまり ぜんぜん
 そう そう そうでない そうでない

1. 勉強しろと、うるさい 1 — 2 — 3 — 4
 2. しつげに厳しい 1 — 2 — 3 — 4
 3. 勉強に関するお金は出してくれる 1 — 2 — 3 — 4
 4. 親は自分に期待していると思う 1 — 2 — 3 — 4
 5. 親は自分の意見を尊重してくれる 1 — 2 — 3 — 4
 6. 世間体を気にしている 1 — 2 — 3 — 4
 7. 幸せそうだ 1 — 2 — 3 — 4

VI. 最後に、あなた自身についてお聞きます。

30 あなたは、自分をどういうタイプだと思っていますか。

とても わりと あまり ぜんぜん
 そう そう そうでない そうでない

1. 礼儀正しい 1 — 2 — 3 — 4
 2. 情報が早い 1 — 2 — 3 — 4
 3. 人づきあいがへただ 1 — 2 — 3 — 4
 4. 体を動かすのが好きだ 1 — 2 — 3 — 4
 5. 勉強は嫌いだ 1 — 2 — 3 — 4

資料1 調査票見本

- | | | | | |
|---------------------|-----------|-----------|--------------|---------------|
| | とても
そう | わりと
そう | あまり
そうでない | ぜんぜん
そうでない |
| 6. 目立つのが好きだ..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7. 根はまじめだ | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 8. 自分なりの意見がある | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 9. 精一杯生きている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 10. 自分のことが好きだ | 1 | 2 | 3 | 4 |

31 現在の健康状態についてお聞かせください。

- | | | | | |
|-----------------------|-----------|-----------|--------------|---------------|
| | とても
そう | わりと
そう | あまり
そうでない | ぜんぜん
そうでない |
| 1. 食欲がない | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 2. なんとなく、身体がだるい | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 3. 頭がボーっとしている | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 4. 肩がこる | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5. 立ちくらみやめまいがする..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 6. 疲れやすい..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 7. すぐイライラする..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 8. 思いきりあばれまわりたい | 1 | 2 | 3 | 4 |

32 あなたの成績は、クラスでどのくらいですか。

- | | | | | |
|-----|-----|------|-----|-----|
| 上の方 | 中の上 | 中くらい | 中の下 | 下の方 |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

33 あなたは毎日が楽しいですか。

- | | | | |
|------------|------------|--------------|---------------|
| とても
楽しい | わりと
楽しい | あまり
楽しくない | ぜんぜん
楽しくない |
| 1 | 2 | 3 | 4 |

～これで終わりです。どうもありがとうございました。～

資料2 学年・性別集計表

単位：サンプル数以外はパーセント

質問項目			全 体	性 別		学 年 別			
				男 子	女 子	1 年	2 年	3 年	
①	サンプル数	学年別	1. 1年	715	364	351			
			2. 2年	689	345	344			
			3. 3年	682	362	320			
	性別	1. 男子	1,071			364	345	362	
		2. 女子	1,015			351	344	320	
②	ふだんの朝の様子	起床時刻	1. 6時頃	6.2	6.9	5.5	8.4	7.3	2.8
			2. 6時半頃	22.9	18.5	27.5	26.5	23.1	18.9
			3. 7時頃	42.3	42.0	42.6	39.2	43.2	44.8
			4. 7時半頃	23.3	24.5	22.0	22.8	20.9	26.1
			5. 8時頃	5.3	8.1	2.4	3.1	5.5	7.4
		起き方	1. 自分で(1人でなんとなく目が覚める)	25.5	29.4	21.3	29.4	23.3	23.6
			2. 目覚まし時計で起きる	29.7	26.3	33.3	28.5	29.7	30.8
			3. 家の人に起こしてもらう	42.7	41.6	43.9	40.6	44.7	43.1
			4. その他	2.1	2.7	1.5	1.5	2.3	2.5
		目覚め	1. すっきりとさわやかに起きられる	3.5	4.3	2.7	3.9	3.2	3.4
			2. 少し眠いが起きれば大丈夫	53.6	50.3	57.0	53.8	52.6	54.5
			3. だるくて、しばらくボーっとしている	24.7	26.2	23.2	25.5	24.8	23.8
			4. なかなか起きられない	18.2	19.2	17.1	16.8	19.4	18.3
		朝食	1. 毎日必ず食べる	77.6	76.0	79.2	78.8	75.8	77.8
			2. 週に1、2度食べないことがある	6.6	7.2	6.0	6.5	6.6	6.9
			3. 食べたり、食べなかったりする	10.5	10.5	10.6	10.8	11.6	9.2
4. ほとんど食べない	5.3		6.3	4.2	3.9	6.0	6.1		
③	ふだんの放課後の生活	平日の勉強時間	1. ほとんどしない	18.1	22.1	13.9	17.7	19.9	16.7
			2. 30分未満	11.1	12.1	10.0	13.2	11.8	8.0
			3. 30分～1時間未満	21.8	23.2	20.2	27.8	24.6	12.5
			4. 1時間～2時間未満	27.1	24.0	30.7	28.7	26.8	26.2
			5. 2時間～3時間未満	15.9	13.3	18.5	9.8	14.0	24.1
			6. 3時間～4時間未満	4.6	3.6	5.6	2.0	1.9	10.1
			7. 4時間以上	1.4	1.7	1.1	0.8	1.0	2.4
		平日のテレビ視聴時間	1. ほとんど見ない	1.8	2.1	1.5	1.5	1.6	2.2
			2. 30分未満	1.1	1.4	0.8	0.7	1.3	1.3
			3. 30分～1時間未満	7.1	7.7	6.6	6.0	6.1	9.3
			4. 1時間～2時間未満	26.4	25.6	27.2	24.6	25.1	29.8
			5. 2時間～3時間未満	30.6	28.9	32.3	31.8	31.5	28.3
			6. 3時間以上	33.0	34.3	31.6	35.4	34.4	29.1
		学習塾など	1. 行っていない	49.7	51.7	47.5	51.6	44.2	53.4
			2. 週に1回行っている	7.6	8.0	7.1	8.0	7.6	7.0
			3. 週に2回行っている	24.6	21.7	27.5	27.5	27.4	18.6
			4. 週に3回行っている	11.2	10.7	11.8	8.6	14.2	11.0
			5. 週に4回行っている	4.4	4.4	4.4	2.8	4.3	6.2
			6. 週に5回行っている	1.8	2.4	1.3	1.4	1.9	2.2
			7. 週に6回行っている	0.3	0.4	0.2	0.1	0.1	0.6
			8. 週に7回行っている	0.4	0.7	0.2	0.0	0.3	1.0
		本屋	1. ほとんど毎日行く	1.8	2.2	1.5	1.4	2.5	1.6
			2. 2、3日に1回は行く	9.4	10.9	7.7	8.0	12.1	8.0
			3. 週に1回は行く	31.7	33.2	30.2	32.4	31.3	31.5
4. 月に1回は行く	42.8		38.0	47.6	43.3	39.0	45.9		
5. めったに行かない	11.9		12.2	11.7	13.2	11.7	10.8		
6. まったく行かない	2.4		3.5	1.3	1.7	3.4	2.2		

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全 体	性 別		学 年 別				
			男 子	女 子	1 年	2 年	3 年		
3	ふだんの放課後の生活へ行くか	ファーストフード店	1. ほとんど毎日行く	0.6	1.0	0.3	0.4	0.4	1.1
		2. 2、3日に1回は行く	2.0	2.8	1.1	2.0	1.9	2.0	
		3. 週に1回は行く	8.9	10.4	7.3	10.5	8.4	7.7	
		4. 月に1回は行く	29.4	25.9	33.2	31.2	31.9	25.1	
		5. めったに行かない	42.8	40.6	45.0	43.9	39.8	44.6	
		6. まったく行かない	16.3	19.3	13.1	12.0	17.6	19.5	
		コンビニ	1. ほとんど毎日行く	6.0	7.7	4.1	5.3	7.0	5.7
		2. 2、3日に1回は行く	14.2	17.0	11.2	12.3	15.5	14.8	
		3. 週に1回は行く	25.7	26.4	25.2	28.0	25.0	24.2	
		4. 月に1回は行く	22.3	19.4	25.2	23.3	22.8	20.7	
		5. めったに行かない	19.8	17.0	22.8	21.4	16.1	21.8	
		6. まったく行かない	12.0	12.5	11.5	9.7	13.6	12.8	
		レンタルビデオ店	1. ほとんど毎日行く	1.3	1.9	0.6	1.4	1.6	0.7
		2. 2、3日に1回は行く	3.2	4.2	2.1	3.2	3.7	2.5	
		3. 週に1回は行く	14.1	15.5	12.6	14.1	14.2	14.0	
		4. 月に1回は行く	31.0	29.3	32.8	28.3	31.1	33.7	
		5. めったに行かない	35.2	31.9	38.8	38.2	35.4	32.3	
		6. まったく行かない	15.2	17.2	13.1	14.8	14.0	16.8	
		雑貨屋	1. ほとんど毎日行く	1.4	1.9	0.8	2.0	1.3	0.7
		2. 2、3日に1回は行く	3.5	2.9	4.1	5.0	3.1	2.4	
		3. 週に1回は行く	20.0	12.5	27.8	24.0	19.9	15.7	
		4. 月に1回は行く	37.6	30.0	45.7	37.9	37.3	38.0	
		5. めったに行かない	30.0	40.1	19.5	25.3	30.3	34.5	
		6. まったく行かない	7.5	12.6	2.1	5.8	8.1	8.7	
		洋服屋	1. ほとんど毎日行く	0.6	0.8	0.4	0.7	0.9	0.1
		2. 2、3日に1回は行く	2.5	3.2	1.8	2.5	2.1	3.0	
		3. 週に1回は行く	13.7	10.4	17.2	16.8	13.2	11.0	
		4. 月に1回は行く	45.5	36.9	54.4	42.0	47.1	47.4	
		5. めったに行かない	27.7	33.6	21.4	27.5	25.4	30.2	
		6. まったく行かない	10.0	15.1	4.8	10.5	11.3	8.3	
		ブリクラ	1. ほとんど毎日行く	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.1
		2. 2、3日に1回は行く	1.2	0.4	2.0	2.0	0.7	0.7	
		3. 週に1回は行く	6.1	0.9	11.6	10.1	3.5	4.6	
		4. 月に1回は行く	18.4	6.7	30.7	19.1	18.9	17.1	
		5. めったに行かない	32.9	27.0	39.1	28.4	33.9	36.7	
		6. まったく行かない	41.1	64.7	16.2	40.0	42.6	40.8	
		カラオケ	1. ほとんど毎日行く	0.5	0.5	0.5	0.3	0.9	0.3
		2. 2、3日に1回は行く	0.4	0.1	0.7	0.3	0.4	0.4	
		3. 週に1回は行く	2.9	2.3	3.6	3.5	2.9	2.2	
		4. 月に1回は行く	23.1	18.8	27.7	18.6	28.6	22.4	
		5. めったに行かない	42.1	34.8	49.7	42.1	37.7	46.5	
		6. まったく行かない	31.0	43.5	17.8	35.2	29.5	28.2	
		ゲームセンター	1. ほとんど毎日行く	2.4	4.6	0.1	2.1	3.6	1.5
		2. 2、3日に1回は行く	2.9	5.3	0.5	3.2	3.5	2.1	
		3. 週に1回は行く	7.0	10.8	3.1	9.3	7.4	4.1	
		4. 月に1回は行く	15.0	19.6	10.2	19.4	12.0	13.5	
		5. めったに行かない	35.0	32.9	37.4	35.9	32.3	36.9	
		6. まったく行かない	37.7	26.8	48.7	30.1	41.2	41.9	

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	1年	2年	3年		
3	ふだんの放課後の生活	夜の外出 <small>だち一人あるいは友と外出すること</small>	1. ほとんど毎日	5.4	7.2	3.4	6.5	5.6	3.9
			2. 2、3日に1回くらい	15.4	15.5	15.3	13.5	18.9	13.8
			3. 週に1回くらい	16.1	14.5	17.8	16.6	16.4	15.1
			4. めったにない	33.3	34.4	32.2	30.6	31.2	38.4
			5. まったくない	29.8	28.4	31.3	32.8	27.9	28.8
		外出の理由(複数回答)	1. 塾などに通うため	37.6	35.8	39.5	33.7	43.5	35.6
			2. コンビニなどに行くため	21.2	23.1	19.3	18.9	23.4	21.6
			3. 友だちに会うため	13.4	14.2	12.5	10.6	13.4	16.3
			4. 気分転換のため	12.0	13.7	10.2	10.6	9.9	15.7
			5. なんとなく	11.2	12.4	9.9	10.6	11.6	11.3
			6. その他	11.4	12.8	10.0	13.4	11.3	9.4
		とおしゃべりをする	1. ほとんど毎日	7.3	4.6	10.1	7.9	7.3	6.6
	2. 2、3日に1回くらい		17.3	13.3	21.4	16.9	16.5	18.4	
	3. 週に1回くらい		32.5	27.0	38.4	32.9	31.2	33.5	
	4. めったにない		42.9	55.1	30.1	42.3	45.0	41.5	
	就寝時刻	1. 10時頃	6.6	7.7	5.4	10.8	6.3	2.5	
		2. 10時半頃	8.5	10.7	6.2	12.9	7.8	4.7	
		3. 11時頃	19.5	19.3	19.6	25.8	20.4	11.9	
		4. 11時半頃	21.3	17.9	24.9	23.7	21.0	18.9	
		5. 12時頃	19.9	20.1	19.9	13.7	20.1	26.1	
		6. 12時半頃	10.3	9.6	11.0	6.2	9.1	15.8	
7. 1時頃		6.9	7.4	6.4	3.4	6.9	10.8		
8. 1時半頃		4.3	4.2	4.4	2.1	4.4	6.6		
9. 2時すぎ		2.7	3.1	2.2	1.4	4.0	2.7		
4	現在の学校に通うのが楽しいか	1. とても楽しい	14.6	10.2	19.1	14.5	12.6	16.6	
		2. かなり楽しい	13.3	12.8	13.9	12.7	12.7	14.5	
		3. やや楽しい	23.3	24.4	22.0	26.7	22.0	21.0	
		4. ぶつうくらい	30.1	32.6	27.8	30.8	28.6	31.3	
		5. やや楽しくない	5.7	5.3	6.1	5.7	6.7	4.6	
		6. あまり楽しくない	7.1	8.0	6.1	5.5	9.5	6.3	
		7. ぜんぜん楽しくない	5.9	6.7	5.0	4.1	7.9	5.7	
5	部活動	1. 運動部で熱心に活動している	43.8	52.7	34.4	50.1	44.8	35.9	
		2. 運動部であまり熱心に活動していない	25.6	24.3	27.0	29.7	31.4	15.1	
		3. 文化部で熱心に活動している	7.7	2.7	13.0	8.2	7.7	7.2	
		4. 文化部であまり熱心に活動していない	6.1	3.4	8.9	6.6	6.6	5.0	
		5. 以前入っていたが、現在は入っていない	15.1	15.1	15.1	3.0	8.3	35.3	
		6. したことがない	1.7	1.8	1.6	2.4	1.2	1.5	
6	授業内容の理解	国語	1. 全部わかる	7.1	7.0	7.0	7.4	6.0	7.8
			2. 7割くらいわかる	35.4	33.4	37.7	38.1	29.4	38.7
			3. 半分くらいわかる	35.4	33.5	37.5	36.3	34.7	35.3
			4. 3割くらいわかる	16.5	19.1	13.7	13.3	22.0	14.1
			5. ほとんどわからない	5.6	7.0	4.1	4.9	7.9	4.1
		数学	1. 全部わかる	10.8	16.6	4.6	10.1	10.3	11.9
			2. 7割くらいわかる	26.9	30.0	23.6	29.8	25.2	25.4
			3. 半分くらいわかる	31.0	25.8	36.5	29.7	34.0	29.5
			4. 3割くらいわかる	21.4	18.3	24.7	20.6	19.1	24.6
			5. ほとんどわからない	9.9	9.3	10.6	9.8	11.4	8.6
		英語	1. 全部わかる	12.5	13.2	11.7	15.3	10.4	11.5
			2. 7割くらいわかる	27.0	23.3	30.8	30.2	24.6	26.1
			3. 半分くらいわかる	27.7	25.4	30.2	25.6	28.8	29.1
			4. 3割くらいわかる	20.4	20.9	19.9	19.5	20.8	20.8
			5. ほとんどわからない	12.4	17.2	7.4	9.4	15.4	12.5

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	1年	2年	3年		
7	数学や英語の授業のときの気持ち	する る 気 が	1. とてもそう	5.7	7.1	4.3	5.6	6.2	5.5
			2. かなりそう	26.1	30.0	22.0	26.5	28.2	23.6
			3. あまりそうでない	56.5	51.5	61.7	57.0	53.6	58.8
			4. ぜんぜんそうでない	11.7	11.4	12.0	10.9	12.0	12.1
		て興 味 が も	1. とてもそう	7.9	9.6	6.1	7.6	8.7	7.5
			2. かなりそう	26.8	30.9	22.5	25.2	28.4	26.7
			3. あまりそうでない	50.8	46.7	55.1	53.2	47.7	51.5
			4. ぜんぜんそうでない	14.5	12.8	16.3	14.0	15.2	14.3
		しば ん や り	1. とてもそう	8.8	8.2	9.5	7.4	9.1	10.1
			2. かなりそう	27.7	25.6	30.0	27.2	26.1	29.9
			3. あまりそうでない	52.5	53.2	51.7	52.9	53.3	51.0
			4. ぜんぜんそうでない	11.0	13.0	8.8	12.5	11.5	9.0
	気 持 ち な	1. とてもそう	7.0	6.9	7.1	6.2	8.7	6.2	
		2. かなりそう	19.3	17.0	21.7	19.2	17.1	21.5	
		3. あまりそうでない	55.9	57.7	54.0	56.5	54.9	56.3	
		4. ぜんぜんそうでない	17.8	18.4	17.2	18.1	19.3	16.0	
	て早 く し ま わ る	1. とてもそう	25.8	26.3	25.2	25.0	26.6	25.7	
		2. かなりそう	27.9	25.6	30.3	29.2	24.0	30.3	
		3. あまりそうでない	36.9	37.7	36.1	36.3	39.3	35.4	
		4. ぜんぜんそうでない	9.4	10.4	8.4	9.5	10.1	8.6	
8	将来の 見 通 し	入望 み の 高 校 に	1. きっとできる	22.7	27.0	18.1	10.8	13.5	44.7
			2. たぶんできる	23.1	24.5	21.7	21.5	26.1	21.8
			3. 半分半分	38.4	32.1	45.0	46.0	42.6	25.9
			4. たぶん無理	11.9	12.7	11.1	17.3	13.2	4.9
			5. ぜんぜん無理	3.3	2.7	3.9	3.8	4.2	1.8
			6. 進学するつもりはない	0.6	1.0	0.2	0.6	0.4	0.9
		入望 み の 大 学 に	1. きっとできる	7.4	9.8	4.9	4.8	4.6	13.0
			2. たぶんできる	13.1	14.3	11.8	10.7	11.9	16.7
			3. 半分半分	35.8	30.5	41.2	33.8	37.3	36.2
			4. たぶん無理	13.0	12.7	13.4	19.0	11.6	8.1
			5. ぜんぜん無理	4.6	4.5	4.8	6.2	5.3	2.4
			6. 進学するつもりはない	26.1	28.2	23.9	25.5	29.3	23.6
	つ望 み の し ごと に	1. きっとできる	16.0	18.7	13.2	12.4	12.8	23.0	
		2. たぶんできる	18.8	19.8	17.7	18.9	17.4	20.1	
		3. 半分半分	46.9	44.5	49.3	46.5	47.9	46.1	
		4. たぶん無理	15.1	13.5	16.8	19.1	16.9	9.2	
	つ幸 せ な 家 庭 を	1. きっとできる	22.1	20.5	23.8	16.1	22.6	27.9	
		2. たぶんできる	23.3	21.3	25.3	26.4	21.3	22.0	
		3. 半分半分	41.1	41.0	41.3	43.3	39.8	40.1	
		4. たぶん無理	9.0	11.0	6.8	10.7	9.8	6.3	
5. ぜんぜん無理		4.5	6.2	2.8	3.5	6.5	3.7		
が社 会 的 な 活 躍	1. きっとできる	13.0	15.5	10.2	9.1	13.1	16.8		
	2. たぶんできる	18.2	19.6	16.8	19.0	16.0	19.7		
	3. 半分半分	45.4	43.4	47.8	45.8	44.0	46.4		
	4. たぶん無理	17.4	15.6	19.1	20.7	18.5	12.8		
	5. ぜんぜん無理	6.0	5.9	6.1	5.4	8.4	4.3		

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全 体	性 別		学 年 別				
			男 子	女 子	1 年	2 年	3 年		
9	学校によく持っていくもの (複数回答)	1.リップクリーム	50.7	22.1	80.9	44.6	53.8	54.1	
		2.ポケベル	3.2	3.5	3.0	1.7	3.9	4.1	
		3.携帯電話・PHS	2.0	3.0	0.9	0.3	2.3	3.4	
		4.腕時計	13.3	12.5	14.2	10.2	13.9	16.0	
		5.マンガ	9.9	8.3	11.6	11.2	9.0	9.5	
		6.雑誌	12.1	8.6	15.9	11.0	11.5	13.9	
		7.電子ゲーム	3.7	6.3	1.0	3.8	5.1	2.3	
		8.参考書	10.3	10.7	9.9	8.0	9.0	14.1	
		9.小説などの本	10.7	10.6	10.8	12.4	8.4	11.3	
		10.ブラシ	29.0	6.9	52.3	29.2	28.6	29.2	
		11.手帳	29.8	15.4	44.9	37.4	25.5	26.0	
10	次のような友だちがどれくらいいるか	り一緒におしゃべりする友だち	1.たくさんいる	63.1	62.8	63.4	60.8	65.1	63.4
		2.5、6人いる	25.5	25.4	25.6	27.7	23.5	25.3	
		3.2、3人いる	9.3	8.9	9.7	9.7	9.3	8.8	
		4.1人いる	1.1	1.2	1.0	0.8	1.2	1.3	
		5.いない	1.0	1.7	0.3	1.0	0.9	1.2	
	り忘れ物を貸し借りできる友だち	1.たくさんいる	49.7	50.3	49.1	48.0	47.7	53.8	
	2.5、6人いる	28.8	25.8	32.0	27.6	32.5	26.3		
	3.2、3人いる	17.7	18.3	17.1	19.4	16.5	17.1		
	4.1人いる	1.4	1.6	1.2	2.2	0.7	1.2		
	5.いない	2.4	4.0	0.6	2.8	2.6	1.6		
	り遊ぶにだるい友だち	1.たくさんいる	29.7	32.8	26.5	29.7	30.6	28.9	
	2.5、6人いる	36.2	34.5	37.6	36.9	37.5	33.7		
	3.2、3人いる	26.4	23.5	29.5	26.5	23.2	29.6		
	4.1人いる	2.8	2.4	3.4	2.5	3.1	2.9		
	5.いない	4.9	6.8	3.0	4.4	5.6	4.9		
	れ一緒に楽しむ友だち	1.たくさんいる	35.7	31.6	40.0	31.7	34.6	41.3	
	2.5、6人いる	28.3	27.6	29.0	29.7	28.8	26.2		
	3.2、3人いる	25.3	26.4	24.1	26.4	25.7	23.5		
	4.1人いる	3.6	3.7	3.6	4.5	3.4	3.0		
	5.いない	7.1	10.7	3.3	7.7	7.5	6.0		
	て落ち込んでいる友だち	1.たくさんいる	18.6	18.3	18.8	16.7	17.6	21.5	
	2.5、6人いる	24.2	20.9	27.6	25.2	24.3	23.0		
	3.2、3人いる	36.8	33.7	40.2	35.9	37.6	37.1		
	4.1人いる	7.3	6.7	7.9	7.9	6.3	7.7		
	5.いない	13.1	20.4	5.5	14.3	14.2	10.7		
	れ悪いことをした友だち	1.たくさんいる	13.2	13.0	13.5	10.0	14.8	15.1	
	2.5、6人いる	16.2	14.9	17.5	15.8	16.0	16.7		
	3.2、3人いる	37.3	32.8	42.1	38.7	37.6	35.8		
	4.1人いる	11.7	10.5	12.9	11.4	10.1	13.5		
	5.いない	21.6	28.8	14.0	24.1	21.5	18.9		
	談話できる友だち	1.たくさんいる	10.4	11.0	9.8	8.8	9.8	12.8	
	2.5、6人いる	12.7	13.3	12.0	12.4	13.0	12.6		
	3.2、3人いる	36.5	29.3	44.1	36.2	34.4	39.1		
	4.1人いる	16.7	11.8	21.6	16.8	18.1	15.0		
	5.いない	23.7	34.6	12.5	25.8	24.7	20.5		
そ生涯、つきあえる友だち	1.たくさんいる	21.0	23.5	18.4	18.3	20.1	24.7		
2.5、6人いる	22.2	20.2	24.3	23.7	21.9	20.8			
3.2、3人いる	34.2	31.3	37.1	34.5	33.6	34.6			
4.1人いる	10.0	8.6	11.6	11.4	10.2	8.5			
5.いない	12.6	16.4	8.6	12.1	14.2	11.4			

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全 体	性 別		学 年 別				
			男 子	女 子	1 年	2 年	3 年		
11	次のようなことがあてはまるか	けに友 なつだ いいち ての い話	1. とてもそう	3.0	3.7	2.3	2.9	3.3	2.7
			2. かなりそう	8.9	9.0	8.8	9.4	9.9	7.4
			3. あまりそうでない	56.4	57.9	54.8	57.4	53.6	58.2
			4. ぜんぜんそうでない	31.7	29.4	34.1	30.3	33.2	31.7
		に立ク したラ てなス いで いる よう は目	1. とてもそう	7.6	9.8	5.3	6.0	10.0	6.8
			2. かなりそう	16.5	17.3	15.7	16.0	18.2	15.3
			3. あまりそうでない	52.9	50.5	55.3	53.6	51.3	53.7
			4. ぜんぜんそうでない	23.0	22.4	23.7	24.4	20.5	24.2
		話本仲 せ言が ないや 悩よく みはく ても	1. とてもそう	10.4	11.2	9.5	10.1	11.7	9.6
			2. かなりそう	20.8	22.3	19.3	22.7	20.0	19.7
			3. あまりそうでない	44.6	46.0	43.0	43.0	42.3	48.2
			4. ぜんぜんそうでない	24.2	20.5	28.2	24.2	26.0	22.5
		るを友 と思言 うだち われに て陰 て口	1. とてもそう	12.9	11.8	14.1	13.9	14.1	10.6
			2. かなりそう	23.0	19.7	26.4	27.8	19.0	22.0
			3. あまりそうでない	50.9	53.1	48.6	46.7	54.1	52.2
			4. ぜんぜんそうでない	13.2	15.4	10.9	11.6	12.8	15.2
りもケ がでン す力 くを 仲し 直て	1. とてもそう	28.3	28.3	28.2	28.4	30.6	25.8		
	2. かなりそう	44.2	43.8	44.7	44.4	43.5	44.8		
	3. あまりそうでない	21.7	21.6	21.8	21.6	20.2	23.3		
	4. ぜんぜんそうでない	5.8	6.3	5.3	5.6	5.7	6.1		
い気誘 このわ はすれ 断す まても	1. とてもそう	23.7	23.3	24.2	22.4	25.4	23.5		
	2. かなりそう	36.3	36.4	36.1	36.3	34.6	37.7		
	3. あまりそうでない	33.2	33.1	33.3	34.8	32.6	32.2		
	4. ぜんぜんそうでない	6.8	7.2	6.4	6.5	7.4	6.6		
12	とじク と思ラ うがス かある に	1. かなりある	6.7	7.6	5.6	7.6	8.8	3.4	
		2. 少しある	32.7	33.1	32.2	41.4	35.3	20.7	
		3. ほとんどない	35.0	33.1	37.3	31.7	31.1	42.8	
		4. まったくない	25.6	26.2	24.9	19.3	24.8	33.1	
13	次のようなものをどれくらいほしいか	自分の部屋	1. とてもほしい	24.5	23.6	25.4	27.5	26.3	19.4
			2. かなりほしい	6.5	7.5	5.5	6.7	5.8	7.1
			3. あまりほしくない	2.6	2.9	2.3	2.7	2.3	2.8
			4. ぜんぜんほしくない	0.8	0.9	0.6	1.0	0.6	0.7
			5. もう持っている	65.6	65.1	66.2	62.1	65.0	70.0
		テレビ専用の	1. とてもほしい	38.9	40.5	37.3	44.4	39.4	32.6
			2. かなりほしい	16.2	12.6	20.1	13.8	16.8	18.1
			3. あまりほしくない	11.0	7.5	14.7	11.7	10.1	11.2
			4. ぜんぜんほしくない	3.6	2.4	4.7	3.1	3.4	4.3
			5. もう持っている	30.3	37.0	23.2	27.0	30.3	33.8
		コンパオ	1. とてもほしい	26.1	27.6	24.5	26.8	25.5	25.9
			2. かなりほしい	13.0	11.1	15.0	13.3	12.6	13.0
			3. あまりほしくない	15.0	15.8	14.3	19.1	14.9	10.9
			4. ぜんぜんほしくない	6.7	7.8	5.6	8.8	5.4	5.7
			5. もう持っている	39.2	37.7	40.6	32.0	41.6	44.5
		ポケベル	1. とてもほしい	20.0	16.7	23.5	22.6	20.7	16.6
			2. かなりほしい	16.1	10.6	21.8	16.3	15.5	16.3
			3. あまりほしくない	31.1	31.7	30.8	31.5	30.1	32.0
			4. ぜんぜんほしくない	27.0	35.6	17.8	26.2	28.6	26.2
			5. もう持っている	5.8	5.4	6.1	3.4	5.1	8.9

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	1年	2年	3年		
13	次のようなものをどれくらいほしいか	PHS 携帯電話・	1. とてもほしい	28.7	27.1	30.1	28.9	28.7	28.4
			2. かなりほしい	18.9	16.4	21.6	21.0	16.8	18.7
			3. あまりほしくない	28.2	28.3	28.2	27.6	30.4	26.7
			4. ぜんぜんほしくない	20.0	23.6	16.2	20.3	20.2	19.6
			5. もう持っている	4.2	4.6	3.9	2.2	3.9	6.6
		パソコン	1. とてもほしい	30.0	33.1	26.8	29.2	28.4	32.5
			2. かなりほしい	19.0	19.0	18.9	20.0	18.3	18.7
			3. あまりほしくない	23.1	20.1	26.3	23.9	24.7	20.6
			4. ぜんぜんほしくない	14.6	14.4	14.9	14.1	15.1	14.7
			5. もう持っている	13.3	13.4	13.1	12.8	13.5	13.5
		テレビゲーム機	1. とてもほしい	19.1	25.0	12.8	20.6	19.9	16.5
			2. かなりほしい	9.9	10.0	9.7	8.6	10.1	11.0
			3. あまりほしくない	13.8	8.5	19.5	14.7	12.5	14.1
			4. ぜんぜんほしくない	17.0	5.8	28.7	14.7	17.3	19.0
			5. もう持っている	40.2	50.7	29.3	41.4	40.2	39.4
		プレミアアのつく ようなシューズ	1. とてもほしい	16.7	24.2	8.8	18.6	17.2	14.2
			2. かなりほしい	12.9	15.4	10.3	14.8	11.2	12.7
			3. あまりほしくない	31.9	27.3	36.8	32.4	31.6	31.9
			4. ぜんぜんほしくない	32.3	23.0	42.0	28.7	33.0	35.2
			5. もう持っている	6.2	10.1	2.1	5.5	7.0	6.0
14	次のようなことをしたいと思うか	パーマをかける	1. とてもしたい	5.4	2.3	8.7	3.9	4.4	8.1
			2. かなりしたい	6.0	2.5	9.6	2.8	6.7	8.5
			3. あまりしたくない	23.1	14.9	31.8	23.0	21.7	24.5
			4. ぜんぜんしたくない	64.4	78.8	49.3	69.9	65.5	57.9
			5. もうしている	1.1	1.5	0.6	0.4	1.7	1.0
		髪の色を脱色し 染める	1. とてもしたい	15.3	12.6	18.3	14.7	14.8	16.5
			2. かなりしたい	21.0	16.2	26.1	18.8	20.2	24.2
			3. あまりしたくない	26.3	26.6	26.1	26.5	25.0	27.5
			4. ぜんぜんしたくない	33.7	41.2	25.6	37.5	34.9	28.4
			5. もうしている	3.7	3.4	3.9	2.5	5.1	3.4
		すまゆ毛を細く する	1. とてもしたい	6.5	4.8	8.4	6.4	5.1	8.1
			2. かなりしたい	12.9	8.9	17.0	13.3	12.3	13.0
			3. あまりしたくない	30.8	27.2	34.7	27.7	31.7	33.1
			4. ぜんぜんしたくない	39.4	53.7	24.2	44.8	37.7	35.3
			5. もうしている	10.4	5.4	15.7	7.8	13.2	10.5
		ピアスをする	1. とてもしたい	16.0	10.3	22.0	16.2	13.8	17.9
			2. かなりしたい	16.9	13.1	20.9	14.3	17.8	18.8
			3. あまりしたくない	24.2	21.3	27.4	23.0	22.7	27.1
			4. ぜんぜんしたくない	40.7	53.7	26.9	45.5	42.1	34.3
			5. もうしている	2.2	1.6	2.8	1.0	3.6	1.9
		すだいエットを する	1. とてもしたい	16.5	6.8	26.7	14.1	15.0	20.6
			2. かなりしたい	15.6	7.3	24.2	15.5	14.5	16.6
			3. あまりしたくない	27.1	26.2	28.0	30.2	26.7	24.2
			4. ぜんぜんしたくない	37.9	58.8	16.2	38.4	39.3	36.4
			5. もうしている	2.9	0.9	4.9	1.8	4.5	2.2
		(女子のみ) スリソックスをはく	1. とてもしたい	9.1		9.1	9.0	6.3	14.6
			2. かなりしたい	19.6		19.6	18.9	13.1	20.6
			3. あまりしたくない	30.2		30.2	32.8	28.5	20.9
4. ぜんぜんしたくない	19.1			19.1	24.8	29.6	19.0		
5. もうしている	22.0			22.0	14.5	22.5	24.9		

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全 体	性 別		学 年 別			
			男 子	女 子	1 年	2 年	3 年	
14	次のようなことを したいと思うか (男子のみ) ズリパン・歩く スタイルで歩く	1. とてもしたい	2.0	2.0		3.3	2.0	1.4
		2. かなりしたい	5.3	5.3		6.5	4.8	4.1
		3. あまりしたくない	31.9	31.9		28.5	30.3	35.8
		4. ぜんぜんしたくない	55.0	55.0		56.0	55.0	54.1
		5. もうしている	5.8	5.8		5.7	7.9	4.6
15	自分にあてはまるか 買ってはみる 情報誌がある 曲が新しい か・ドラマは欠 集めてはみる 服をはきに行く 詳しいに のお店に行く あし海外旅行 とり魚をとつた た果物をた 歩んはいた いた中 ことをた	1. とてそう	15.0	16.2	13.6	14.4	16.8	13.7
		2. かなりそう	23.0	20.6	25.6	25.4	21.3	22.4
		3. あまりそうでない	46.2	45.6	47.0	47.6	45.9	45.1
		4. ぜんぜんそうでない	15.8	17.6	13.8	12.6	16.0	18.8
		1. とてそう	35.4	26.8	44.5	32.7	35.0	38.5
		2. かなりそう	20.0	18.7	21.4	19.6	18.7	21.8
		3. あまりそうでない	24.2	28.4	19.8	26.2	24.1	22.2
		4. ぜんぜんそうでない	20.4	26.1	14.3	21.5	22.2	17.5
		1. とてそう	17.4	11.2	23.9	17.7	19.6	14.9
		2. かなりそう	24.2	19.8	28.9	21.5	25.3	26.0
		3. あまりそうでない	39.8	43.5	36.0	40.7	37.7	40.9
		4. ぜんぜんそうでない	18.6	25.5	11.2	20.1	17.4	18.2
		1. とてそう	18.9	12.9	25.2	18.6	22.9	15.1
		2. かなりそう	27.4	20.8	34.3	25.8	26.2	30.2
		3. あまりそうでない	36.3	43.7	28.7	37.7	33.9	37.5
		4. ぜんぜんそうでない	17.4	22.6	11.8	17.9	17.0	17.2
		1. とてそう	10.5	1.1	20.4	15.3	7.0	9.1
		2. かなりそう	10.8	1.7	20.3	10.4	11.8	10.1
		3. あまりそうでない	26.2	19.0	33.8	23.2	26.5	29.1
		4. ぜんぜんそうでない	52.5	78.2	25.5	51.1	54.7	51.7
		1. とてそう	11.2	8.7	13.8	12.1	12.5	9.0
		2. かなりそう	21.5	16.7	26.7	19.2	22.3	23.2
		3. あまりそうでない	44.6	45.1	44.0	43.8	43.5	46.5
		4. ぜんぜんそうでない	22.7	29.5	15.5	24.9	21.7	21.3
		1. とてそう	4.5	5.3	3.7	3.7	5.0	4.8
		2. かなりそう	10.1	10.5	9.7	8.3	9.8	12.3
		3. あまりそうでない	37.9	30.9	45.4	39.2	36.9	37.6
		4. ぜんぜんそうでない	47.5	53.3	41.2	48.8	48.3	45.3
1. とてそう	23.6	20.7	26.7	27.3	24.5	18.9		
2. かなりそう	22.0	21.1	22.9	21.6	19.1	25.2		
3. あまりそうでない	34.6	32.4	36.8	32.2	35.6	36.1		
4. ぜんぜんそうでない	19.8	25.8	13.6	18.9	20.8	19.8		
1. 何回もある	3.6	4.4	2.7	2.6	5.8	2.4		
2. 2、3回ある	3.4	3.9	3.0	2.8	3.9	3.5		
3. 1回ある	11.7	10.3	13.2	11.3	11.1	12.7		
4. まだない	81.3	81.4	81.1	83.3	79.2	81.4		
1. しょっちゅうしている	6.0	9.9	2.0	5.6	6.0	6.5		
2. 何回かしている	41.6	47.4	35.2	41.5	41.1	41.9		
3. あまりしたことはない	32.2	28.4	36.3	31.5	30.6	34.7		
4. ぜんぜんしたことはない	20.2	14.3	26.5	21.4	22.3	16.9		
1. しょっちゅうしている	1.7	2.8	0.5	1.0	2.3	1.8		
2. 何回かしている	23.6	27.0	19.9	25.6	19.5	25.6		
3. あまりしたことはない	26.2	27.8	24.5	25.2	24.0	29.4		
4. ぜんぜんしたことはない	48.5	42.4	55.1	48.2	54.2	43.2		

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	1年	2年	3年		
16	夜の空の星座をながめたこと	1. しょっちゅうしている	19.7	17.0	22.5	16.5	20.5	22.3	
		2. 何回かしている	49.9	48.5	51.5	52.4	48.3	49.0	
		3. あまりしたことはない	23.3	25.0	21.5	23.5	23.7	22.7	
		4. ぜんぜんしたことはない	7.1	9.5	4.5	7.6	7.5	6.0	
	抱赤とこしんたを	1. しょっちゅうしている	10.8	7.2	14.6	10.2	12.7	9.4	
		2. 何回かしている	45.9	38.2	53.8	45.2	45.0	47.4	
		3. あまりしたことはない	24.7	27.7	21.6	23.5	26.1	24.6	
		4. ぜんぜんしたことはない	18.6	26.9	10.0	21.1	16.2	18.6	
	取っ細か合	1. しょっちゅうしている	5.0	5.4	4.5	5.9	5.5	3.4	
		2. 何回かしている	26.5	32.3	20.5	26.6	25.2	27.8	
		3. あまりしたことはない	38.2	42.0	34.2	38.3	37.4	38.8	
		4. ぜんぜんしたことはない	30.3	20.3	40.8	29.2	31.9	30.0	
	お年寄や身の世話をした	1. しょっちゅうしている	5.8	5.5	6.0	4.9	7.0	5.4	
		2. 何回かしている	28.9	25.4	32.5	26.5	29.9	30.2	
		3. あまりしたことはない	44.0	43.9	44.3	44.1	42.4	45.9	
		4. ぜんぜんしたことはない	21.3	25.2	17.2	24.5	20.7	18.5	
お米を炊いた	1. しょっちゅうしている	20.5	12.3	29.2	17.6	22.4	21.7		
	2. 何回かしている	45.9	42.2	49.8	45.0	48.3	44.3		
	3. あまりしたことはない	22.6	28.0	16.8	24.6	20.3	22.8		
	4. ぜんぜんしたことはない	11.0	17.5	4.2	12.8	9.0	11.2		
自分のシャツにアイロンをかけた	1. しょっちゅうしている	12.0	5.5	18.8	9.7	13.0	13.4		
	2. 何回かしている	33.8	25.4	42.4	33.7	34.0	33.6		
	3. あまりしたことはない	31.0	33.3	28.7	32.3	29.3	31.4		
	4. ぜんぜんしたことはない	23.2	35.8	10.1	24.3	23.7	21.6		
家の手伝いを進んで	1. しょっちゅうしている	19.5	12.5	26.9	17.8	19.7	21.1		
	2. 何回かしている	40.0	34.7	45.5	40.4	41.7	37.8		
	3. あまりしたことはない	31.2	38.9	23.2	31.2	29.0	33.5		
	4. ぜんぜんしたことはない	9.3	13.9	4.4	10.6	9.6	7.6		
ビデオ録画を留	1. しょっちゅうしている	38.7	35.1	42.6	31.0	40.4	45.3		
	2. 何回かしている	26.3	29.3	23.1	27.5	26.5	24.7		
	3. あまりしたことはない	15.1	15.6	14.6	17.6	15.1	12.4		
	4. ぜんぜんしたことはない	19.9	20.0	19.7	23.9	18.0	17.6		
電子レンジで温めて食べた	1. しょっちゅうしている	48.5	44.2	53.1	43.4	50.8	51.6		
	2. 何回かしている	35.9	37.8	33.8	41.1	33.1	33.2		
	3. あまりしたことはない	9.9	11.0	8.7	9.3	9.8	10.6		
	4. ぜんぜんしたことはない	5.7	7.0	4.4	6.2	6.3	4.6		
ファックスを送った	1. しょっちゅうしている	5.7	4.2	7.2	3.9	8.4	4.7		
	2. 何回かしている	10.7	9.5	12.0	10.8	13.0	8.4		
	3. あまりしたことはない	15.0	14.6	15.4	14.6	14.8	15.5		
	4. ぜんぜんしたことはない	68.6	71.7	65.4	70.7	63.8	71.4		
17	次のような考え方に思っているか	くばコッわれるコキツとむれ	1. とてもそう思う	41.6	42.3	40.9	34.6	43.5	47.1
		2. わりとそう思う	40.2	38.6	41.9	44.7	38.0	37.6	
		3. あまりそう思わない	13.8	13.3	14.2	16.6	12.7	11.9	
		4. ぜんぜんそう思わない	4.4	5.8	3.0	4.1	5.8	3.4	
	自分がよけ	1. とてもそう思う	9.3	12.6	5.8	8.9	9.6	9.4	
		2. わりとそう思う	21.0	22.7	19.3	17.9	21.7	23.6	
		3. あまりそう思わない	51.2	49.9	52.5	54.2	51.1	48.3	
		4. ぜんぜんそう思わない	18.5	14.8	22.4	19.0	17.6	18.7	
	要領のいす	1. とてもそう思う	26.8	28.5	25.1	18.7	30.8	31.3	
		2. わりとそう思う	37.9	37.3	38.5	34.7	38.2	40.9	
		3. あまりそう思わない	28.1	26.7	29.6	37.7	24.1	22.1	
		4. ぜんぜんそう思わない	7.2	7.5	6.8	8.9	6.9	5.7	

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	1年	2年	3年		
17	次のような考え方についてどう思うか	将来のため努力をすべき	1. とてもそう思う	24.2	26.4	21.8	22.3	27.0	23.5
			2. わりとそう思う	35.5	36.0	35.0	34.7	33.6	38.1
			3. あまりそう思わない	33.1	30.2	36.3	34.7	32.5	32.1
			4. ぜんぜんそう思わない	7.2	7.4	6.9	8.3	6.9	6.3
		学歴が社会の	1. とてもそう思う	17.0	17.9	16.0	13.5	17.3	20.4
			2. わりとそう思う	25.4	26.4	24.3	22.7	26.1	27.5
			3. あまりそう思わない	39.4	38.0	40.9	45.7	37.6	34.6
			4. ぜんぜんそう思わない	18.2	17.7	18.8	18.1	19.0	17.5
		お世の中は	1. とてもそう思う	27.3	33.6	20.8	24.3	30.2	27.5
			2. わりとそう思う	30.8	30.5	31.1	30.4	29.0	33.0
			3. あまりそう思わない	29.6	25.4	33.9	31.9	27.7	29.1
			4. ぜんぜんそう思わない	12.3	10.5	14.2	13.4	13.1	10.4
		仕事に打ち込みたい	1. とてもそう思う	23.6	30.9	15.8	22.8	25.4	22.6
			2. わりとそう思う	33.2	37.4	28.8	34.1	30.9	34.6
			3. あまりそう思わない	34.0	24.0	44.7	34.6	33.0	34.4
			4. ぜんぜんそう思わない	9.2	7.7	10.7	8.5	10.7	8.4
子どもができて女性が働き続けるべき	1. とてもそう思う	12.3	7.3	17.5	11.5	13.6	11.6		
	2. わりとそう思う	23.8	18.5	29.3	22.0	24.7	24.7		
	3. あまりそう思わない	48.3	53.4	43.0	50.4	44.9	49.7		
	4. ぜんぜんそう思わない	15.6	20.8	10.2	16.1	16.8	14.0		
男性も家事育児をするべき	1. とてもそう思う	32.1	21.6	43.1	27.9	34.1	34.6		
	2. わりとそう思う	39.8	41.9	37.6	39.0	39.0	41.5		
	3. あまりそう思わない	21.6	27.1	15.8	25.2	20.5	18.8		
	4. ぜんぜんそう思わない	6.5	9.4	3.5	7.9	6.4	5.1		
18	今住んでいるところからどこで住みたいか	1. 生まれたときから	54.6	52.9	56.2	54.2	55.2	54.3	
		2. 幼い頃(小学生になる前)から	25.4	26.4	24.3	25.2	25.9	25.0	
		3. 小学生の頃から	15.2	15.4	15.1	16.4	14.2	15.0	
		4. 中学生になってから	4.8	5.3	4.4	4.2	4.7	5.7	
19	自分にあてはまるか	近所の人と会う	1. とてもそう	33.3	28.9	37.8	29.6	34.5	35.9
			2. わりとそう	42.5	42.5	42.4	43.3	40.6	43.5
			3. あまりそうでない	20.0	23.2	16.7	22.9	20.1	16.9
			4. ぜんぜんそうでない	4.2	5.4	3.1	4.2	4.8	3.7
		近所の人によく知られている	1. とてもそう	26.0	25.9	26.2	25.6	26.1	26.4
			2. わりとそう	46.2	45.6	46.8	48.2	44.1	46.3
			3. あまりそうでない	23.8	24.2	23.4	22.5	25.0	23.9
			4. ぜんぜんそうでない	4.0	4.3	3.6	3.7	4.8	3.4
		近所の人をよく知っている	1. とてもそう	17.0	16.6	17.3	16.3	18.9	15.8
			2. わりとそう	37.6	37.3	38.1	40.4	35.2	37.3
			3. あまりそうでない	36.5	36.7	36.3	33.9	36.5	39.1
			4. ぜんぜんそうでない	8.9	9.4	8.3	9.4	9.4	7.8
		近所の人とよく話せる	1. とてもそう	9.1	8.9	9.3	7.6	11.4	8.3
			2. わりとそう	35.7	32.0	39.6	35.1	35.0	37.2
			3. あまりそうでない	40.2	41.6	38.6	42.7	36.8	40.9
			4. ぜんぜんそうでない	15.0	17.5	12.5	14.6	16.8	13.6
悪いことをした	1. とてもそう	13.8	15.8	11.7	13.7	15.6	12.2		
	2. わりとそう	35.6	35.9	35.3	36.6	35.1	35.0		
	3. あまりそうでない	35.7	33.8	37.7	35.2	34.7	37.2		
	4. ぜんぜんそうでない	14.9	14.5	15.3	14.5	14.6	15.6		
20	住んでいるまちについて	1. とてもそう	33.4	31.9	35.0	29.6	31.5	39.4	
		2. わりとそう	43.4	42.8	44.0	42.3	45.1	42.9	
		3. あまりそうでない	18.5	19.8	17.1	22.3	19.2	13.7	
		4. ぜんぜんそうでない	4.7	5.5	3.9	5.8	4.2	4.0	

資料2 学年・性別集計表

質問項目			全 体	性 別		学 年 別			
				男 子	女 子	1 年	2 年	3 年	
20	住んでいる「まち」について	お祭りなどの盛んな行事が行われるなど	1. とてもそう	27.4	27.0	27.7	22.7	32.1	27.4
			2. わりとそう	44.6	43.5	45.6	46.6	40.3	46.8
			3. あまりそうでない	22.9	23.9	22.0	25.3	21.9	21.5
			4. ぜんぜんそうでない	5.1	5.6	4.7	5.4	5.7	4.3
		く親切さを感じる人がいる	1. とてもそう	18.7	18.8	18.6	18.6	19.5	18.0
			2. わりとそう	50.2	46.7	53.8	51.0	47.5	51.9
			3. あまりそうでない	25.2	26.8	23.6	23.7	26.7	25.4
			4. ぜんぜんそうでない	5.9	7.7	4.0	6.7	6.3	4.7
		いそみうになし忙しい	1. とてもそう	6.4	7.6	5.2	6.0	7.9	5.5
			2. わりとそう	28.6	27.0	30.3	30.6	30.3	24.8
			3. あまりそうでない	56.5	55.7	57.4	55.2	52.9	61.4
			4. ぜんぜんそうでない	8.5	9.7	7.1	8.2	8.9	8.3
さ所楽が楽しめる場所	1. とてもそう	10.8	12.4	9.2	11.9	13.5	6.9		
	2. わりとそう	20.9	22.8	19.0	26.0	18.9	17.6		
	3. あまりそうでない	44.4	42.8	45.9	43.3	40.4	49.5		
	4. ぜんぜんそうでない	23.9	22.0	25.9	18.8	27.2	26.0		
つが新しく入る	1. とてもそう	3.9	4.3	3.4	4.5	4.4	2.7		
	2. わりとそう	11.6	11.7	11.5	10.9	14.2	9.7		
	3. あまりそうでない	49.8	50.9	48.7	54.4	45.6	49.3		
	4. ぜんぜんそうでない	34.7	33.1	36.4	30.2	35.8	38.3		
21	い機か大会はかどれへ行くらくや	1. ほとんど毎日ある	1.0	1.4	0.5	0.8	1.5	0.6	
		2. 2、3日に1回はある	1.7	1.7	1.7	2.8	1.0	1.2	
		3. 週に1回はある	9.7	9.3	9.9	15.3	7.0	6.5	
		4. 月に1回はある	36.6	35.7	37.6	33.1	38.3	38.5	
		5. めったにない	51.0	51.9	50.3	48.0	52.2	53.2	
22	がい自かまの住んで	1. とても好き	17.4	18.5	16.2	17.2	21.1	13.9	
		2. わりと好き	23.7	23.7	23.7	24.3	22.5	24.3	
		3. まあ好き	38.3	37.2	39.6	40.0	33.7	41.1	
		4. あまり好きでない	13.1	12.7	13.5	12.6	14.1	12.7	
		5. ぜんぜん好きでない	7.5	7.9	7.0	5.9	8.6	8.0	
23	住のておみかたらなにかこつ	1. ぜったい住みたい	3.8	4.2	3.5	3.5	4.8	3.1	
		2. できれば住みたい	13.4	14.5	12.3	12.8	14.9	12.5	
		3. まあ住みたい	32.9	35.0	30.6	33.6	32.1	32.9	
		4. あまり住みたくない	34.3	31.1	37.6	35.6	31.1	36.2	
		5. ぜったい住みたくない	15.6	15.2	16.0	14.5	17.1	15.3	
24	祖父母との同居	1. はい	36.6	36.5	36.8	36.8	35.8	37.3	
		2. いいえ	63.4	63.5	63.2	63.2	64.2	62.7	
25	う何だいきかよ	1. 一人っ子	5.7	6.4	4.9	6.2	5.1	5.8	
		2. 二人きょうだい	48.3	48.1	48.5	46.8	46.6	51.5	
		3. 三人きょうだい以上	46.0	45.5	46.6	47.0	48.3	42.7	
26	家 族 の 人 数	1. 1人家族	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	
		2. 2人家族	0.9	1.0	0.7	1.1	0.9	0.6	
		3. 3人家族	6.0	5.9	6.1	5.9	5.1	7.0	
		4. 4人家族	32.1	33.0	30.7	29.6	31.3	35.0	
		5. 5人家族	28.7	28.2	29.3	29.2	30.1	26.8	
		6. 6人家族	17.0	16.2	17.9	17.1	17.4	16.7	
		7. 7人家族	11.7	11.6	11.9	13.0	11.0	11.2	
		8. 8人家族	2.9	3.1	2.6	2.8	3.7	2.1	
		9. 9人家族	0.6	0.5	0.8	0.8	0.4	0.6	
		10. 10人家族	0.1	0.3	0.0	0.4	0.0	0.0	
		11. 11人家族	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	
		12. 12人家族	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全体	性別		学年別				
			男子	女子	1年	2年	3年		
27	とをるを親を 見たとして たところ仕 ころい事	1. 何度もある	54.8	55.0	54.4	52.4	58.8	53.1	
		2. 1度だけある	21.4	22.2	20.7	21.2	20.4	22.7	
		3. ない	23.8	22.8	24.9	26.4	20.8	24.2	
28	両親との関係	父親との関係	1. すごくうまくいっている	19.0	16.7	21.5	19.1	19.3	18.7
			2. わりとよくいっている	29.5	32.2	26.5	30.1	28.2	30.0
			3. まあよくいっている	32.4	32.7	32.0	34.4	30.5	32.1
			4. あまりよくいっていない	9.0	8.1	9.9	8.3	9.6	9.1
			5. ぜんぜんうまくいっていない	4.3	4.2	4.5	3.4	5.0	4.6
			6. その他	5.8	6.1	5.6	4.7	7.4	5.5
	母親との関係	1. すごくよくいっている	26.2	19.2	33.5	25.9	26.4	26.4	
		2. わりとよくいっている	35.6	37.0	34.0	37.0	36.6	33.2	
		3. まあよくいっている	28.1	31.7	24.4	27.4	26.6	30.3	
		4. あまりよくいっていない	5.9	6.9	4.9	5.4	6.3	5.9	
		5. ぜんぜんよくいっていない	2.0	2.3	1.7	1.4	2.5	2.1	
		6. その他	2.2	2.9	1.5	2.9	1.6	2.1	
29	両親に ついて いて	う勉強し るさい と	1. とてもそう	21.0	23.2	18.8	21.9	21.1	20.1
			2. わりとそう	30.7	35.1	25.9	31.9	30.7	29.5
			3. あまりそうでない	33.6	29.7	37.7	33.1	33.9	33.6
			4. ぜんぜんそうでない	14.7	12.0	17.6	13.1	14.3	16.8
	ししい つけに 厳	1. とてもそう	16.4	17.4	15.4	15.7	17.9	15.7	
		2. わりとそう	30.5	31.3	29.7	31.1	31.1	29.3	
		3. あまりそうでない	40.7	39.7	41.6	41.7	39.8	40.4	
		4. ぜんぜんそうでない	12.4	11.6	13.3	11.5	11.2	14.6	
	しる勉 てお強 く金は くれる は出す	1. とてもそう	35.9	34.8	37.2	33.2	35.4	39.3	
		2. わりとそう	43.0	43.1	42.7	45.9	42.0	40.9	
		3. あまりそうでない	14.5	14.5	14.5	12.6	15.6	15.4	
		4. ぜんぜんそうでない	6.6	7.6	5.6	8.3	7.0	4.4	
	る期親 待は自 つて分 いに	1. とてもそう	16.9	18.4	15.4	15.6	16.6	18.6	
		2. わりとそう	34.9	37.1	32.6	32.9	32.7	39.2	
		3. あまりそうでない	35.4	32.5	38.3	36.8	38.4	30.8	
		4. ぜんぜんそうでない	12.8	12.0	13.7	14.7	12.3	11.4	
	し意親 てくは 見を自 れを分 重の	1. とてもそう	14.5	11.0	18.1	10.3	14.6	18.6	
		2. わりとそう	38.6	39.7	37.5	38.1	35.4	42.3	
		3. あまりそうでない	36.0	38.2	33.7	40.4	38.3	29.2	
		4. ぜんぜんそうでない	10.9	11.1	10.7	11.2	11.7	9.9	
	に世 して 間体 をを る気	1. とてもそう	10.1	11.3	8.9	6.4	11.7	12.3	
		2. わりとそう	30.2	32.0	28.3	29.8	28.7	32.0	
		3. あまりそうでない	48.2	47.1	49.5	52.3	47.1	45.3	
		4. ぜんぜんそうでない	11.5	9.6	13.3	11.5	12.5	10.4	
幸せ せそ うだ	1. とてもそう	21.2	16.4	26.2	22.0	20.9	20.6		
	2. わりとそう	49.0	49.8	48.3	49.0	49.2	49.1		
	3. あまりそうでない	22.9	25.8	19.8	23.4	21.1	24.1		
	4. ぜんぜんそうでない	6.9	8.0	5.7	5.6	8.8	6.2		
30	自分の タイプ	礼儀 正しい	1. とてもそう	8.7	10.7	6.5	5.8	9.9	10.5
			2. わりとそう	37.2	37.2	37.2	32.2	35.5	44.2
			3. あまりそうでない	46.4	43.4	49.7	52.5	45.9	40.6
			4. ぜんぜんそうでない	7.7	8.7	6.6	9.5	8.7	4.7
	情報 が早 い	1. とてもそう	8.5	10.3	6.5	7.9	9.7	7.7	
		2. わりとそう	31.1	29.5	32.9	31.6	28.8	33.1	
		3. あまりそうでない	48.2	47.2	49.3	48.0	49.4	47.2	
		4. ぜんぜんそうでない	12.2	13.0	11.3	12.5	12.1	12.0	

資料2 学年・性別集計表

質問項目		全 体	性 別		学 年 別				
			男 子	女 子	1 年	2 年	3 年		
30	自 分 の タ イ プ	が人へつきだあい	1. とてもそう	9.9	10.9	8.7	8.5	12.8	8.3
			2. わりとそう	29.5	29.2	29.7	28.1	29.1	31.2
			3. あまりそうでない	47.1	45.2	49.3	49.0	45.4	47.1
			4. ぜんぜんそうでない	13.5	14.7	12.3	14.4	12.7	13.4
		の体が動きだす	1. とてもそう	38.3	48.7	27.4	38.8	38.5	37.7
			2. わりとそう	36.7	34.4	39.1	34.8	37.3	37.8
			3. あまりそうでない	19.9	13.3	26.8	21.8	19.8	17.9
			4. ぜんぜんそうでない	5.1	3.6	6.7	4.6	4.4	6.6
		だ勉強は嫌い	1. とてもそう	32.4	33.6	31.1	27.8	34.8	34.6
			2. わりとそう	38.8	39.6	38.1	39.6	37.5	39.6
			3. あまりそうでない	25.5	23.0	28.0	29.2	25.2	21.8
			4. ぜんぜんそうでない	3.3	3.8	2.8	3.4	2.5	4.0
	好きだ	1. とてもそう	9.1	9.4	8.8	9.5	10.1	7.8	
		2. わりとそう	23.5	23.9	23.1	21.9	23.7	25.0	
		3. あまりそうでない	55.0	54.4	55.7	55.9	53.2	55.7	
		4. ぜんぜんそうでない	12.4	12.3	12.4	12.7	13.0	11.5	
	だ根はまじめ	1. とてもそう	16.1	19.7	12.4	13.3	14.2	21.1	
		2. わりとそう	37.0	36.1	38.0	34.0	35.5	41.6	
		3. あまりそうでない	38.6	35.3	41.9	43.5	39.8	32.1	
		4. ぜんぜんそうでない	8.3	8.9	7.7	9.2	10.5	5.2	
	意見が あるの	1. とてもそう	26.3	25.8	26.9	23.4	27.0	28.6	
		2. わりとそう	43.0	43.8	42.1	43.0	41.7	44.3	
		3. あまりそうでない	26.2	25.5	26.9	28.6	26.0	23.9	
		4. ぜんぜんそうでない	4.5	4.9	4.1	5.0	5.3	3.2	
	て精 いる一 杯生 き	1. とてもそう	34.4	36.4	32.3	32.2	35.5	35.5	
		2. わりとそう	38.6	38.5	38.5	39.7	36.6	39.3	
		3. あまりそうでない	22.8	20.4	25.4	24.0	22.2	22.3	
		4. ぜんぜんそうでない	4.2	4.7	3.8	4.1	5.7	2.9	
が自 分の こと	1. とてもそう	14.3	16.7	11.8	15.7	14.7	12.5		
	2. わりとそう	33.8	36.4	31.3	32.3	31.4	37.8		
	3. あまりそうでない	37.3	33.9	40.6	37.2	37.6	36.9		
	4. ぜんぜんそうでない	14.6	13.0	16.3	14.8	16.3	12.8		
31	食 欲 が な い	1. とてもそう	3.4	4.3	2.5	3.8	3.2	3.2	
		2. わりとそう	11.6	12.5	10.7	11.8	11.2	11.8	
		3. あまりそうでない	40.5	37.2	44.0	41.2	39.9	40.5	
		4. ぜんぜんそうでない	44.5	46.0	42.8	43.2	45.7	44.5	
	身 体 が だ ら な い	1. とてもそう	11.5	12.7	10.2	9.3	13.0	12.2	
		2. わりとそう	31.2	29.5	33.1	28.7	33.0	32.2	
		3. あまりそうでない	33.7	32.5	34.9	33.2	31.5	36.2	
		4. ぜんぜんそうでない	23.6	25.3	21.8	28.8	22.5	19.4	
	し 頭 が ポ ー つ と	1. とてもそう	11.4	10.9	11.9	9.1	13.3	11.8	
		2. わりとそう	27.9	24.3	31.7	24.5	29.1	30.1	
		3. あまりそうでない	37.2	37.0	37.4	39.0	36.1	36.6	
		4. ぜんぜんそうでない	23.5	27.8	19.0	27.4	21.5	21.5	
	肩 が こ る	1. とてもそう	18.3	13.8	23.1	13.7	18.7	22.8	
		2. わりとそう	25.9	25.0	26.9	23.3	26.6	27.8	
		3. あまりそうでない	28.3	31.5	24.9	31.1	26.2	27.5	
		4. ぜんぜんそうでない	27.5	29.7	25.1	31.9	28.5	21.9	
	め 立 ち ま い が す ら み や	1. とてもそう	12.6	13.5	11.8	9.6	14.7	13.7	
		2. わりとそう	25.1	22.6	27.8	18.4	25.9	31.1	
		3. あまりそうでない	31.5	30.0	32.8	32.6	30.8	30.9	
		4. ぜんぜんそうでない	30.8	33.9	27.6	39.4	28.6	24.3	

資料2 学年・性別集計表

質問項目			全 体	性 別		学 年 別			
				男 子	女 子	1 年	2 年	3 年	
31	現在の健康状態	疲れやすい	1. とてもそう	17.5	16.1	19.0	13.2	20.0	19.4
			2. わりとそう	34.5	31.9	37.3	32.3	32.1	39.4
			3. あまりそうでない	28.7	29.8	27.5	30.7	28.9	26.3
			4. ぜんぜんそうでない	19.3	22.2	16.2	23.8	19.0	14.9
		ラすぐイライライ	1. とてもそう	17.0	16.4	17.6	15.3	18.1	17.5
			2. わりとそう	32.4	29.8	35.2	31.8	30.8	34.6
			3. あまりそうでない	33.1	32.7	33.4	34.4	33.3	31.6
			4. ぜんぜんそうでない	17.5	21.1	13.8	18.5	17.8	16.3
		たば思 いれい まき わりあ	1. とてもそう	31.4	31.2	31.7	30.2	34.9	29.3
			2. わりとそう	21.8	22.4	21.2	22.5	21.9	21.0
			3. あまりそうでない	28.8	28.1	29.5	29.2	25.7	31.3
			4. ぜんぜんそうでない	18.0	18.3	17.6	18.1	17.5	18.4
32	成 績	1. 上の方	10.9	15.3	6.3	11.8	8.5	12.4	
		2. 中の上	16.3	16.7	15.7	16.6	15.4	16.8	
		3. 中くらい	32.6	27.8	37.8	31.4	33.0	33.6	
		4. 中の下	22.7	21.7	23.9	24.0	23.6	20.5	
		5. 下の方	17.5	18.5	16.3	16.2	19.5	16.7	
33	楽毎日 いが か	1. とても楽しい	20.3	18.8	22.0	21.5	19.5	20.0	
		2. わりと楽しい	53.6	54.6	52.5	54.5	50.3	55.9	
		3. あまり楽しくない	19.6	19.6	19.6	18.5	22.3	18.1	
		4. ぜんぜん楽しくない	6.5	7.0	5.9	5.5	7.9	6.0	